被災宅地危険度判定模擬訓練用テキスト

※判定項目に着目して記入しており、応急措置状況などについて、 既存の判定票・写真で記載がない又は判別できない箇所は本資料 では未記入としております。

(実際の判定にあたっては、必要事項の記載をしてください。)

【例題-1】 擁壁パターン(1)

例題-1 (現場写真)

1





(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

⊒田	*	तार्व	調査日時	在	F.	月	1	1	時	調査	E.番号			
調	査	票	地震名又は	降雨災害	名									
被 宝 発	生場所	ć	都	道府県			市君	ß				区町	「村	
K 6 7.	工 - /// //			地区	団地			1	目		番		号	
所有者・管		_			記入者				TEL	:				
所有者・		0			居住者	12722	口済	口未		エナ		k. 1 %h1	己在少	
連	各 先	t TEL:			説	明			□居住者	2 2 22	52.2	と人独力	5H-C	_
	_	- 10000000		Callerine	図>				応急措i	無□	簡易記	绿		
1.クラック	ク 2.水平	移動 3-1.不	同沈下 3-2	2.目地の開き	4.1	ラミ	5-1.傾	斜	5-2.倒	壊 6	.擁壁の	折損 7	. 崩	壊
27 A 3 =	· + -						- Constant			-		<		1
8.張出し床版作	対権壁の支柱の	損傷 9.基礎及び	『基礎地盤の被	害 10.排水	施設の変	状			建物・	道路	との位置			_
	B		BY		BIT				,影響範囲外	(B)	影響範囲(A)	影響範囲外	(B)
_		1		" "								=		
		品合は、被災 ぶ分かるよう					かけよび何		しよいかきむ		7H.	古子相	いいナフ	
たたし、市	洞盆間別の	・ガルるよう	刊ル桁米を	11:七地区	上に出	KC.	攸舌が無	V, _	こが惟認	023	0 王泉与	具で排	UF2 9 つ	٥
							_							-
												/		
							_				Я		建物	
		道路							9	CB塀				
									0. 4m		╲₽	_ 1. Om _	-	
		/ [1				*		—₩			-
			建物	tn .			1	間知ブ	「ロック		F			
			XE 1:								K			
	\leq]					1.5m	3	X			
ļ	\geq							駐	車場	K	7			
ł	$\wedge \sim$		\\\\\	\sim	\sim	3			1	R				
			<		K	1								
			駐車場			$\geq \Delta$								
				-	201									
				(
·			面図]	4					[断面图	4]				
被災写真	の有無	□無	□有→写	具番号[]
特記	事項													

擁壁	tste	□コンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式	Š			□増積	貴み擁里	進		19	(注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注))(6		m	増設	高]] m
の基礎的条件	擁壁の種類	□練石積換	壁	□場所打ち □間地石 □その他[プレキャ コンクリー	<u>スト</u> -トブロッ	ック	1		對痙壁			7	·部 ·部 ·部高		,	1;下音	rac]] m
的多	類			□玉石積		くずれ	石積			□張出	出し床派	反付擁	蝰	-	_mm]その(ы		1, 10	HIN]
件		□空石積換	理性	□間地石						12.1	D設置	件)切土	-	,-		盤上 [□他 □	不明	
\vdash				□その他				_]	擁壁の		k . v. video	de today or		and the Ad		又は	(1	<u> </u>)
	_		乾燥					_	山東湾	季範囲に	<u>建物ま</u> ()	たは、正路	各かめる) L	影響	曲に建	物また(()	は)運路力	がない(B	4		- 1
	a	湧水	湿潤								0.4						0.2			-		- 1
1#				出し、流出							0.8						0.4				基礎点	
基		Mb. L. 66-dm.		有、天端排水							0						0			-	(1)+(2)	+3)
礎	(2	排水施設		有、天端は表 無、あっても				`			0.4						0.2			- 1		¬
点	Т		H≤1n		9,4 31.	2.04	A3				0						0			-		┚╹
,	_			H≦3m							0.2						0.1					- 1
	(3)	高さ		H≦4m H≦5m							0.4						0.2					- 1
			5m <i< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></i<>								0.8						0.4					
区分	- Color			程度				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \					г	þ					J	ξ'		
分	_	担 クラック	Name and Address of the Owner, where	擁壁種類	コンクリ		増積	2段	_	空積	コンクリ	練積		2段	_	空積	コンクリ		増積		張出	空積
	2	クラック 水平移動			2	25	3.5	4	6	6	2.5 3.5	3.5 4	4.5	5	7	7	5	5 5.5	6	7	8	9
変状		不同沈下・	目地の開	引き	3	3.5	4	5	7	Ť.	4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	Ť
形	4	ハラミ				4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
態	6	傾斜・倒壊 擁壁の折損			5 6	5.5 6.5	6	8	9		7	8	8 9	9	10	\rightarrow	8	9	10	10	10	\rightarrow
形態と変状	7	崩壊			<u> </u>	9	9	10	10	8	<u> </u>	10	10	10	10	9	ار ْ	10	10	10	10	10
状	8	張り出し床板	付焼壁の	支柱の損傷					7						9						10	
点	9	基礎及び基		D被害			2)					10	5					-	,		-
		排水施設の 搾壁背面の		等破裂				,					10									\dashv
		項	目/程度				/						r	þ					J	7		=
	1	クラック(帽	Đ						び、機能 きの場合				n未満 廃壁の	場合	2mm ~	-5 mm		政上 カート系	擦壁の	場合	5 m以	ъ
		水平移動 中縮目地前後(のぎわり		5 mm未	満の関	間変	位)がお	ある 。		5 mm	~50 mm	未満の	隙間	変位)が	ふる	50 m	以上の	隙間	を位)が	ある	
変状の	3	不同沈下・日地上下・左	目地の開		5 皿末の開き			下のす	「れ又に	は目地			□未満の開き			「のず	目地		があり			
程度		ハラミンションクラック	· rith ·	dutt:14)			ラミ及 なちる)		対積	5が 1			テンショ のおそ				宅地	地盤に	テンショ			\neg
大		傾斜・倒壊		77(0)					値以	F. (2			地盤に			上。			・倒り			能を
•					ングリー		壁の場	合:天	端 50 m	□未満		ツート系 の傾斜	練壁の	場合	天端	50 mm	失っ	ている	もの。			
中・		擁壁の折損		A 40 5 1	クラック		こわず	かに角	度をな	にして	クラッ	クを境	に明ら						である			
小		質・ななめひ)。はらんでい		aら起きるも 線的でなく、	いる。 ロングリ	 	瘫壁の	場合な	クラックを	境に			け石が とる。(1 1 1		壁の場。 、又は			
の概要	グ	ラックを境に鈍			わずか	小こ前を	頃して	いる。)		場合いる	クラック	を境に	前方	に傾余		壊が	あり後	傾して	いる。		-7150
説	8	崩壊 器り出し床	板付燥	隆の支柱の損	中間辺 支柱に								して海カリートカ			縮が		を果たの剪的	してV 磁域。	ない。		
明	傷		40X1119E⊒	EvyXtEvyIQ	,XIER	-007	J-)(-)	C V	Ja			ている		10.13	40 (50)	CHUIN	24	V) 95E	INCASC:			
	-	基礎及び基		D被害					生じて													
	10) 排水施設 <i>0</i>)変状		は、天				見がある クラックカ			加え類 湧水が	壁のク ある。	フラック	又は目	地か			ほり、 かれてい		あり、	排水
	11	擁壁背面 の	の水道等	等語刻	れる。 破裂し	Tolor	が添山	1.71	<u>ر</u>													\dashv
	11	. 198235 F3 UU√)/NEE	₹PN(XXX		基礎点			<u>で</u> 状点					☆被	害程师	ぎの点	数とか	色険度	判定分	7		\neg
		被害の	判定值	i	lΓ			+ [~ / (////	7	無	被害	:				問題:					
	_	礎点に変状点の	の最大値を	加えた点数	-		_	_		_	小	被害	: 1	~ 4.5	点未	満(当面は	は防災	(上間	題無	し)	
*	無社	技書の場合は基	礎・被害が	点の記載無し		_	₋┌			٦.		被害	: 4.5	点~	8.5 g	点未清	ij					
						-	EL			点	•		(制	限付	き立	入、	進行	してい	いれば	避難	()	
		危 降1	度判定		口大	- Г)中		Т Т	_]無	一大	被害	: 8.5	~点~	(危険)、要	難難	、立	入禁.	止)		
	所	見記入者の意		緊急度	_					小 …									定基準		5.)
*	無被	技書の場合は記	検無し	拡大の見込	□有			無		判断不	ज		(備却	š:)

例題-1 (解答)

解説

擁壁の被害がありませんので、被害無と簡易 記録に記載し、次の頁 の判定をして構いません。

(梢	(武一1)擁星	達被害物	犬況調	査・	危険	度判定票	Ę			ボル
				調査日	_	4			時調	查番号	
	調	査	票	地震名	又は降	雨災害	名				
被	害発生	場所			都道	府 県		市郡			区町村
							団地		「目 mnv ·	番	号
-	有者・管理						記入者氏名		TEL:		
唐 連	有者・管理		TEL:				居住者への 説 明	1	未了 □居住者不	在 口老	人独居住宅
		8	<被	災丬	犬	況	図>		☑被災無	□済 □: ☑簡易記録	绿
		2.水平和	多動 3-1.不	同沈下	3-2.	目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾 翁	5-2.倒 壊	6.擁壁の打	斤損 7.崩 ±
											000
8.張	出し床版付擁壁	の支柱の損	傷 9.基礎及で	び基礎地盤(の被害	10.排水	施設の変状				関係(基礎点)
		A STATE OF THE STA		F	-		\$		影響範囲外(8)	影響範囲(A)) 影響範囲外(B)
	1	7	1	\$		" U				<i> </i>	=
※ ff	商易記録を	する場	合は、被災	状況図は	は省略	するこ	ー とができる。		() <u> </u>	1.7H	
								被害が無いこ	とが確認でき	きる全景写	真を撮影する。
			道路		建物				0. 4m ブロック 1. 5m 駐車場		建物 - 1.0m
						(2)(1)				
			「巫」	面図]					[断面図]		
被	災写真の	有無 [□有→	写真	番号 [C+31 [M] [24]		
	特記事項										

例題-1 (解答)

解説

擁壁には写真から変 状が見受けられない ため無被害となりま す。

無被害の場合は、このように被害の判定値に直接 0 点と記載し、危険度判定の欄にチェックをしてください。

当然,所見記入欄は チェックをしなくて 構いません。

> 写真から変状が 見受けられないため

				□L(逆 T)型		重力式								Ħ	請積部 :](6]
擁		ロコンクリート	交換線	□もたれ式						□増積	版み擁	Ě		19	種類部	36]
壁の	tás:	L32799-1	SESSESSES.	□その他										<u>á</u>	2種壁	盲		m	増認	简		m
の基	擁壁の			□場所打ち		プレキャ									上部]
礎	0	□練石積掛	432	□間地石		コンクリー	トブロッ	ウ			支擁壁				下部[]
的	種類		K.IS.	□その他]					$\overline{}$	上部高		m	1;下音	陌			m
条	754			□玉石積		くずれ	石積				北麻		壁	-	こその]
件		□空石積掛	對於	□間地石							D設置	件			功土			快弱地		□他	□₩	
	_			□その他		_		_	_	擁壁の				_			又は	(1)
	-		37-363					-	口影響	解剖用に	建物ま	たは道	路がある	5 [」影響縦	囲に建	物または	は道路が	がない(B	9		
		Se I.	乾燥					-			0						0.2			-		
	١٩	湧水	温潤	出し、流出				-			0.4						0.2			-	Heri	k test
基	\vdash			有、天端排水	滞有 ま	nin ka	か湯に香	H d-			0.0			+			0.4			\dashv		5点計 2)+(3)
	2	排水施設		有、天端は表							0.4						0.2			_	0.0	5.0
礎	~	en Product		無 あっても							0.8			_			0.4					\neg
点	Г		H≦1n		7.55			\neg			0			\top			0			\neg	ı	
Art.			1m <f< td=""><td>I≦3m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td>_</td><td></td></f<>	I≦3m							0.2						0.1				_	
	3	高さ	3m <f< td=""><td>I≦4m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>	I≦4m							0.4						0.2					
			4m <f< td=""><td>I≦5m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>	I≦5m							0.6						0.3					
	L		5m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>								0.8						0.4					
区分				程度			/		1					þ						<u></u>	1	
Ħ	項	日 クラック		擁壁種類	コンクリ	裸積	増積3	2段	張出	空積	コンクリ 2.5	練積	増積4	2 段 5	張出	空積	コンクリ 4	練積	増積	2 段 7	張1	
	_	水平移動			2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	\rightarrow
変	-	不同沈下・	日地の間	14	3	3.5	4	5	7	\\	4.5	5	6	7	9	K.	6	7	8	9	10	_
状	_	ハラミ	11.6.20	7-2	_	4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	
形態	-	傾斜・倒壊			5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	_
2	6	擁壁の折損			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10)
変	7	崩壊				9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	_
状	-	張り出し床板						\sim	7		\sim				9						10	
点	9)被害							_		10							,		
		排水施設の		Mcake#I	_			•			_		10	5						7		
			日/程度				/	`						ļ1						大 -		
	1	クラック幅			2 mm未	満のク			4、機能	上の	2mm	~20 m	皿未満	•			20 mm	以上		•		
						こしは	クリート	系擁壁	の場合	2 mm			擁壁 0	D場合	2mm~	-5 mm	(コンク	リート系	擁壁0)場合	5 mm.	以上)
	Ļ	L. mindratil			未満。	Mr - II	Datas A.				未満		-L-Mb-a	- INDATES	A-11-) Y	e.h. w	=-	011.4	- Ind-ERG/	4-113	10.10.0	
		水平移動 縮目地前後	のせわ)		5 mm未	海の関	計問変	のかみ	う る。		9 mm	~50 m	末満0)陽間(変位力	ある	50 mm	以上の)院(百)(変(の)	かある	5
変		不同沈下・		l±	5 mm #	滅の	1 地上	下のす	れ又は	日地	5 mm	~50 m	m未滋	の目地	の F T	のず	50 m	mDI Fa	の日地口の	ກ F າ	このす	れ又は
状		地上下・左			の開き			, ., ,	, .,					があ		.,						倒のお
0																	それ	が有る	00			
程度	-	ハラミ						び中抜	け(積イ	が 1				シクタッ				地盤に				ŋ
1500		ンションクラック		中抜け)			<u>(ちる)</u>	all of	adent =	- (れ無り				すべり				IGKAP Jr.
大	19	傾斜・倒壊							直以下 器 50 Ⅲ					こ対し D場合				か則得 ている		W L	(CO)	機能を
:					の傾象		Folyand	п·,/	-iii oo iii	IL/PC/PU		の傾斜		7-90 CI	· /\/	00 mm	7.5		00%			
中	6	擁壁の折損				•	こわず	かに角	度をな	して				うかに	角度を	なし	一見	して大	である	5と判	るも	の。(コン
小		・ななめひ			いる。									ばあり、								境に前
の		。はらんでい							ラックを	境に				コンクリー								剪斯破
概	77	ラックを境に鈍	DAICHLA	((いる)	4297	MCHII1	頃して	いる。	,		場合いる		を現1	こ前方	(C191)(A)	IL C	13(57)*	あり後	engl C (いる	٠)	
要説	7	崩壊			中間の	リりか	ら上が	滑って	いる。				ELT?	うてい	いる。		機能	を果た	してい	ったい		
明明	8		板付擁護	色の支柱の損			が入っ				_			がはが		筋が		の剪脚		- 121 4		
194	#										見え	ている	· .									
		基礎及び基)被害					生じて													
	10	排水施設の	D変状						がある					クラック	又は目	地か					があり)、排水
					れる。	SITT	1、翻译	SIMICO	ラックカ	見ら	50	沙水	ある。				根如色	が失わ	MIC V	, O.		
	11	擁壁背面(0)水道管	紫砂湖		Th	が流出	してい	3.													
	- 11	West Hilly	- AME 14.	4 0000		基礎点			E 状点					☆被	害程度	きの占	数と允	知論度	判定。	4	_	
					Ιг	27,427		Γ	C-VC/III	1	-											
		被害の	判定値				-				無	被害		0)	点(防	災上	問題無	無し)				
3	※基/	能点に変状点の			_		_	_		_	小	被害	: 1	~4.5	点未	満 (当面は	は防災	纟上 問	題無	無し)
		店の場合は基						-	2	7	中	被害	: 4.5	点~	8.5	法未总	i i					
						=	=	(7	点							· 進行し	71	h	Face	在)	
			*********									hala est-									p. /	
	9000000	70174	度判定		口大		-			無	大	仮害	. 8.5			_	避難					
1	所	払記入者の意		緊急度									(産・交	通の3	点を判	定基	色とす	る。)
155		DI HAZIBANIN								Adhiri A				Ath-1								

【例題-2】 擁壁パターン(2)

例題-2 (現場写真)

(1)







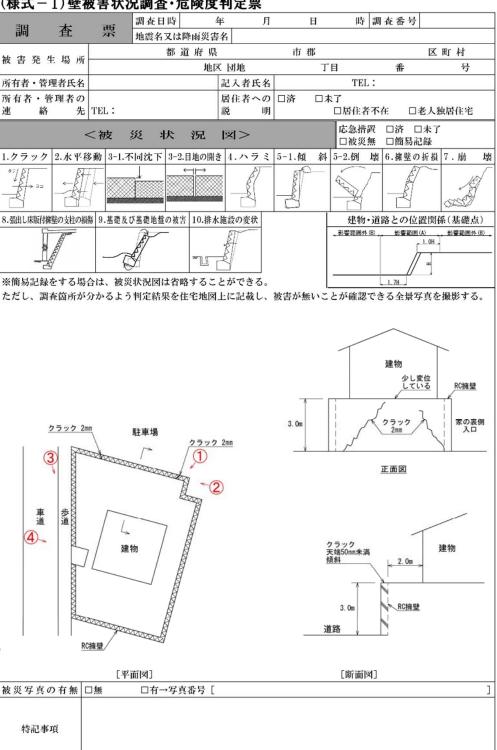
(3)







(様式-1)壁被害状況調査・危険度判定票



擁壁の	to the	□コンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力封				□増移	お擦	Œ		15	種部/ 建部/ 連部/]6		m	増設	高]] m
の基礎的	擁壁の種類	□練石積額	壁	□場所打ち □間地石]プレキャ]コンクリ・		ック	7		建郵			7	-部[-部[-部高 -部高				tirate]
的条	蘱			□その他[□玉石積		コくずれ	石積			□張出	し床	好擦	壁	_	二部向]その(世		n;下	护向			m]
件		□空石積額	壁	□間地石					1	擁壁の	1011	件			切土				<u></u> 盤上 [□他 [□不明	
Н				□その他					_	練墜の		たは消	終がある	5 [影響節		又は 物また	(1 は道路が	がない(B)			
	Г		乾燥							444	0	7010020	all was a		only bet der	erii evi	0	TO ALL DATE A	7 - (K-1 (L)			
	Œ	湧水	湿潤	alit Medi							0.4						0.2				direction is	
基	\vdash			出し、流出 (有、天端排水)	潜有、:	表面水位	の浸透	組出			0.8			+			0.4			\dashv	基礎点	
礎	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表	面水が	浸透し	やすい				0.4						0.2				• •	_
,,-	L		水抜孔 H≤ln	無、あっても	数・寸	法が不	適当	\dashv			0.8			+			0.4			\dashv		
点				n H≦3m							0.2				•		0.1				_	-
	3	高さ	3m<1	H≦4m							0.4						0.2					
			4m<1 5m<1	H≦5m							0.6						0.3					
区	-		9H1/1	程度			/	<u> </u>			4.5		rļ.	þ			4		J	<		
区分		II .		擁壁種類	コンクリ	練積	增積	2 段	張出	空積	コンクリ		增積		張出	空積	コンクリ	_	増積		-	空積
	2	クラック 水平移動			2	2.5	3.5	4	6	6	2.5 3.5	3.5 4	4.5	5 5	7	7	5	5 5.5	6	7	9	9
変状	3	不同沈下・	目地の開	移	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
形	4	ハラミ 傾斜・倒壊			5	4.5 5.5	6	6	8	8	7	6	7	8	9	9	Ş	8 9	9	10	10	10
態と	5 6	操壁の折損			6	6.5	7	8	8		7	8	8	9	10	$\overline{}$	8	9	10	10	10	
2変状	7	崩壊				9	9	10	10	8	И	10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
状点	9	張り出し床板 基礎及び基							7				10		9					_	10	
ж	_	排水施設の		78K-ET			3	}						5					7	,		
	11	CPC-LITTEE)水道管 日/程度				/						10	þ					+	_		
	1	クラック帳		E	2 mm ²	未満のク			X. 機能	と上の	2mm	~20 m		н			20 m	叫以上	,			-
					支障未満	なし口	/クリート	系擁壁	の場合	2 mm	(コンク 未満		搾壁の	場合	2шш~	5 mm	(コン)	クリート昇	、掬壁の	場合	5 mm以	E)
		水平移動 縮目地前後	のぜわ)			た満の例	調変	位)がま	5る。				未満の	隙間	変位)が	ある	50 m	叫上	の隙間変	を位)が	ある	\neg
変状の	3	不同沈下・	目地の開			未満の きがあ		下のす	*れ又に	目地			m未満の開き			のす	目地	の開き	の目地の			
程度		ハラミ				模のハ			計積	5が1			テンショ				宅地		テンショ			\dashv
		ンションクラック 傾斜・倒壊		中抜け)		固抜け落 が前面:			行いつ	K (-1			のおそ			F)のおそ 頁・倒場			給か
大・中	ľ	PART PAR				- 卜系擁					(コンク		練壁の					ている			C V 218	ens e
中・		擦壁の折損	78 da da 2	から起きるも	クラッ	クを境に	こわずぇ	かに角	度をな	にして			に明ら						である 壁の場			
小の		。 はらんでい				。 カリート系	擦壁の	場合ク	ラックを	境に			い ロル える。(, ,	1 11 10 100	室の場			
概要	グ	ラックを境に鈍	角に折れ	いている)		かに前					いる	.)	を境に			して			傾して			
説	7	崩壊 張り出し床	据付增料	隆の支柱の損		辺りか にひび:							として港クリートカ			館が		を果たの剪り	してい 競嬢。	ない		
明	傷		IIX I TIMES	EVIXIEVIII	XIII	10007	0-50-5	C 1 2	'n		p-4 1.4	ている		100	10 (30)	30,77	X11	V) 9919	HEC-350			
	$\overline{}$	基礎及び基排水施設の)被害		模な沈 排水溝					4-17	ten & te	経壁のク	75h	714日	Mr.As	deft	71 01	まり、	of-48-2	さたり	40balo
	10	DE/INDERXV	/炎4/			天端背面							ある。	777.	XI&H	地が			かれてい		ray 1) \	BEAL
	11	擁壁背面の)水道管	等破裂		。 して水;	が流出	してい	る。													
					_	基礎点	<u> </u>	F 3	变状点	_				☆被	善程 原	その点	数とが	包険度	判定☆	7		
		独生の	判定値				-	+		1	無	被害	: (0 д	点(防	災上	問題	無 し)				
		造点に変状点の	最大値を	加えた点数			_	_		_	小	被害	: 1	~ 4.5	点未	満 (当面は	は防災	災上問	題無	(し)	
*	無被	(書の場合は基	差・被害	点の記載無し			Г			٦.		被害	: 4.5	点~	8.5 g	未表	ij					
						=	⁼ L			点			(制	限付	き立	入、	進行	してい	いれば	避難	Ě)	
		危険原	医判定		<u> </u>	K [) 中		N [_ □無	大	被害	: 8.5	点~	(危険	、要	継難	人立	入禁	止)		
		見記入者の意		緊急度						小			(産・交	通の3	点を判	『定基準	とす	る。)
- *	無被	きの場合は記	戦無し	拡大の見込	□≉	J		無		判断不	nj		(備者	ş:)

例題-2(解答)

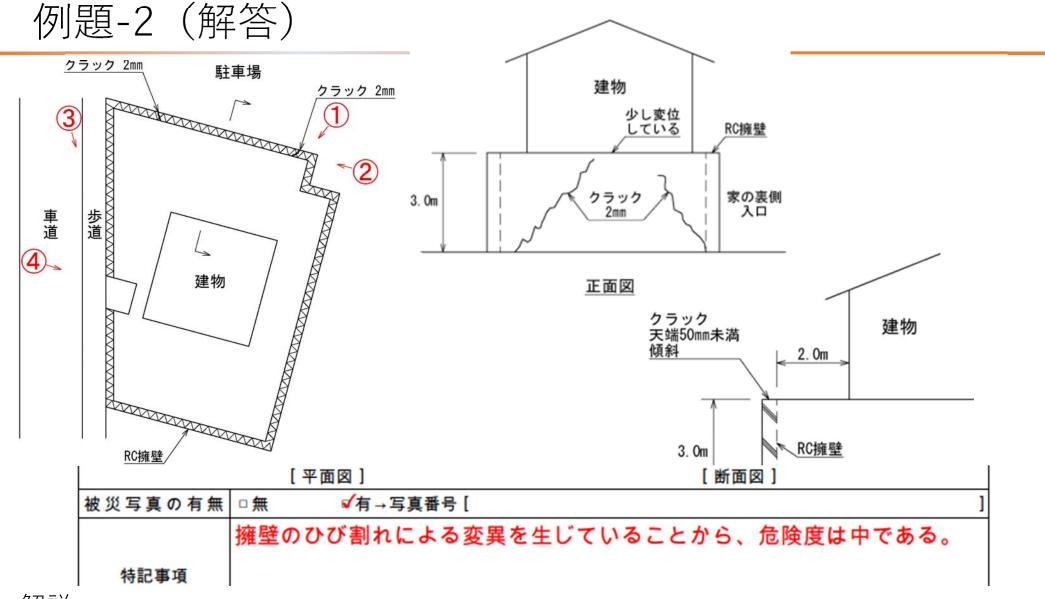
(様式-1)擁壁被害状況調查·危険度判定票

	∓ #	+	नाई	調査日時	4	年	月		日	時	調査	查番号			
	調	査	票	地震名又は	は降雨災害	名									
	址 宝 戏 A	- HL ii.		都	道 府 県	1		市	郡				区	町 村	
	被害発生				地▷	区 団地			1	目		番		号	
	所有者•管理	里者氏名				記入者」	氏名			TEL	:				
	所有者・管	理者の				居住者	への	□済	口未	:了					
	連絡	先	TEL:			説	明			□居住者	不在	: □‡	兰人 独	由居住宅	į
写真	、断面图	図より	被	災 状	況	図>				応急措置□被災策		□済 ☑ □簡易記			
	1.クラック	2.水平移	多動 3-1.不	ぶ同沈下 3-	2.目地の開き	き 4.ハラ	ラミ	5-1.傾	科	5-2.倒	壊 6	5.擁壁の	折損	7.崩	壊
	37						3)				<u></u>		_		
	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損傷	傷 9.基礎及で	び基礎地盤の被	害 10.排水	体設の変 料	#			建物・	道路	そとの位置	置関係	系(基礎,	点)
					~					_ 影響範囲外	(B)	影響範囲(A)	影響範囲	外 (B)
	※簡易記録を	をする場合	合は、被災	状況図は省	略するこ	とができ	る。		L		Ļ	1. 7H_			
	ただ! 調フ	大笛形が	シかるとる	判定は用る	建	レア記載	1	独生が4	mr. 1. 7	レが確認。	でキ	スム早石	古た	提製す	Z

解説

被害状況図には、写真・図よりクラックと傾斜を生じていますので〇を付けてください。

影響範囲は擁壁の下が道路で建物が擁壁から2mにあるため, Aとなります。



解説

擁壁タイプは,写真・図から現場打コンクリート擁壁であることがわかります。 擁壁のコーナー部に2mmのクラックがあり,わずかな傾斜を生じています。 特記事項は,すべての判定が終わった後に,ステッカーに記載する内容を書いてくだ さい。

例題-2(解答)

擁壁		✓コンクリートラ	科理	✓L(逆T)型 □もたれ式 □その他	□重力式		□増積み擁壁	增積部分 擁建部分 全種壁高	m 増設高]] m
擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	□練石積縮	壁	□場所打ち □間地石 □その他	□プレキャスト □コンクリートブロック	1	□二段帰壁	上部(下部(上部高)	m;下部高]] m
条件	類	□空石積搾	壁	□玉石積 □間地石 □その他	□くずれ石積	7	□張出し床版付擁壁 擁壁の設置条件 擁壁の勾配	□その他 □切土・盛 度	土境 □軟弱地盤上□他[] □不明)
2					<u></u>	✓憬灣	第四に建物主たは道路がある(A)	11577	建物または道路がない(B)	
			乾燥				0		0	
	2	湧水	温潤にじみ	出し 流出			0.4 写真。	より	0.2	基礎点計
基	-	j. 1	水抜孔	有、天端排水溝	有、表面水の浸透阻止		0		0	1+2+3
礎	2	非水施設	水抜孔	有、天端は表面	水が浸透しやすい	************	0.4		0.2	<u> </u>
11/12	-				• 寸法が不適当	7-17-17-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-	0.8		0.4	1.0
点			H≦lm	907 NOT 10					0	1.0
	75-07	· ANGE	1m <h< td=""><td></td><td> 断面図よ</td><td>(1)</td><td>0.2</td><td></td><td>0.1</td><td></td></h<>		断面図よ	(1)	0.2		0.1	
	3F	高さ	3m <h< td=""><td>A</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td>0.2</td><td></td></h<>	A			0.4		0.2	
			4m <h< td=""><td>4 Countries</td><td></td><td>APARTIC SERVICE CONTROL</td><td>0.6</td><td></td><td>0.3</td><td></td></h<>	4 Countries		APARTIC SERVICE CONTROL	0.6		0.3	
			5m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td>0.4</td><td></td></h<>				0.8		0.4	

解説

基礎点は、湧水がなく乾いているので0点、水抜き穴はあるが1ケ所/3m 2 無いので0.8点、擁壁高さが3mなので0.2点、合計1.0点となります。

例題-2 (解答)

IZ	程度			,	'l\					1	ь '-			···		-	-		
区分	項目 擁壁種類	コンクリ	練積		2段	張出	空積	コンカリ	練積	増積	918	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積
	1 クラック	1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変状	3 不司沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
状	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
形	5 傾斜·倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
態」	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
状	8 張り出し床板付縮壁の支柱の損傷					7			/			9						10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害					.,.	~		e	1	.0	32				34 - 57		<u> </u>	5 <u> </u>
L	10 排水施設の変状				3						5						7	与	╊╠
	11 擁壁背面の水道管等破裂										.0						5.7		- -
_	項目/程度	Torse en			小						中				Name and		大	真	▍┞
	1 クラック(幅	233550 25					Acceptance of the	emn			. III A .				以上	faladida aa	1H A =		
		障な	し、コンク	リート科	雑堂の地	易台2Ⅲ	味満。	(コン	クリート矛	持種壁	場合:	⁄mm∼	5 mm	コンク	ケリート系	が理学の	場合5	•	
-	2 水平移動	5 mm	H.HH.MB	如此	並がある	7		- France	50 mm	.+.# <i>T</i>	隙間変	14.4.354 14.4.4.354	: 7	50	以上の	VS(1) 日本	F/A-A-N-	<u></u>	, H
	2 小十分第 (伸縮目地前後のずれ)	9 7	で国う人	N EN 发力	THI LANGE	a .		9 11111	(- 90)	レイ・国マン	例則與多	311/1/20	90] 30 111	III/LIV	小别 印 溪	EJYL/APO		
/X_ -	3 不同沈下・目地の開き	5 mm	未満の	日地上	下のず	カマは	日胎の	5 mm	~50 mm	未満の	日地の	上下の	ずれ又	50 m	m以上の	D日th/d) 上下6	· ·	
0	(目地上下・左右の開き)	SEC. (2005)	がある。		1 -2)	10,00	Пидии			きがも		T- 1 42	, , , , ,	3007 112	開きが			ょ	$\frac{1}{n}$
程											···			が有					
	4 ハラミ	小規	模のハ	ラミ及び	び中抜い	州積石	が1∼2	宅地	地盤に	テンショ	ンクラック	無し		宅地	地盤に	テンション	ノクラック	(1)) $ extstyle ext$
	(テンションクラック・ずれ・中抜け)		け落ち			A. 1 M. 1					れ無し				はべり			_	
大	5 傾斜•倒壊				けし垂直								<u>。</u> (コン				してその	7月機能	を失っ
中		采付	機壁の	場合:現	応端 501	1111末海	の傾斜	100000000000000000000000000000000000000	30000000000000000000000000000000000000	壁の場合	1:天郊	最50 mm	以上の	てい	るもの	٥			
•	6 機能が損	7=11	カナオウ	アナッチ	かに角	中なか	1 71.	傾斜		か明さ	<i>ふってお</i> り	中なか	してお		17-	でなる	しまれる	もの。((-r\ /h)]
44,	(横・ななめひびわれから起きるもの。	る。	ノて児	-479 i	かし、円	及では	U CV.						リートが					と境に前	
の概	はらんでいるが曲線的でなく、クラック	2020102	カリート系	な時の	場合ク	ラックな	境にわ						クラック					剪贴而处	
要	を境に鈍角に折れている)	33329-0	に前傾			/// -	->()()(~~\				してい		1////		傾して			7 JP9 (H), X23	100 0)
要説	7 崩壊				骨ってし	る。			A TOWNS OFFICE RECEIVED		ってい				を果た				
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷				ている。								筋が見		の剪断				
							_		ルス	30.000 3900				Ц		3.00.00.00.00			
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規	模な沈	下やクラ	ックが生	じてい	る。	具		占.	を言	二:	7						
	10 排水施設の変状	天端	排水溝	こずれ、	欠損	ぶある。	又la	取	$\mathcal{I}\setminus$	黑.	<u>ا</u> ک	رناة		水拔	孔の詰	まり、1	破損が	あり、も	非水機
					こクラック		れる。	(33 /1	urar.	0				能的	失われ	ている	i		
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂			している														
		ľ _	基礎	<u>点</u>	<u> </u>	変状点	į.				☆褚	皮害程	度の点	数と允	创确度	判定☆			
		ΙГ	1.0		31.	5.0	_	-	被害		0 4	= /RH 4	6上間	頭無	1.1				
	被害の判定値	ш	1.0		+	9.0		222.0	0.00						Alexandra and		20	ş	
	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数	-						小	被害	: 1	~ 4.5 .	点未	尚 (当	面は	坊災 」	上問題	無し)	
3	※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し				11000	^	\neg	(#	被害	1.5	点~	8.5 点	未満						
					6	0.	H						、進	行1	71.1	a 心形)地	さ 本化 \		
					-37				2020000	200	50 K			200			8 8		
	A HA LAURT PA	D	F 1	/ 中		\	無	一大	被害	: 8.5	点~	危険	、要	遊難、	立入	禁止)	Ì		
	危険度判定		•					100											
	危険度判定 緊急 度				中		小	78 -0.5000			(人i	命・財	産・交通	重 の3 F	気を判別	基準と	する。)

解説 変状点は写真・図 よりクラックが 2mmで2.5点, 擁壁 の傾斜が天端で 50mm未満なので 5.0点となります。 したがって,被害 の判定値は,基礎 点が1.0点,変状点 が5.0点となるため、 合計6.0点の中被害 となります。 緊急度は中,拡大 の見込み無となり ます。

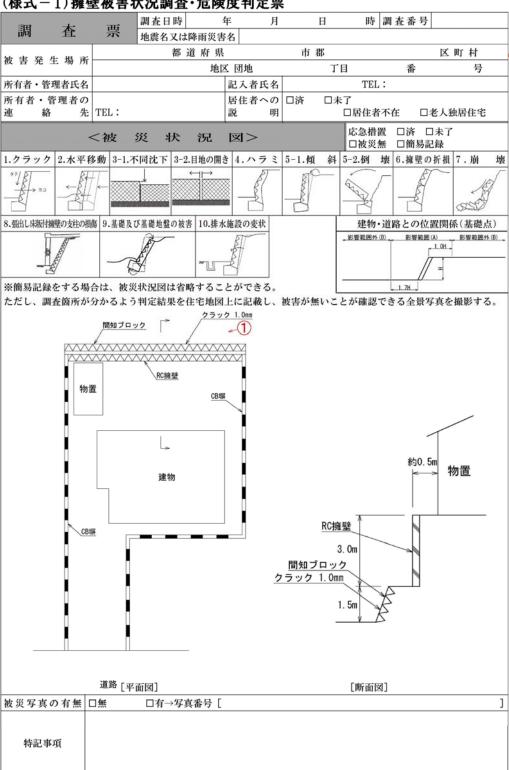
【例題-3】 擁壁パターン(3)

例題-3 (現場写真)

 $\widehat{1}$



(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票



権壁の	iste	□コンクリート	系線壁	□L/逆T)型 □もたれ式 □その他	□重					□増制	的瘤	1		拼全]6		n	1 増設	高]] m
擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	□練石積縮	壁	□場所打ち □間地石 □その他		<u>キャ</u> スト クリート			1		物胜			7	雅 部 部 高		,	n;下音	rác]] m
的	類			□玉石積	□く	ずれ石	積			□鴉	儿棚	付摊些		_	エロロロ]その(t	ħĹ.	1	п, гр	Miri]
件	l	□空石積線	壁	□間地石 □その他					1	操墜の	設置条 次配	件			吻土·			加速 (1	<u>器上 □{</u> :	也□不	明)	\dashv
				In Covie					□県海	韓田に		は道路	がある(A) [東潛範			道路が				\dashv
	٦	'ess.t.	乾燥 /EMB								0						0					
	ľ	湧水	温間にひみ	出し、流出							0.4						0.4				基礎点	蝴
基				有、天端排水港				Ł.			0						0				0.2	
礎	2	排水施設		有、天端は表面 無、あっても数							0.4						0.2				$\overline{}$	٦l
点	Г		H≦lm								0						0				L	┚ᅵ
		高さ	1m <h 3m<h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></h<></h 								0.2						0.1					
	*	ANC	4m <h< td=""><td>[≦5m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></h<>	[≦5m							0.6						0.3					
12.	100		5m <h< td=""><td>程度</td><td>1</td><td></td><td>力</td><td>\perp</td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td><u> </u></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>大</td><td></td><td></td></h<>	程度	1		力	\perp			0.8			<u> </u>			0.4			大		
区	_	間	-	掬壁種類	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ		増積	2段	張出	空積
	_	クラック 水平移動			1 2	2 25	35	4	6	6	25 35	3.5 4	45	5 5	7	7	5	5.5	6	7	8	9
変状	3	不同沈下・目	地の開き	<u> </u>	3	3.5	4	5	7		45	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
形		ハラミ 傾斜・倒壊			5	45 55	5 6	6	8	8	7	6 8	7 8	8	9	9	8	8 9	9	10	10	10
態と	_	擦壁の折損			6	6.5	7	8	9	\leq	7	8	9	9	10	\leq	8	9	10	10	10	
態と変状	8	崩壊 張り出し床板を	Hústároski	tro H /K		9	9	10	10	8		10	10	10	9	9		10	10	10	10	10
点	9	基礎及び基礎	地盤の										10								10	
	_	排水施設の 擦壁背面の		0430A			3						10	5						7		-
		項	日/程度				4		ESPA1.			•	F	þ					7	大		=
	1	クラック(幅			2 mm未 障なし							~20 mm リート系		場合 2	nm ~5	皿未		叫上 沙小系	焼壁の	場合5:	m以上	ł
変状	((水平移動 接宿目地前後の			5mm未					n/d =				創問変				叫人上の				
の程		不同沈下・目 3地上下・左右		ŝ	5 mm未開きが		地上下	・のすれ	収は	目地の			杉溝のE きがあっ	目地 の」 る。	上下のす	すれ又		w以上の 開きが る。				
度		ハラミ ンションクラック・	-d°h ∙d	hater th	小規模 個抜け			中抜け	(積石が	×1~2			テンション のおそれ	/クタック: hfile:1	無し			地盤に			有り	
大・中		傾斜・倒壊	740	<i>100 //</i>	擁壁が	made	盤に対		以下。(擁壁 クリー	が前面 ・系練型	地盤に	対し垂			擁壁	が前悔	•倒壊		の機能を	と失っ
办		捥壁の折損			クラック	を境に	わずか	に角度	きをなし	てい		クを境に		Pに角度				して大				
の概		貴・ななめひひ tらんでいるが			る。 ロンクリ	一卜系指	絶路の地	易合クラ	ックをせ	意にわ				必裹 建輸系				孫継ぎ る。又				
要	を	境に鈍角に折			ずかに	前傾し	ている	。)			を境	に前方	に傾斜	してい	5。)		り後	傾して	いる。)			
説明	_	崩壊 張り出し床権	村擁壁)支柱の損傷	対抗に		上が滑 入って		<u>~>₀</u>		支柱			っている		が見		を果た の剪断		SV 5		\dashv
	_	基礎及び基礎		婚	大規模																	
	10	排水施設の	変状		天端背							加え探 がある。		ック又は	目地:	ドらの		孔の詰 失われ			ろり、 ま	非水機
	11	操整背面の	水道管等	破裂	破裂し	て水が	流出し	ている	٥.			/ a/c		,	w terr	to as to						二
			tob.		📑	基礎点	· - +	Γ	<u> </u>	1	無	被害	: 0	☆被 点			,,,,,,	砂度 し)	刊定☆			
	**	被害の 基準点に変状点の	判定値					L		J	小	被害	: 1 ~	بر 4.5	未未	青 (当	面は	5 防災」	上問題	無し)	
		融害の場合は基								٦.		被害	: 4.5	点~8	.5 点	未満						
						=	L			点			(制)	限付き	立入	、進	行し	ていれ	いば逝	難)		
		7 - 77	度判定		口大		中			無	大	被害	: 8.5					立入	,,,,,,			
		行見記入者の意 被害の場合は記載		緊急度 拡大の見込み			_ :			小 判断不	र्वा		(人命 備老		産・交通	(Ø)3 g	気を判し	建準と	する。)
_	小無	以自いの前日で発送	WIN C	144/11/50305	L H			ni.		T.JPALL	-1		,	御代	, .							

例題-3(解答)

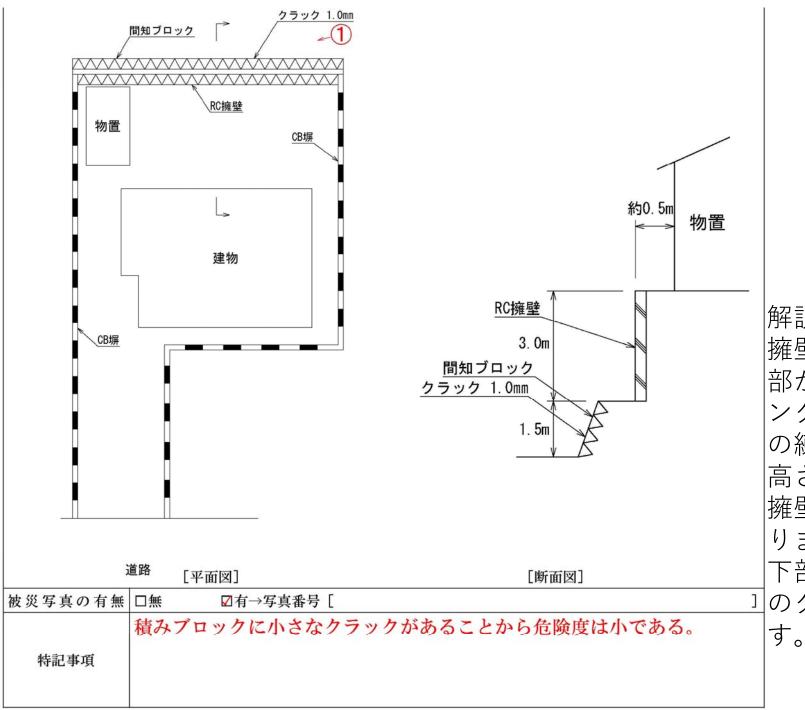
(様式-1)擁壁被害状況調查·危険度判定票

7 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		T/=11=25-41 Pt 31 12	PROPERTY OF THE PROPERTY.		25								
∃⊞	*	तार्व	調査日時	年	月		日	時	調査	番号			
調	査	票	地震名又は	は降雨災害	名			,		- 10			-
始 	上祖 武		都	道府県		市	郡				ヹ 町	「 村	
被害発力	土场加			地区	団地		丁	目	7	番		号	
所有者・管	理者氏名				記入者氏名			TEL	:				
所有者・領	 宇理者の				居住者への	口済	口未	:7					
連 絡	先	TEL:			説 明			□居住者	不在	口老	人独居	居住宅	
図よ	<i>b</i>) <	<被	災 状	況	図>			応急措 □被災第		斉 □未 簡易記録			
1.クラック	2.水平和	多動 3-1.不	同沈下 3-	2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾	i 斜	5-2.倒	壊 6.扬	権壁の折	損 7	. 崩	壊
37						- Tanana	2_		/ <u> </u>		<		
8.張出し床版付持	経壁の支柱の損	傷 9.基礎及で	が基礎地盤の被	害 10.排水	施設の変状			建物•	道路と	の位置	関係	(基礎)	点)
				***************************************				影響範囲外	(B) 景	/響範囲(A)		影響範囲	小 (B) →
※簡易記録	をする場合	合は、被災	状況図は省	略すること	とができる。				1.7H	Ļ			

ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。 解 記

被害状況図には、図よりクラックを生じていますので〇を付けてください。 影響範囲は擁壁の下に道路や建物がありませんが、擁壁の上に物置があり危 険ですのでAとなります。

例題-3(解答)



例題-3(解答)

擁壁の基礎的条件	مادا	□コンクリートラ	系羅達	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他	□重力式		□増積み雑壁		増積部分 擁建部分 全擁建高	断面図より]] m
の其	擁壁の種類			□場所打ち	ロプレキャスト				上部	コンクリート擁壁]
礎	の種	□練石積瘫	壁	□間地石□その他	□コンクリートブロック	1	☑二段擁壁		下部[上部高	積ブロック 3.0 m:下部高	15]
的条	類	20 TOL 1 20 100 TO		□玉石積	□くずれ石積		□張出し床版付	海 辞	□その他	3.0 m;下部高	12)	m 1
件件		 □空石積瘫	壁	口間地石	山くりなり山頂		擁壁の設置条件		□切土・盛	上境 □軟弱地盤上 □他 □	小明	
		7124/1		□その他]	擁壁の勾配			又は (1:)	
					-	□鈴	野範囲に建物 または	道路がある(A)	□影響範囲に変	型物または道路がない(B)		
			乾燥				(0)			0		
	1	湧水	湿潤				0.4			02		
20200			にじみ	出し、流出		1	0.8	」写首・	図より	0.4	基礎点	計
基			水拔孔	有、天端排水溝	有、表面水の浸透阻止		0			0	1+2+	-3
礎	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表面	水が浸透しやすい		0.4			0.2	2	
促定			水抜孔	無 あっても数	• 寸法が不適当		0.8			0.4	1 1	
点			H≦1m				U			0	1.4	
,,,,			1m <h< td=""><td>≦3m</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td>0.1</td><td>180</td><td></td></h<>	≦3m			0.2			0.1	180	
	3	高さ	3m <h< td=""><td>≦4m</td><td> </td><td>- []</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td></h<>	≦4m		- []	0.4			0.2		
			4m <h< td=""><td>≦5m</td><td> 断面図よ</td><td>、ソ</td><td>0.6</td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td></h<>	≦ 5m	断面図よ	、ソ	0.6			0.3		
			5m <h< td=""><td></td><td>•</td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td></h<>		•		0.8			0.4		

解説

基礎点は、湧水がなく乾いているので0点、水抜き穴はあるが1ケ所/ $3m^2$ 無いので0.8点、擁壁高さが4.5mなので0.6点、合計1.4点となります。

例題-3 (解答)

区	程度		(12)	.)	1/				n sv	ı	þ	50 5	<i>a</i>			7	大 大		
区分	項目 擁壁種類	コンクリ	練積	増積	2 125	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積
	1 クラック	1	2	3	(4)	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変状	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
能	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
٤	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
形態と変状	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
	8 張り出し床板付練達の支柱の損傷					7				>	<u>^</u>	9						10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害 10 排水施設の変状				3						0 5			1			7		
	11 操壁背面の水道管等破裂				9		义	よ	(J	_	0						1		
	項目/程度			- 11	小			6		_	中					97	大		
	1 クラック幅	2 mm	Killy Y			、 Rome	上の支	2mn	1~20 m		•			20 m	以上		•		
					雑筐の場				クリート系	物達の	場合:	2mm~:	5 mm未	(コン)	リート系	擁護の	場合51	m以上)	
atri	2 水平移動 (伸縮目地前後のずれ)	5 mm	は満の概	間変	分がある	5.		1	~50 mm	味満の	隙間変	位がは	53	50 m	以上の	Ø問象	色がは	ある	
変状の程	3 不同沈下・目地の開き (目地上下・左右の開き)		未満の がある。		下のず	れ又は	目地の			未満の		上下の	ずれ又		開きが	D日地 <i>の</i> あり、i			
度	4 ハラミ (テンションクラック・ずれ・中抜け)		英のハ・ ナ落ち		グ中抜い		ðš 1~2			テンショ のおそ				宅地	地盤に	テンション のおそ		有り	
大・中	5 傾斜・倒壊				対し垂1 尺端501		(コンクリ の傾斜		小系擁	連盤に 達の場合			。(コン 以上の		が前傾るもの	[•倒壊] 。	してその	の機能を	を失っ
・小の概要	6 腕壁の折損 (横・ななめひびわれから起きるもの。 はらんでいるが抽線的でなく、クラック を境に鈍角に折れている)	る。 (コンク		擁壁の			してい 境にわ	クラッ り、 見え	かを境 抜け石 る。 (コ		、裏込系擁護	めコンク	してお リートが クラック	一分でい	科雑壁の る。又	である D場合ク は、1 m いる。)	ラックを mでも	と境に前	傾し
要説	7 崩壊				<u>。)</u> 骨ってい	\Z.		_		して消				_		してい			
崩	8 張り出し床板付擦壁の支柱の損傷				ている。			支柱					筋が見		の剪断				
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大钳	背ナット	下やクラ	ックが生	יודטי	<i>z</i>	7.0	. V 'る。										
	10 排水施設の変状	天淵	非水溝	こずれ、	欠損が	がある。	又は、		加え擦がある		ラック又	は日地	からの			まり、1 ている。		あり、扌	非水機
	11 擁壁背面の水道管等破裂				している		4 - 00	1024	44 07 6					1100	70174		,		
		Г	基礎			変状点	i.				☆褚	娃	度の点	数と危	创険度	判定☆	3 8		
	被害の判定値		1.4		+	4.0		100000	被害				後上問						
	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数	-					_	小	被害	: 1	~ 4.5	点未清	茜(当	面は	万 災_	上問題	無し)	
3	※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し			= [5	.4	人	į (‡	被害	4.5				4-1	 1, . 3	a LEND	_ታ ታ ቤ\		
				L									、進			anna li	0.00		
	危険度判定					\	無	一大	被害	: 8.5	点~	危険	、要进	逆難、	立入	禁止)			
1994	所見記入者の意見 緊急度				中		小			(産・交通	1003人	を物	建準と	する。)
>	無被害の場合は記載無し 拡大の見込み	口有		V	無		判断不	н		(備	考:)

解説

変状点は2段擁壁のク ラックが断面図より 1 mmで4.0点となり ます。 したがって、被害の 判定値は、基礎点が 1.4点,変状点が4.0 点となるため、合計 5.4点の中被害となり ます。 緊急度は中, 拡大の 見込みも無となりま す。

【例題-4】 擁壁パターン(4)

例題-4 (現場写真)

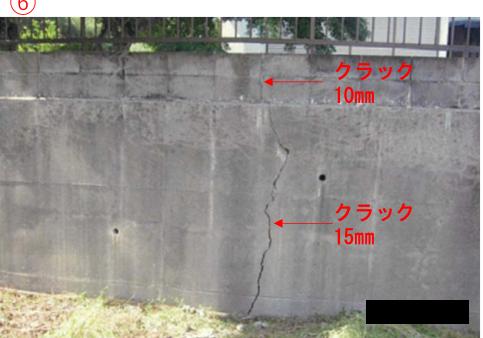






例題-4 (現場写真)







(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

-time			調査日	诗 4	年 月	日	時調	查番号		
調	査	票	地震名又	は降雨災害	名					\neg
独 宝 邓 丹	租市		i	都道 府県		市 郡			区町村	
被害発生:	物门			地区	【 団地	1	1 目	番	号	+
所有者・管理者	皆氏名				記入者氏名		TEL:			
所有者・管理					居住者への	口済 口:	未了			.
連絡	先	TEL:			説 明		□居住者不		人独居住的	E
	<	<被	災判	汽	図>		応急措置 □被災無	□済 □:		
1.クラック 2.	水平科	多動 3-1.不	同沈下	3-2.目地の開き	き 4.ハラミ	5-1.傾 斜	1		F損 7.崩	壊
97/ RT	RI		1	\leftarrow	- RT	pT C		AT	-	
\$ 30	-	←			\$ £(8	E /	BY.	1	87
		1				己			DESE	9
8.張出し床版付擁壁の	支柱の損傷	腐 9.基礎及び	『基礎地盤の	放害 10.排水	施設の変状		建物・道	路との位置	関係(基礎	点)
T &	9		F		BIT		影響範囲外(B)	影響範囲(A	.OH 』	fl91-(B)
		- P	E/	ال الحد	3/			//	1	
-3		6	,Zi					//_	=	
※簡易記録をす						blade 17 feet	1. 15 mb 30 cm 3	1.7H	er y too ox a	
ただし、調査管	国門から	オかるよう	判疋結果	を任毛地図	上に記載し、	敬書か悪い こ	ことか確認でき	さる全景与	具を撮影す	۵.
接壁クラック 水平移動 45mm 4 コンクリート H-1,90m ブロック2段 フェンス	2.0回	3-			車庫 クラック		1. 88 1. 90 m		Om 3	建物
w	E 4me F		面図]	rote at D			[断面図]			
被災写真の有	9 L	J 無	□有→	写真番号 []
特記事項										

擁壁		□コンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式	:			□増移	お練り	ė		15	解析部分 健康部分 と擁護さ	} [m	増設	高]] m		
の基礎的	擁壁の種類	□練石積掛	壁	□場所打ち □間地石		プレキャ コンクリー		ク	-		遊響			7	部				er-te-]		
的友	類	i		□その他[□玉石積		くずれ	石稭			□張出し床版付擁壁					上部高 m;下部高 □その他						m 1			
条件		□空石積衡	壁	□間地石		. , ,,,	шы			擁壁の設置条件					□切土・盛土境 □軟弱地盤上 □他						□不明			
	L			□その他[_	_	擁壁の勾配					度 又は (1 :)		
			乾燥					-	□解律	審範囲に建物または道路がある 0					□影響範囲に建物または道路がない(B) 0									
	a	湧水	湿潤								0.4			_	0.2									
	Ľ	////		出し、流出							0.8						0.4				基礎点	制		
基				有、天端排水				_			0						0				1)+2	+3		
礎	(2	排水施設		.有、天端は表 .無、あっても				`			0.4						0.2			-	_	-		
点	Н		H≦ln		302 - 11	Z/~ [*	XEY = 1	\dashv			0			+			0.4			\dashv	l	11		
,,,,			1m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>_ </td></f<>								0.2						0.1					_		
	(3	高さ	3m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td></f<>					-			0.4						0.2			-				
			5m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td></f<>								0.8			_			0.4			-				
区分				程度			/	_	_				rļ .	_					J	_	_			
分	_	(II	_	権壁種類	コンクリ		増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積		張出	空積	コンクリ	_	增積		張出	空積		
	-	クラック 水平移動			1 2	2.5	3.5	4	5 6	6	2.5 3.5	3.5 4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	8	9		
変		不同沈下・	目地の開	Nê	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10			
状形	_	ハラミ				4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9	\triangleright	8	9	10	10	10		
態と変	6	傾斜・倒壊 擁壁の折損			5 6	5.5 6.5	6	7 8	8	\rightarrow	7	8	8	9	10	\geq	8	9	10 10	10	10	\rightarrow		
とか	7				<u> </u>	9	9	10	10	8	1	10	10	10	10	9	K	10	10	10	10	10		
秋	8	張り出し床板							7		V	/			9		\subseteq				10			
点	9	基礎及び基 排水施設の)被害	3						10 5					7						\dashv		
	11			等破裂			10											-						
		項	目/程度		小 2 ma未満のクラックはあるが、機能						_		, , , , ,	þ					ナ	ξ.		\Box		
	1	クラック(帳	D						外機能の場合						20 m以上 計合 2mm~5 mm (コンクリート系					場合	5 mm.P./	ы		
					未満。	K ()(=)	<i>,</i> , ,	ACIPE	24.24@0 E	, 2 311	未満				Zinin	0 mm								
		水平移動	roviiida)		5 mm未	満の関	間(変	分がは	5 る。		5 mm~50 mm未満の隙					ある	50 m	以上の)隙間(3	変位)カ	ふる			
変		中縮目地前後。 不同沈下・		詩	5 nm∄	·満のE	1地上	下のす	れ又に	は目地	5 mm	~50 m	□未満々	の目地						地の上下のずれ又に				
状の	(E	目地上下・左	古の開き)	の開き	がある	5.			れ又は目地の開きが					ぶある。 目地の開き; それが有る。					開きがあり、滑動、転倒のま 有る。				
程度		ハラミ ウションクラック	• ざ わ.•	dutte(+)		をあいき しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃり しゃり しゃり しゃ しゃり しゃり しゃり しゃ しゃり しゃ しゃ しゃり しゃ しゃり しゃ しゃり しゃり		び中抜	むが積る	5が 1					クタック無し 宅地地				を地地盤にテンションクラック有り 引弧すべりのおそれ有り					
大		傾斜・倒壊		1 2007)				対し垂	円弧すべりのおそれ 経直以下。 (コ 操壁が前面地盤に対							上。			[・倒垣			能を		
					ングリーの傾除		壁の場	合:天	天端50 mm未満 (コンクリート系接壁の場 以上の傾斜)					場合	: 天端	50 mm	失っ	ている	もの。					
中・		擁壁の折損		a declared		を境に	こわずぇ	かに角	度をな	はして	クラッ	クを境	に明ら						である					
小		黄・ななめひ)。はらんでい			いる。	J	産壁の	場合な	ラックを	治に			け石が える。()						壁の場。 。又は					
の概		ラックを境に鈍				いて前側				-7610		クラック	を境に						傾して			JAYLIEK.		
要説	7	崩壊			中間	1りから	5上が	骨って	いる。		_		して湘	わてし	いる。		機能	を果た	してい	ない。				
崩	8 例	張り出し床	板付擁護	達の支柱の損	支柱的	こひびん	が入っ'	ている	o o			のコンク ている	クリートカ	はが	れて鉄	筋が	支柱	の剪的	破壞。					
	10.0	基礎及び基	礎地盤の	O被害	大規模	な沈	下やクラ	ックが	生じて	いる。	767.	C 4										\neg		
	10	排水施設0)変状		,		-,		がある				壁のク	ラック	又は目	地か			まり、		あり 、	排水		
					は、天 れる。		i、細数	面に	クラックカ	見ら	60	湧水が	ある。				機能	が失わ	れてい	いる。				
	11	擁壁背面 の)水道管	等破裂		て水が	洋流出	してい	る。															
						基礎点	<u>i</u> +	- 変	を状点	_	П			☆被	害程度	その点	数と危	1険度	判定公	7				
		deducte or	viole** No		H		-	-		1	無	被害	: (0 ,	点(防	災上	問題:	無し)						
	*#	被害の 磁点に変状点の	判定値		∣ ∟			L			小	被害							(上間	題無	(し)	- 1		
		要の場合は基								٦.												- 1		
						中被害: 4.5 点~8.5 点ま 点 (知限付き立る											進行していれば避難)							
		/s. e/.	la del esta		Landa of h (Am. washing to the L)										- 1									
	ēt.	7 - 17 17	复判定 [1]		므ᄎ		_			<u>」無</u>	1^	以古	. 0.0			• • •			,,,		z			
*		見(記入者の意 対害の場合は記		緊 急 度 拡大の見込				_		<u>小</u> 判断不	可小		(生・父	<u>10</u> √) 3	点で手	定基準	29	S .	-)		
_													•	Jane										

例題-4(解答)

(様式-1) 擁壁被害状況調査・危険度判定票

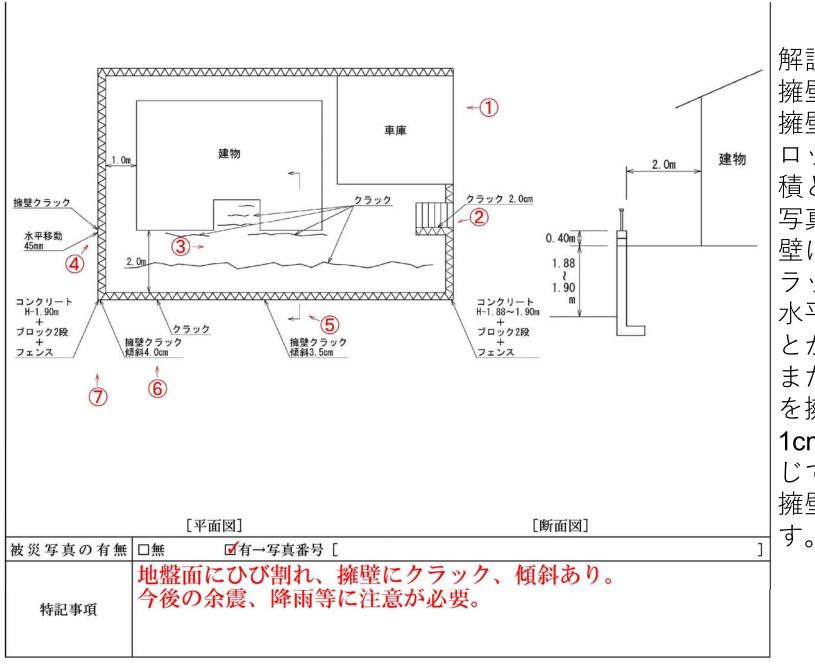
	⇒imt	-1-	चार	調査日時	F 2	年 月	日	時	調査番号		
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	名			,		
	址 	- 相 武		都	3 道 府 県	1	市 郡			区町村	
	被害発生	一场加			地区	区 団地	-	广 目	番	号	
	所有者•管理	里者氏名				記入者氏名		TEL	:		
	所有者・管	理者の				居住者への	□済□	未了			
	連絡	先	TEL:			説明		□居住者	不在 口:	老人独居住宅	į
 写真	真・図よ	<i>i)</i> <	<被	災 状	泛	図>		応急措置 □被災無			
	1.クラック	2.水平和	多動 3-1.不	同沈下 3	-2.目地の開き	き 4.ハラミ	5-1.傾 翁	5-2.倒	壊 6.擁壁の	折損 7.崩	壊
	===										
	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	傷 9.基礎及び	が基礎地盤の	被害 10.排水	、施設の変状		建物•	道路との位	置関係(基礎)	点)
					» [- 影響範囲外(70 C. C. CONTRACTOR	(A) 影響範囲/	外 (B)
	※簡易記録を	をする場合	合は、被災	状況図は行	省略するこ	とができる。			1. 7H		

解説

被害状況図には、写真、図よりクラック、水平移動、傾斜を生じていますので ○を付けてください。

影響範囲は擁壁の下に道路や建物がありませんが, 擁壁上部から2mに建物があるため, Aとなります。

例題-4 (解答)



解説 擁壁タイプは,RC 擁壁の上部に建築ブ ロックがあるため増 積となります。 写真・図よりL型擁 壁に**1.5~2.0**cmのク ラックが生じ、**45**mm 水平移動しているこ とが分かります。 また,建築ブロック を擁壁に使用して 1cmのクラックが生 じています。 擁壁が傾斜していま

例題-4 (解答)

	_										
				□L(逆T)型	□重力式				増積部分	{ コンクリートブロッ:	ク2段]
擁		 □=v5i 13	oo lec'editaba	□もたれ式				☑増積み擁壁	擁護部分	L型 煙	
壁	 , , ,	│ □コンクリート϶	代雅里	□その他					全瘫壁高	j 23 m 增設高	0.4 m
の	攤			□場所打ち	□プレキャスト				H. 1/1/-]
基	箦		F.	□間地石	□コンクリートブロック			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	断	面図より]
做的	雑壁の種類	□練石積擁壁		□その他]		上部局	m;卜部高	m
擁壁の基礎的条件	親			□玉石積	□くずれ石積			□張出し床版付擁壁	□その他]
件		 □空石積縮	壁	□間地石				擁壁の設置条件	□切土・	盛土境 □転引地盤上□他□	□不明
				□その他]	擁壁の勾配		度 又は (1 :)
					•			第一田に建物主たは道路がある(A)		HC建物または道路がない(B)	
			乾燥				_	0		0	
		湧水	湿潤					0.4 写真よ	こり 厂	0.2	
			にじみ	出し、流出				0.8		0.4	基礎点計
基			水抜孔	有、天端排水溝	有、表面水の浸透阻	止		0		0	1+2+3
T ški e	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表面	kが浸透しやすい			0.4		0.2	
礎			水抜孔	無 あっても数	• 寸法が不適当			0.8		0.4	0.6
点			H≦lm		Г	三 図よ	. 11	0		0	0.0
,,,,	<i>m</i> ,		1m <h< td=""><td>≦3m</td><td>یا</td><td>의 &</td><td>・ソ</td><td>0.2</td><td></td><td>0.1</td><td></td></h<>	≦3m	یا	의 &	・ソ	0.2		0.1	
	3	高さ	3m <h< td=""><td>≦4m</td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td>0.2</td><td></td></h<>	≦4m				0.4		0.2	
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		4m <h< td=""><td>≦5m</td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td></h<>	≦5m				0.6			
	③高さ 3m<1 4m<1		5m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td>0.4</td><td></td></h<>					0.8		0.4	
				_ ,				,			

解説

基礎点は、写真より湧水がなく乾いているので0点、排水施設0.4点、 擁壁高さが2.3mなので0.2点、合計0.6点となります。

例題-4 (解答)

区	馥	中大																			
区分	項目 擁陸種類	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積		
	1 クラック	1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8			
	2 水平移動	2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	45	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9		
変状	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	/		
状	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10		
能	5 傾斜・倒壊	5	5.5	(6)	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10			
上	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10			
形態と変状	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10		
	8 張り出し床板付練壁の支柱の損傷					7						9						10			
点	9 基礎及び基礎地盤の被害										0			,							
	10 排水施設の変状				3						5						7				
	11 擁壁背面の水道管等破裂										0						•				
	項目/程度		LAtterna		小	- IAKAL	1 - 1		20		中						大				
	1 クラック(幅)	1000000				機能			~20 m		A FILE				此	LATER	шлг	DL 1.)			
		bit小化	レコング	リート光々	雅里	続2Ⅲ	Milly.	満	ノリート対	は確達の	場合 2	mm~;		477	リート糸	擁壁の	場合う1				
1	2 水平移動	5 mm	と港の船	制制変化	けがあ	z .		11.4	~50 mn	末満の	医相样液	くけんばあ	À	50 mm	nD Fa	隙間変	いけかぶま	5.7			
कंड	(相縮日地前後のずれ)	0 11111	والر مانيالها	MINSCI	עט אונוו	۵.			00 mi	DIMPIO	IMM HIVE	111/10 0		00 1111		TONITOR	CIMITA O	, ,			
変状	3 不同沈下・目地の開き	5	上进の	⊟եհե Լ.՝	ドクギ	わコル		5 mm	~50 mm	未満の	日地の	上下の	ずれ又	50 m	叫上	り目地の	2上下0	つずれり	とは目		
0	(目地上下・左右の開き)	E	古		N/	H	l)			きがあ						あり、					
程		7	真		凶	4	')							が有る。							
度	4 ハラミ	1 7 7 9 41	~-		- 1 1/0	/\D(I-I)			宅地地盤にテンションクラック無し							テンション		有り	The state of the s		
大	(テンションクラック・ずれ・中抜け)		対落ち						円弧すべりのおそれ無し							のおそ					
.	5 傾斜・倒壊					以下。			擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コン が一ト系練壁の場合:天端50m以上の							• 倒壊	してその	り機能を	を失っ		
中		米少	排作()	場合・プ	(分前 50)	皿未満	NATH H		グリート 糸 郷壁 グ リ場合 : 大 端 50 mm 人 上 グ) 佐 斜							6					
•	6 擁壁の折損	カラッ	クを倍	こわざ	かに在	度をな	170	1.2.44	1969 クラックを境に明らかに角度をなしてお							一見して大であると判るもの。(コンクリ					
小の	(横・ななめひびわれから起きるもの。	る。	7 2 3901	4797	010)1	X C'A	000	100000000000000000000000000000000000000						[1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]							
概	はらんでいるが曲線的でなく、クラック		リート系	擁壁の	場合ク	ラックを	境にわ		り、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。(コンクリート系練達の場合クラック							ている。又は、1 mmでも剪物破壊があ					
要説	を境に鈍角に折れている)			してい						に傾斜				り後傾している。)							
	7 崩壊	中間	辺りか	ら上が	骨ってい	る。		基礎	部を列	して消	ってい	る。		機能を果たしていない。							
明	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷	支柱	こひび	が入って	ている。			支柱	のコン	クリートカ	ぶはがれ	て鉄	筋が見	支柱の剪断破壊。							
								えて	いる。												
	9 基礎及び基礎地盤の被害					じてい															
	10 排水施設の変状					がある。				壁のケ	ラック又は	は日地	からの	水抜孔の詰まり、破損があり、排水機							
-	11 擁壁背面の水道管等破裂			が流出し		が見ら	7 1/20。	冯小	がある	00				能が失われている。							
	11 擁壁背面の水道管等破裂	110232	基礎			o。 変状点					ル ½	dr de AD	座の上	米ケレム	经企业	判定☆			-		
		l			ั⊏			i			MI	又古任	及りた	女人二儿	业则支	HILLX					
			0.6	6	+	6.0		#	被害	:	0 Y	(防災	纟上問	題無	し)						
	被害の判定値	L	375550		L			1	小被害:1~4.5 点未満 (当面は防災上問題無し)												
23	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し			-			_		中被害 4.5 点~8.5 点未満												
88	AMERICA PROPERTY BALLANDAM C			=	6	6	La	i (#	傚吉												
		= 6.6 (制限付き立入、進行していれば避難)																			
		<u> </u>	ć [4		\	無	一大	被害	: 8.5	点~	危険	、要进	避難、	立入	禁止)					
	所見記入者の意見 緊急度				中		小	-		-	人们	命・助	雀•交	1の3 년	を判局	は進と	する。)		
3	※無被害の場合は記載無し 拡大の見込み)								
	,,											-									

解説

変状点は写真・図より増 積擁壁のクラックが 2.0cmで6.0点,水平移が4 が4.5cmで4.5点,傾斜が4 cmで6.0点となります。 したがの点となります。 位は、本が0.6点の中 は、が6.0点となります。 数急度はります。 数急度はります。 数有となります。 【例題-5】 擁壁パターン(5)

例題-5 (現場写真)

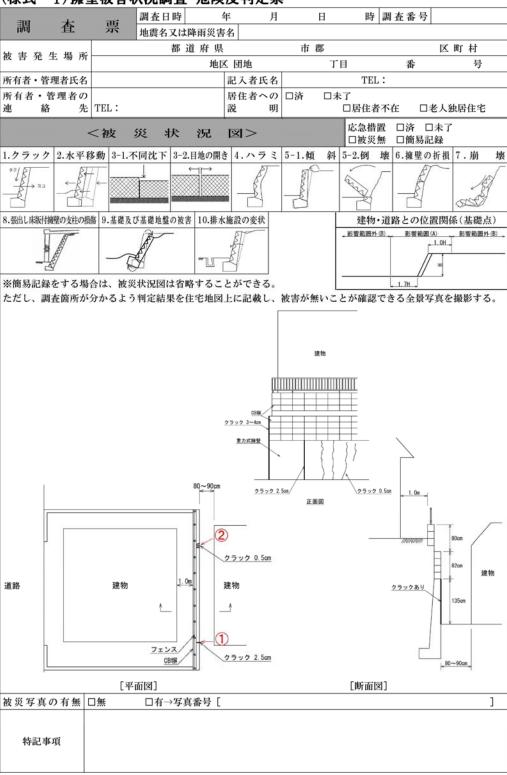




 $\widehat{3}$



(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票



擁壁の基礎的		□コンクリートう	系線壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他	□重	烒				□増額	沙塘暨	š.		扬	增縮流 擁紹流 全種高 m 增設高]] m		
の甘	擁壁の種類			□場所打ち		キャス				- CILLARIA				1 -	上部]		
礎	の種	□練石積燥	睦	□間地石 □その他[;	/クリート	ブロック		1	□□段線壁					下部 上部高] m		
的	類			□玉石積	□く	ずれ石	畚								上部高 m;下部高 □その他									
条件		□空石積線	壁	□間地石		, , , , ,			擦壁の設置条件							切土・盛土境 □戦烈地盤上 □他 □不明								
Ш				□その他		擦整の勾配				\perp		度り			:)							
			4-6-162					\rightarrow	□最浅	習慣用に建物または道路がある(A)) [□県海崎田に建物または治路がない(B)									
	(T)	湧水	乾燥 湿潤							0.4					0 02									
	· u	99/1		出し、流出							0.8						0.4				基礎点	部		
基			_	有、天端排水港	铕、超	がの	步發狂	Ŀ			0						0				1)-(2)			
礎	(2)	排水施設		有、天端は表面							0.4						0.2				_	-		
	_		水板孔 H≦lm	<u>無、あっても勢</u> 、	で寸法	2个適	<u> </u>	\rightarrow			0.8			_			0.4			\dashv	l			
点			lm <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td>_</td><td>_ </td></h<>								0.2						0.1				_	_		
	(3)	高さ	3m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></h<>								0.4						0.2							
			4m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></h<>								0.6						0.3							
	The last last		5m <h< td=""><td></td><td>1</td><td></td><td>,i</td><td>\perp</td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td>4.</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>L.</td><td></td><td></td></h<>		1		,i	\perp			0.8			4.			0.4			L.				
努	項	II -	-	程度 捥磨桶類	コンクリ	練排	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	中 2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積		
		クラック	-	- OKLIHOV	1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8			
	_	水平移動			2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	45	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9		
変状	_	<u>不同沈下・E</u> ハラミ	地の開き	<u>*</u>	3	3.5 4.5	5	5 6	8	8	45	5 6	6	7 8	9	9	6	8	8	9	10	10		
形	_	傾斜・倒壊			5	5.5	6	7	8	<u> </u>	7	8	8	9	10	~	8	9	10	10	10	10		
形態と	_	擦壁の折損			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10			
変状	_	崩壊				9	9	10	10	8	Λ	10	10	10	10 9	9		10	10	10	10	10		
状	_	張り出し未扱う 基礎及び基礎							7												10			
\m_	_	排水施設の		以 官	3 5 7																			
Ш	11			破裂		10																		
	,		目/程度		0	attion h:	1		ESSA!	l m-t-	中 の支 2mm~20 mu未満				20 ma/L E.					た				
	1	クラック幅			2 m未 障なし		799/ほ2 ト系納			未満。 (コンクリート系操権の場合 2mm~) 満					nm ~5	皿未			擦壁の	場合 5 :	m以上)			
		水平移動	-Mila)		5 mm未	5㎜未満の隙間変位がある。					5 mm~50 mm未満の隙間				間変位がある 50 m以上の					の隙間変位がある				
変状の	3	縮目地前後の 不同沈下・E 地上下・左右	地の開き	ž	5 mm末 開きが		地上下	のずオ	汉は	地の				地の る。	上下の	加又	50 m以上の目地の上下のずれ又は 地の開きがあり、滑動、転卸のおそ							
程度		ハラミ					ミ及び	dubit	信託石力	は目地の開きがある。 が1~2 宅地地盤にテンションクタ					が有る。									
.		ンションクラック・	ずれ・ロ	中抜 け)	個抜け			112017	WELLIN	円弧すべりのおそれ										MUすべりのおそれ有り				
大・中	5	傾斜・倒壊								。ロンクリ 操墜が前面地盤に対し 物の傾斜 クリート系解壁の場合:					し垂直以上。ロン 操修が前候					してその	が機能を	失っ		
	6	婉壁の折損			クラック	を境に	わずか	に角度	Eをなし	てい	有終す クラッ		ご明らた	べに角度	をなし	てお	一見	して大	である	と判る	しの。 (コンクリ		
の		・ななめひひ			る。									裏込					場合外					
概要		らんでいるか 境に鈍角に折		3なく、クラック)			壁の地		ックをも	始にお				系施隆している		フフック			は 1 m いる。)	m'(^&!	出时的反均	数かるう		
説		崩壊	104. 0	,	中間辺				る 。					ってい					LTIV	ない。				
明	8	張り出し床権	付擁壁0	り支柱の損傷	支柱に	ひびか	入って	いる。			,	のコンク いる。	リートが	ながれ	て鉄道	が見	支柱	の剪断	破壞。					
		基礎及び基礎		姞			やクラッ						m.t h											
	10	排水施設の	要状				ずれ、 装面に					加え探 がある。		ック又は	目地	ゅらの			まり、A ている。		あり、お	非水機		
	11	擁壁背面の:	水道管等	破裂			流出し			000	129/1	الاحران و	•				HEV?	7V4 74 0	(V - D)					
						基礎点		- 変						☆被	唐倒	度の点	数と危	濒度	制定☆					
							-	-			無	被害	: 0	点((防災	上問	題無	し)						
	344		判定值		∣ L		┙.	L											-問題	無し)			
		協力に変状点の 被害の場合は基																						
	,,,,,,					=	= [点		政督					行! -	ر 1. د ا	2 1-F 48	: ##L\				
			with the second				ᆫ					ماد بلط					行し、							
			度判定		口大		中	_			大	被害	. 8.5				難、					,		
Ι,		見記入者の意 焼きの場合は配		緊 急 度 拡大の見込み	口力					□ 小 (人命・財産・交通の3点を判定基準とする。 □ 判断不可 (備考:)							
	· Office	大学と特合ではは	政策し	144/0/7503054	□ 111		□ ?	177		T96/17	1		,	1802	, .							,		

例題-5(解答)

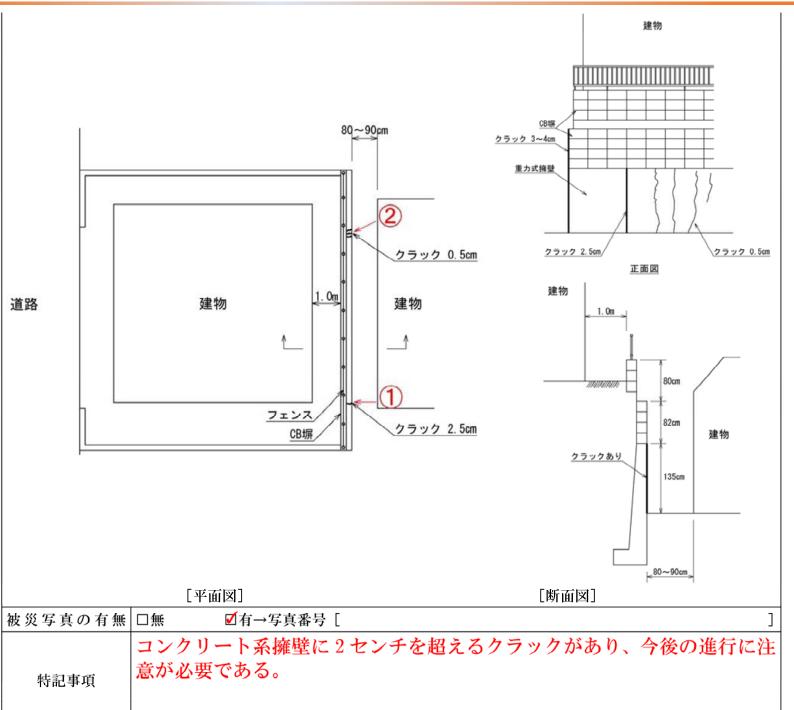
(様式-1) 擁壁被害状況調查・危険度判定票

	≓IFI	→	ਜ਼ੜੇ	調査日	诗	年 月	日	時	調査番号	
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	名				
	被害発生	上租市		者	祁道 府県		市 郡			区 町 村
	似 古 光 5	上物 別			地区	区 団地	-	1.目	番	号
	所有者・管	理者氏名				記入者氏名		$ ext{TEL}$:	
	所有者・管		mpr •			居住者への	口済 口	未了	* **	b I VI II N. II
	連絡	先	TEL:			説明		□居住者	个在 口	老人独居住宅
 写:	<u> </u>	(1)	<被	災 状	: 況	図>		応急措置 □被災第		
	1.クフック	2.水平和	多動 3-1.不	同沈下	3-2.目地の開き	き 4.ハラミ	5-1.傾 糸	斗 5-2.倒	壊 6.擁壁の	折損 7.崩 壊
	===									
	8.張出し床版付擦	壁の支柱の損	傷 9.基礎及び	が基礎地盤の	被害 10.排水	施設の変状		建物•	道路との位	置関係(基礎点)
					**************************************			影響範囲外	B) 影響範囲	(A) 1.9H 工
	※簡易記録	をする場合	合は、被災	状況図は	省略するこ	とができる。		<u></u>	1. 7H	
	ただし、調 解説	査箇所が	分かるよう	判定結果	を住宅地図	上に記載し、	被害が無い。	ことが確認	できる全景写	真を撮影する。

写真・図より、擁壁下部の重力式擁壁及び上部の建築ブロックにクラックが生じていることが分かります。

影響範囲は擁壁の上部・下部に建物があるためAとなります。

例題-5(解答)



解説

写真・図より重力 式擁壁に0.5~ 2.5cmのクラック が生じていますの また、建築ブロし で3~4cmのクラ ックが生じています。

例題-5(解答)

擁壁の基礎的条件	Life	□コンクリートラ	系維達	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他	□重力式		□増積み雑壁		增積部分 擁轄部分 全擁護高	図より	i]] m
の其	擁壁の種類			□場所打ち	□プレキャスト		,		上部	ブロック塀雑壁]
礎	の種	□練石積擁	壁	口間地石	□コンクリートブロック	1	☑二段擁壁		下部	重力式	1.95	
的	類	11 co - 1380 co 50 70 - 200 80		□その他	ロノギルブは			ししったけた	上部高	1.6 m;下部高	1.35	m
余				□玉石積	□くずれ石積		□張出し床版作	110000000000000000000000000000000000000	□その他			J
件		□空石積瘫	壁	口間地石			擁壁の設置条件	牛	□切土・盛	土境 □較弱地盤上□他	□不明	
			_	□その他]	擁壁の勾配		度	又は (1:)	
						□影	響範囲に建物または	よ道路がある(A)	□影響範囲に	建物または道路がない(B)		
			乾燥				0			0		
	1	勇水	湿潤				0.4			0.2		
12.2			にじみ	出し、流出			0.8			0.4	基礎	点計
基			水抜孔	有、天端排水溝在	f、表面水の浸透阻止		0	写真より)	0	1+2	2+3
礎	2	非水施設	水抜孔	有、天端は表面が	が浸透しやすい		0.4			0.2		
ルビ			水抜孔	無 あっても数・	寸法が不適当		0.8			0.4	1.0	0
点			H≦1m				0			0	1.	U
			1m <h< td=""><td>≦3m</td><td></td><td>図よ</td><td>0.2</td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td></h<>	≦3m		図よ	0.2			0.1		
	3	高さ	3m <h< td=""><td>≦4m</td><td>L</td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td></h<>	≦4m	L		0.4			0.2		
			4m <h< td=""><td>≦5m</td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td></h<>	≦ 5m			0.6			0.3		
			5m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td></h<>				0.8			0.4		

解説

基礎点は、湧水がなく乾いているので0点、水抜き穴が無いので0.8点、擁壁高さが $1\sim3$ mなので0.2点、合計1.0点となります。

例題-5 (解答)

区	程度	小	中	大
区分	項目 擁壁種類	コンクリ 練積 増積 2段 張出 空積	コンクリ 練積 増積 2段 張出 空積	
	1 クラック	1 2 3 4 5	2.5 3.5 4 5 7	4 5 6 7 8
-4-	2 水平移動	2 2.5 3.5 4 6 6	3.5 4 4.5 5 7 7	5 5.5 6 7 9 9
変状	3 不同沈下・目地の開き	3 3.5 4 5 7	4.5 5 6 7 9	6 7 8 9 10
形	4 ハラミ	4.5 5 6 8 8	6 7 8 9 9	8 9 10 10 10
態	5 傾斜・倒壊	5 5.5 6 7 8	7 8 8 9 10	8 9 10 10 10
上	6 擁壁の折損	6 6.5 7 8 9	7 8 9 9 10	8 9 10 10 10
と変	7 崩壊	9 9 10 10 8	10 10 10 10 9	10 10 10 10 10
	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷	7	9	10
点	9 基礎及び基礎地盤の被害		10	
	10 排水施設の変状	3	5	7
	11 擁壁背面の水道管等破裂		10	
	項目/程度	小	一一 キャル 🗌	大
	1 クラック(幅)	2 ㎜未満のクラックはあるが、材 义	写真より 	20 ====1
		支障なし(コンクリート系擁壁の場	mm	ロンクリート系擁壁の場合 5 mm以上)
		未満。	未満	
	2 水平移動 (伸縮目地前後のずれ)	5 ㎜未満の隙間変位がある。	5 mm~50 mm未満の隙間(変位)がある	50 ㎜以上の隙間(変位)がある
変	3 不同沈下・目地の開き	5 ㎜未満の目地上下のずれ又は目地	5 ㎜~50 ㎜未満の目地の上下のず	50 ㎜以上の目地の上下のずれ又は
状の	(目地上下・左右の開き)	の開きがある。	れ又は目地の開きがある。	目地の開きがあり、滑動、転倒のお
の程				それが有る。
度	4 ハラミ	小規模のハラミ及び中抜け(積石が1	宅地地盤にテンションクタック無し	宅地地盤にテンションクラック有り
/2	(テンションクラック・ずれ・中抜け)	~2 個抜け落ちる)	円弧すべりのおそれ無し	円弧すべりのおそれ有り
大	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コ	擁壁が前面地盤に対し垂直以上。	擁壁が前傾・倒壊してその機能を サーブンスプロ
•		ンクリート系擁壁の場合:天端 50 mm未満 の傾斜	(コンクリート系擁壁の場合:天端 50 mm 以上の傾斜)	失っているもの。
中	6 擁壁の折損	クラックを境にわずかに角度をなして	クラックを境に明らかに角度をなし	 一見して大であると判るもの。(コン
•	(横・ななめひびわれから起きるも	いる。	ており、抜け石があり、裏込めコン	クリート系擁壁の場合クラックを境に前
小	の。はらんでいるが曲線的でなく、	(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に	クリートが見える。(コンクリート系擁壁の	傾している。又は、1 ㎜でも剪断破
(A)	クラックを境に鈍角に折れている)	わずかに前傾している。)	場合クラックを境に前方に傾斜して	壊があり後傾している。)
概			いる。)	
要説	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。	基礎部を残して滑っている。	機能を果たしていない。
明	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損	支柱にひびが入っている。	支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が	支柱の剪断破壊。
24	傷		見えている。	
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。		
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又	左に加え擁壁のクラック又は目地か	水抜孔の詰まり、破損があり、排水
		は、天端背面、舗装面にクラックが見ら	らの湧水がある。	機能が失われている。
	as think lives a 1 Mills bealing	れる。		
- 100	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂して水が流出している。	i blodefrink or let	원. 1. 전.PA pholydich A
		基礎点 + 変状点	☆被害程度の点	数と危険度判定☆
	被害の判定値	1.0 + 7.0	無被害: 0 点(防災上間	問題無し)
	検告の刊疋他 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数		小被害:1~4.5点未満(当	当面は防災上問題無し)
	無被害の場合は基礎・被害点の記載無し		中被害: 4.5 点~8.5 点未満	
		= 8.0 点		進行していれば避難)
	危険度判定		大被害:8.5点~(危険、要	避難、立入禁止)
	所見(記入者の意見) 緊急度		(人命・財産・交	通の3点を判定基準とする。)
*	無被害の場合は記載無し拡大の見込	□有 □無 □判断不)
	e de la companya de l	12 12		

解説

【例題-6】 擁壁パターン(6)

例題-6 (現場写真)

 $\widehat{1}$







 $\overline{(2)}$



例題-6 (現場写真)

3



3近



(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

(様式-	1)雅堡	き被害	大况調1	査・危険	皮判定	祟					
≅Œ	*	सर्व	調査日時	寺	年	月	日	時	調査番号		
調	査	票	地震名又	は降雨災害	名						
被害発生	と場 所		都	邓道 府 県		ī	市郡			区町村	
				地区	☑ 団地		1	目	番		号
所有者・管理					記入者氏			TEL	:		
所有者・管 連 絡		TEL:			居住者への説	の 口済明		未了 □居住者	∵不在 □	老人独居住	笔
	<	<被	災状	泛	図>			応急措 □被災			
1.クラック	2.水平科	多動 3-1.7	「同沈下 3	2.目地の開き	き 4. ハラ	₹ 5-1.	傾斜	5-2.倒	壊 6.擁壁の	の折損 7.角	崩壊
97										683	
8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	寫 9.基礎及	び基礎地盤の	被害 10.排水	施設の変状				道路との位	置関係(基	礎点)
※簡易記録	をする場合	合は、被災	₹ ₹ ₹ ₹ ₩ ₩ ₩	省略するこ	とができる	•		- 影響範囲外	(8) 影響範囲	E(A) 影響	范囲外(B)
ただし、調査	査箇所が	分かるよう	判定結果	を住宅地図	上に記載し	、被害が	3無いこ	とが確認	できる全景	写真を撮影	する。
	(8問題な	建物			フ全範囲	皇物	2.5m	_	ラック全範囲 100mm コン <u>タ</u> 出っ	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	建物
	2-	1 =2	ックリート 1ック 折損						J _e . Z.	Om	
		「巫	面図]					[断面]	বা		
被災写真の	7 有無 [写真番号[524 mHz]
特記事											

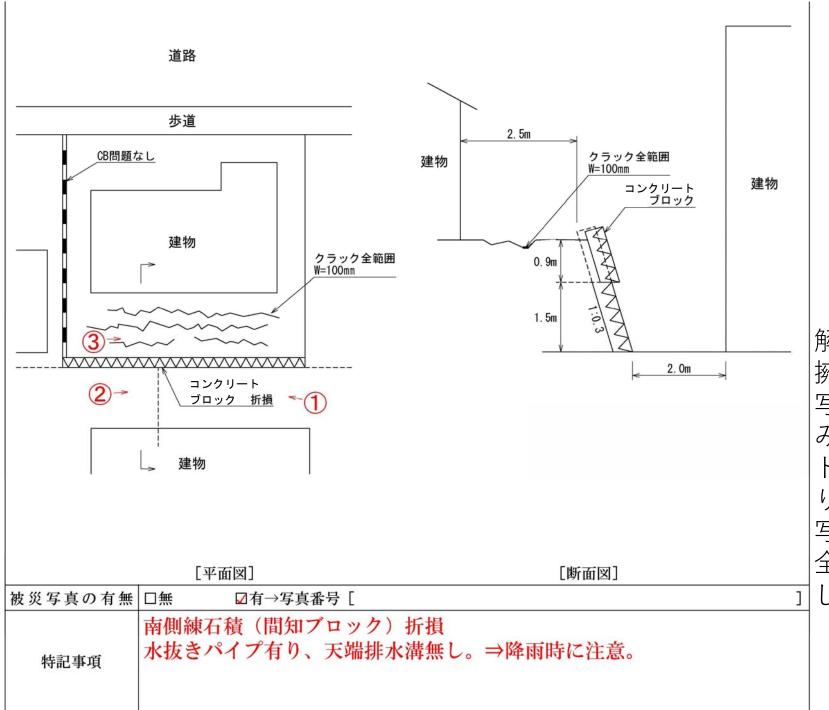
擁壁		□コンクリート	系練壁	□L/逆丁型 □もたれ式 □その他	□重	力式				□増制	砂塊	!		ħ	報告形 建等形 按理等	χ		m	増設	高]] m
擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	2		□場所打ち		キャス									部	-			· · · ·	1-4]
礎的	の種	□練石積縮	睳	□間地石 □その他		ノクリート	フロック]		EMELE				部高 部高		n	1;下音	高			m l
条	翔	`l		□玉石積	□<	ずれ石	積			_	化棉		į		その他	_]
14	ı	□空石積縮	壓	□間地石 □その他					1	操撃の	設置条 公配	件		1)別土・		を □動 ひは		<u>¥L□f</u> :	也□不	<u>明</u>)	\dashv
	L	1		In Caster					_	_		は難	がある(A) [影響館		はたば					\dashv
	Γ,	David I.	乾燥								0						0					
	Ιa	[湧水	温陶にひみ	出し、流出							0.4						0.2				基礎点	1874 1887
基	Г			有、天端排水清	铕、	iko?		:			0						0				1+2	
礎	2	2排水施設		有、天端は表面							0.4						0.2				_	- I
点	Н		H≤lm	無 あっても勢	X • 1725	14/19 <u>/0</u> 5	3	\dashv			0.5			+			0.4			\dashv		Ш
,	L.		1m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>- 1</td></h<>								0.2						0.1					- 1
	l a	3高さ	3m <h 4m<h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></h<></h 								0.4						0.2					
			5m <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></h<>								0.8						0.4					
	n	餌		程度	コンクリ	練積	小 勝雄	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積		2段	張出	空積
1~	-	クラック	-	1982-1948	1	2	3	4	5	至例	25	3.5	4	5	7	至限	4	5	6	7	8	±00
nhs	_	水平移動	LEG CORE À	4	3	25	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
状	4	不同沈下・E ハラミ	地の用さ	5	-	35 45	5	5 6	7 8	8	45	5 6	6	7 8	9	9	6	7 8	8	10	10	10
変状形態と変状	5	傾斜・倒壊			5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
Ē	6	擁壁の折損 崩壊			6	65 9	9	8	9	8	7	8	9	9	10	9	8	9 10	10	10	10	10
		張り出し床板	が壁の支	主の損傷	$\overline{}$	Š	<u> </u>	10	7	Š	7	10	10	10	9	Š		13		10	10	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
点	₽÷.	基礎及び基礎 0 排水施設の		塘			3				_		10	5						7		-
		1 操整背面の		破裂			- 0				_		10							_		
	Ļ	グラック(幅	目/程度		O modifi	迷れた	かりはお		HHOL	L-mak	200000	~20 mm		p			20 mm	N L		<u>t </u>		_
	Ľ	クフツク明証					小系擁							場合 2	nm ~5	皿未			操墜の	場合 5 :	m以上)	
	II 74	水平移動 中縮目地前後の	refision)		5mm未	古の隙	間変位	がある	00		5 mm ⁻	~50 mm	未満の	創問変	並があ	る	50 mm	以上の	隙間変	位がは	53	
変状の記	3	不同沈下・目地上下・左右	地の開き	ŧ	5 mm末 開きが		地上下	のずれ	収は	地の			杉満の[きがあ	地の_ る。	<u>-</u> 下の ;	けれ又	地の	開きが	0目地の			
程度	II 1	ハラミ	willia . d	Holi			ミ及び	中抜け	積石が	1~2				/クタック lo.fuc.t	無し			世盤に	テンション		有り	\dashv
大		デンションクラック・ 傾斜・倒壊	971.4	刊及訂	個抜け 擦壁が		盤に対	し垂直	以下。(コンクリ	擁壁	が前面		対し垂					のおそ: ・倒壊!		/機能	尖っ
中	Щ	Mark - Irdia					拾:天			.,	傾斜			: 天猫				るもの	_	1 stores) - (
小の		擁壁の折損 黄・ななめひひ	われから	起きるもの。	クラック る。	を境に	わずか	に角馬	をなし	てい				さい 裏込					である。)場合ク			
概	ŧ	はらんでいる が	曲線的で	なく、クラック			健との場		ックをも	能にわ	見え	る。(コ:	ンクリート	系擁壁	の場合				t. 11		自好而处	勧があ
要説		と境に純角に折 崩壊	れている				ている 上が滑		る。		を境	部を残	に関料して滑	してい	5.) 5.				いる。) してい			\dashv
明		張り出し床権	付擁190	支柱の損傷			入って				支柱	のコンク		りはがれ		が見	_	の剪断				\neg
	9	基礎及び基礎	組織の複	ķir	大規模	た沈下	やクラッ	が生	じてい	5	えて	いる。										\dashv
	_	0 排水施設の			天淵川	水溝で	ずれ、	欠損が	ある。	攻は、				ック又に	目地	らの			まり、私		あり、お	ル水機
	H	1 掬壁背面の	水道管等	शहरूप -			装面に 流出し			<i>い</i> る。	湧水	がある	,				能が	失われ	ている。			-
	1	* SKEPHINA	1020-11	(A)X		基礎点			• E状点	_				☆被	古程	度の点	数と危	腌度	判定☆			\neg
		L frederic	. Indude 4 fo		ΙГ		٦ +	. Г		7	無	被害	: 0)点	(防災	上問	題無し	し)				
	*	被害の 基礎点に変状点の	判定值 最大的经				_	L		_	小	被害	: 1~	-4.5 g	5.未清	6(当	面は間	方災」	上問題	無し)	
		順波書の場合は基					Г			٦		被害	: 4.5	点~8	.5 点	未満						
						=	ĪL			点			(制)	限付き	立入	.、進	行して	ていえ	いば逝	難)		
		危険)	度判定		口大		ф	口小		無	大	被害	: 8.5	点~(危険、	要說	難、	立入	禁止)			
		所見記入者の意	涀	緊急度	口大		r	þ		小						· 交i	16の3点	を判定	基準と	する。)
\Box	※ 無	記さる製の書類	強無し	拡大の見込み	□有		□ ;	無		判断不	र्ग		(備老	;: :)

(様式-1)擁壁被害状況調查・危険度判定票

	≓म	*	ਜ਼ੜ	調査日時	寺 4	年	1	日	時	調査番号		
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	名						
	*** *** *** ***	· 相 武		者	『道 府 県		市	郡			区町村	
	被害発生	场州			地区	区 団地		丁	目	番	号	
	所有者・管理	里者氏名				記入者氏	各		TEL	:		
	所有者・管	理者の				居住者への	の 口済	口未	:了			
	連 絡	先	TEL:			説	月		□居住者	不在 口	老人独居住宅	i
写	<u></u> 真・図よ	: 1)	<被	災 状	沈	図>			応急措は□被災犯			
	1.クラック	2.水平和	多動 3-1.不	同沈下 3	-2.目地の開き	き 4. ハラ	ミ 5-1.傾	斜	5-2.倒	壊 6.擁壁の	折損 7.崩	壊
	97 33											
	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	傷 9.基礎及で	び基礎地盤の	被害 10.排水	、施設の変状			建物•	道路との位	置関係(基礎)	点)
	※ 節見記得去	5 + Z H	A)+ '#''	STATE OF THE STATE	************************************	トができる			影響範囲外	(B) 影響範囲	(A) 影響範囲が 1.001	7ħ (B)
	※簡易記録を							L いこ、	とが確認		写真を撮影する	<u></u>
			12개 (BE) - (제1 (제2) (제2)	–								370000

解説

被災状況図には写真・図より折損に○をつけてください。 影響範囲は、擁壁上部・下部に建物があるので、Aとなります。



解雑写みトり写全じのかってま真体では積ったのではいいましたがありませんではいまりませんがある。は指していまがある。

fals.				□L(逆 T)型	□重力式					増積部分]
擁		□コンクリート	交換辟	□もたれ式				□増積み擁壁		擁壁部分	[]
壁	城計	□ □□□□	万下19年3E	□その他						全擁壁高	m 増設高	m
0)	199			□場所打ち	□プレキャスト					上部[]
基準	の	WAR 146	e Pris	□間地石	ヹコンクリートブロ	ック		□二段擁壁		下部[]
的	擁壁の種類	□練石積擦	胜生	□その他[]			上部高	m;下部高	m
擁壁の基礎的条件	翔			□玉石積	□くずれ石積			□張出し床版付擁	壁	□その他]
件		□空石積擦	壁	□間地石				擁壁の設置条件	ĺ	□切土・	盛土境 □軟弱地盤上 □化	也□不明
22.03		NO.400		□その他[]	擁壁の勾配			度 又は (1 :)
							上影響	P範囲に建物または道	路がある	□影響範囲	用に建物または道路がない(B)	
			乾燥					0			0	
	1	湧水	湿潤					0.4			0.2	
		NO 1740-A.S. LP 1	にじみ	出し、流出				0.8	写真	J 11	0.4	基礎点計
基			水抜孔	有、天端排水溝不	有、表面水の浸透	阻止		0		6 /	0	1+2+3
礎	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表面	水が浸透しやすい	`		0.4			0.2	
1)疋		PORTO O SECURITIVA DE SE	水抜孔	無、あっても数	• 寸法が不適当			0.8			0.4	0.6
点			H≦1m	1				0			0	0.0
2111			1m <f< td=""><td>I≦3m</td><td></td><td>図</td><td>より</td><td>0.2</td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td></f<>	I≦3m		図	より	0.2			0.1	
	3	高さ	3m <e< td=""><td>I≦4m</td><td></td><td></td><td><u> </u></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td></e<>	I≦4m			<u> </u>	0.4			0.2	
			4m <f< td=""><td>I≦5m</td><td></td><td>SA MENS COLUMN</td><td>W</td><td>0.6</td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td></f<>	I≦5m		SA MENS COLUMN	W	0.6			0.3	
			5m <e< td=""><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td></e<>	I				0.8			0.4	

解説

基礎点は写真・図より湧水がなく乾いているので0点,排水施設は水抜穴があり天端は土のため0.4点,高さは2.4mなので0.2点となり,合計0.6点となります。

1 3,	程度			,	<u>, </u>					ı	þ					7	大		
区分	項目 擦磨種類	コンクリ	練積		2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積		張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積
	1 クラック	1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変状	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
状	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
形	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
悲レ	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	(9)	10	10	10	
態と変状	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
採	8 張り出し床板村擁壁の支柱の損傷					7						9						10	
点	9 基礎及び基礎地盤の被害									1	0								
	10 排水施設の変状				3						5					,	7		
	11 擁壁背面の水道管等破裂										.0								
	項目/程度				小						中						大		
	1 クラック(幅)				あるが				~20 m					20 m					
		障な	し(コンク	リート系	雑華の地	続2Ⅲ	、		ケリート子	が推定の	場合:	mm~	加末	(コンク	リート系	練達の	場合51	皿以上)	
	O _L-0266666	E	Latte of the	tarnuv -A-A	14.154	7		満	50	-Latter	DAN TUV-A	-L1A.2.8-2-	7	50	DI La	DANTER A	-114.254	. 7	-
	2 水平移動 (伸縮目地前後のずれ)	o mm	内面の形	70人发生	分がある	ි		o mm	~50 mm	水雨の	隙間変	אינדנענן) S	oo mi	ILL LO	隙間変	211/1773-0	50	
変状	3 不同沈下・目地の開き	5 mm	上港の	Hith L	下のず	カマル	⊟#h⁄∩	5 mm	~50 mm	上港の	目地の	LTO	おわせ	50 m	mPI La	D目地の) LT0	つざわて	11+11
の	(目地上下・左右の開き)		がある。		1.079	1 LXIA				不があ		T I O	946			あり、注			
程	(DELI ZIZIVANIC)) Jije	V W) 00									a 1	7.1	1.	る。	277. 1	11290 1	MIT TO 24	5640
度	4 ハラミ	小規	草のハ	ラミ及び	が中族	光積石	jš 1 ~ 2	† <u>'</u> 4	手具	真・	· <u>></u>	J L	(1)			テンション	ノクラック	有り	
	(テンションクラック・ずれ・中抜け)		け落ち					L						_		のおそ			
大	5 傾斜・倒壊	擁管	が前面	地盤に	付し垂	以下。	(コンクリ	擁壁	が前面	地盤に	対し垂	直以上	。(コン	擁壁	が前傾	倒壊	してその	D機能を	失っ
中		一小系	擁壁の	場合:	€端501	皿未満	の傾斜			きの場合	汉:	∺50 mm	以上の	てい	るもの	•			
								傾斜											
小	6 擁壁の折損	100000	クを境に	こわず	かに角	度をな	してい	- 3000000			かに角					である			
O	横・ななめひびわれから起きるもの。	る。 (コン)	11 1 75	location of	場合ケ	=	ما حاضا				、裏込 系擁壓					り場合ク			
概	はらんでいるが曲線的でなく、クラック を境に鈍角に折れている)	11244	の一下系			1778	児にイノ	1 2 3 3 5 5 5 5			けてい		7777		る。又傾して	は、11		SIMINON,	(S)-0)
要説	7 崩壞	_	_	-	シ。/ 骨ってV	۱ ک		_		_	ってい	COLUMN TWO IS NOT THE OWNER.				してい			
明	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷				ている。	2 0					いはがす		帝が 目		の剪断		0		-
	5 报7日5月日7日	2113	-00,	,,,,				1 - 333,733,3	いる。	// 17	1007	0 (3)0	الر مس	Zi.	8773191	HEAP SIGN			
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規	莫な沈	下やクラ	ックが生	じてい	る。												
	10 排水施設の変状	天端	非水溝	こずれ、	欠批	がある。	又は、	左に	加え拗	壁のク	ラック又	却地	からの	水拔	孔の詰	まり、そ	波掛がる	あり、ま	小機
					こクラック		れる。	湧水	がある	0				能が	失われ	ている。	,		
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂			している														
		_	基礎	点	+ _	変状点	į.				☆褚	要害程	度の点	数と危	颁度	判定☆			
	I below the best of the		0.6		+	9.0		無	被害	:	0 ¥	(防災	٤上問	題無	L)				
	被害の判定値 ※基礎点で変状点の最大値を加えた点数	L	5.0				┙	20000						面は		上問題	無し)	
	※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し			г	-	1	\neg				点~8								
				=	9	.6	봈	i T	队百					行し	ている	1 / 平.四	(古化)		
	克拉岳龙 (芦							-	被害					産難、					
	危険度判定						無		仅百	0.0	_								- ,
	所見記入者の意見 ※無被害の場合は記載無し 拡大の見込み				中 無		小 判断不	जि		- 1		命・財産 考:		重の3点 降雨	えを判し	是準と	する。)
	MILLEY PRODUCE THE CONTRACT THE	₩ 1.			////		1,1615.1	1			7/13-	٦.	Note:	141-144					/

解説

【例題-7】 擁壁パターン(7)

例題-7 (現場写真)







(様式-1)擁壁被害状況調查・危険度判定票

135.24	工 / 17年 三	E1X D1	/\ 1/L II/I			<u> </u>						
調	査	票	調査日	時	年 月	ŀ	H	時	調査番号			
D/II]	H .	示		又は降雨災								
波 害 発:	生場所		i	都道府贝		市君		-		区	町 村	
				地	区団地		1,目		番		号	
所有者・管					記入者氏名	_		TEL	:			
所有者・1 連 絡		TEL:			居住者への説明		□未□	了 □居住者 ^{>}	不在 🗆	老人独	居住宅	i
		<被	災北	犬 況	図>				【□済 □ 【□簡易】			
.クラック	2.水平和	多動 3-1.7	「同沈下	3-2.目地の開	ま 4.ハラミ	5-1.傾	斜 5		表 6.接壁 €	_	7. 崩	壊
97 8 33							_			~	0250	
3.張出し床版付	種壁の支柱の損	傷 9.基礎及	び基礎地盤の	の被害 10.排	水施設の変状		L	建物·	道路との位	置関係	(基礎)	点)
~ ~ ※簡易記録	をする場	合は、被災	建状况図は	************************************	ことができる。		-	影響範囲外(8	影響範囲	(A) 1.0H	影響範囲	94 (B)
ただし、調	査箇所が	分かるよう	判定結果	長を住宅地図	図上に記載し、	被害が無	いこと	が確認で	きる全景な	写真を	最影する	5.
	カラック 1.00	2 5 y 2 1.0mn 2.3 ~ 3.2m		種」加坡		建	植物	23~3.2	1.0㎜ 木柵	前塘	4. 5m	
			面図]					[断面図]			
披災写真	の有無 [□無	□有→	写真番号	[]
特記事	項											

擁壁の基礎的	4380	ロコンクリート	系擁壁	□もたれ式						□増積	資み搾り	進		ħ	維部	36			Learn	tote]
其	鹺			□その他 □場所打ち		プレキャ	71.			-				_	·建蜂: -部[岛		n	n 増設	泛問		m 1
(曜)	擁壁のほ			□間地石			ハr ・トプロッ	ク			學學學				部[il
THE PARTY	種類		- 114	□その他	_	.,,	,]						部高		n	ı; Tī	部高			m
条	~	□練石積揃	壁	□間地石						擁壁の	D設置多	条件		_		盛土			也盤上	□他〔	□不明	-
7,4				□その他[]	擦壁0	均配					度	又は	()	1 :)
П									口影響	範囲に	建物ま	たは進	路がある	5 C	影響範	囲に建	物またに	は道路:	がない(E	3)		\neg
			乾燥								0						0					
	(I)	湧水	湿潤	ilia Mata							0.4						0.2					
基	_			出し、流出 有、天端排水	alle de de	est den	va⊒ ven	a d.			0.8			+			0.4			\dashv	基礎点	
	(D)	排水施設		有、天端は表							0.4						0.2				1+2	+(3)
礎	-	BF/INDIX		無 あっても							0.8						0.4				$\overline{}$	пl
点			H≦ln		.,,			\neg			0			\top			0			\neg	ı	11
w.			1m <i< td=""><td>I≦3m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>- </td></i<>	I≦3m							0.2						0.1					-
	3	高さ	3m <i< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></i<>								0.4						0.2					
			4m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>								0.6						0.3					
12.		The state of the s	5m <f< td=""><td>程度</td><td></td><td></td><td>小</td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td>þ</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>,</td><td></td><td></td></f<>	程度			小				0.8			þ			0.4			,		
区分	項	E .	-	<u>権</u> 整種類	コンクリ	練積			張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積		_	張出	空積
	1	クラック			1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
र्काई		水平移動			2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
4.17		不同沈下・	目地の開	き	3	3.5	4	5	7	<u></u>	4.5	5	6	7	9	<u>^</u>	6	7	8	9	10	12
形		ハラミ 傾斜・倒壊			5	4.5 5.5	5 6	7	8	8	7	6 8	7 8	8	9	9	8	8	10	10	10	10
1975	_	権壁の折損			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10	$\overline{}$	8	9	10	10	10	
で	7	崩壊				9	9	10	10	8		10	10	10	10	9	Š	10	10	10	10	10
叔	8	張り出し床板	付掘壁の	支柱の損傷				/	7						9						10	
点	9	基礎及び基		被害									10									-
Iŀ	10	排水施設の 擁壁背面の		incompani	_		3						10	5						7		\dashv
\vdash	11		1/A2216- 目/程度				小							/						大		\dashv
	1	クラック帳							八 機能			~20 m						以上				\neg
							クリートラ	系擁壁	の場合	2 mm			練壁0	D場合	2mm~	-5 mm	(コンク	ツート系	系解壁 の	り場合	5 mm以	.E)
l l	9	水平移動			未満)。		間変	かがま	5.X.		未満 5 mm/		未満の	/原铝(まんかん	ふス	50 mm	nD/ Fo	の隙間	連続かけ	ぶねス	\dashv
l		縮目地前後	のずれ)		O many	nira • > ra	MHOUSEL		, 00		0	00 111	O I MINE TO	raunu.	× 1111	0,0	00 32		> PARTIEUR	SCHLIN	0,0	
		不同沈下・						下のす	れ又は	目地			皿未満			のず			の目地			
0	目	地上下・左右	古の開き)	の開き	きがある	5.				れ又	は目地	の開き	きがある	5.			の開き が有る	きがあり)、滑雪	办、 転任	りのお
程	4	ハラミ			小規模	きのハー	ラミ及で	八中村	计積	が 1	宅地	地盤に	テンショ	ンクタッ	ク無し		_		こテンシ	ョンクラ・	ック有り	-
		ンションクラック		中抜け)		抜け落							のおそ				円弧	すべり)のおる	とれ有	ŋ	
大	5	傾斜・倒壊							値以 1				地盤						質・倒り		その機	鯱を
•					ンクリー		壁の場	台:天	端 50 m	1天満		リート系 の傾斜	練壁の)場台	: 大端	50 mm	失っ	ている	5もの。			
中	6	擁壁の折損			17.1,241		こわずた	いに角	度をな	にて	_		。 に明ら	かに	角度を	なし	一見	してナ	大である	5と判	るもの	。(コン
小				ら起きるも	いる。								け石か						壁の場			
の		。はらんでい ックを境に鈍					魔壁の! 質して!		ラックを	境に			える。(を境に						5。又は 終傾し1			11時酸
概要	"	77 2 March)-11C1)14	0 (4 - 5)	4797	- корин	goci	- Jo	,		いる		C +9610	- III //	~ 1 5 1.0~		Age/J	a) y t	XMC	C V 1131	,	
説		崩壊					5上が						して滑						こしてい	ない	9	
明	8 Her		板付攤	壁の支柱の損	支柱に	2007	が入っ。	ている	o o				クリートカ	がはが	れて剣	筋が	支柱	の郵	预 壊。			
	傷 9	基礎及び基	酷地盤の	油等	大規模	ちさかた	下やクラ	ックが	生じて	いる。	元人.	ている) o									\dashv
		排水施設の	.,	ычы					がある		左に	加え抵	経壁の	ラック :	又は目	地か	水抜	孔の話	吉まり、	破損力	ぶあり、	排水
							ī、舗装	面に	クラックカ	見ら	ちの	湧水が	ある。				機能	が失れ	つれてい	る。		
l l	11	擁壁背面の	ヘルン神器は	idende will	れる。		が流出し	71.	. Z													\dashv
\vdash	11	排五日田へ	//NJE 15 -	HHKX3Z		基礎点		_	E状点					公被:	書程属	ぎの占	粉上有	5倫度	判定,	<u>٠</u>		\dashv
					Ιď	E MEN	\neg	ſŤ	C-J/C/III	7	ا ر	lak ete					-,					
		被害の	判定値				+	1		1	1	被害		-			問題無					
		造点に変状点の	最大値を	加えた点数	-		_	_		_	一小	被害	: 1	~4.5	点未	満(当面に	は防急	災上間	月題無	€し)	
*	無被	害の場合は基	礎・被害点	点の記載無し			\Box			٦.		被害	: 4.5	点~	ابر 8.5	未清	Š					
						=	-			点			(制	限付	き立	入、i	進行し	してい	いれば	『避難	崖)	
		危险	医判定				車		K	_]無	大	被害	: 8.5	点~	(危険	要、動	避難	, †	入禁	正)		
	所見	記記入者の意		緊急度	_		<u> T</u>				, , ,		(印定基準	_	る。)
		害の場合は記		拡大の見込			_ :	_		判断不	ज		()

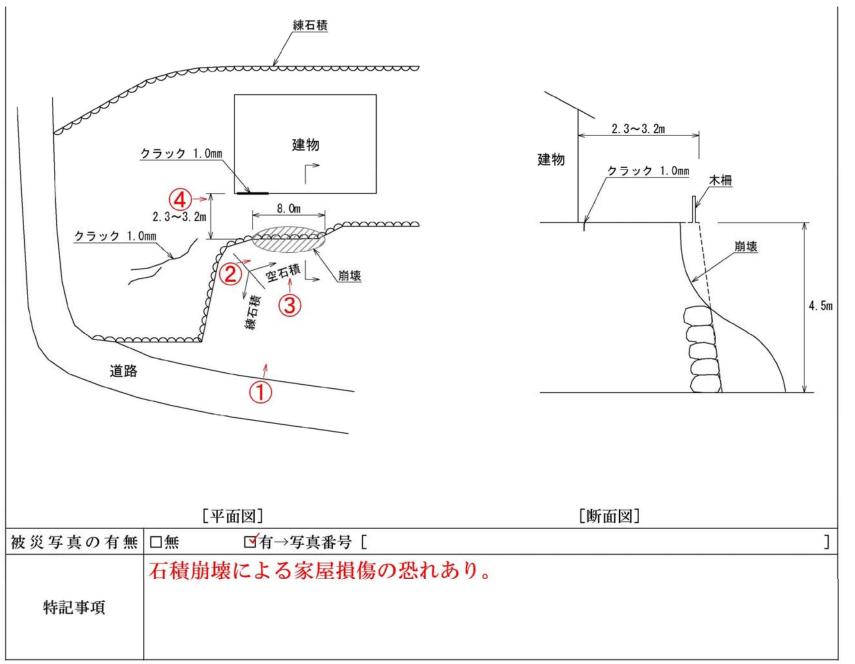
例題-7(解答)

(様式-1) 擁壁被害状況調查・危険度判定票

	≓म	→-	ਜ਼ੜ	調査日明	寺 4	车 月	E	日 時	調査番号		
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	名					
	被害発生	十 祖 武		者	邓道 府 県		ブルー	・シートて	ご 措 📗	区町村	
	依 音 光 音	上 物 別			地区	【 団地	置され	ているた	_め 🕴	号	
	所有者•管:	理者氏名				記入者氏名		TEL	•		
	所有者・管 連 絡		TEL:			居住者への 説 明		□未了 □居住者	不在 口	老人独居住宅	
与	真・図。	より~	〈被	災 状	: 況	図>		応急措置□被災無			
	1.クラック	2.水平移	多動 3-1.不	同沈下 3	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾	斜 5-2.倒	壊 6.擁壁の	折損 7. 崩	壊
	97										
	8.張出し床版付擦	壁の支柱の損	傷 9.基礎及で	び基礎地盤の	被害 10.排水	施設の変状		建物・	道路との位	置関係(基礎)	点)
					~			- 影響範囲外((B) 影響範囲	(A) 影響範囲を	7 (B)
	※簡易記録	をする場合	合は、被災	状況図は	省略するこ	とができる。		- C-	_1.7H_		
	ただし、調	査箇所が 解記		判定結果	を住宅地図	上に記載し、	被害が無い	ハことが確認。	できる全景写	写真を撮影する	5.

被災状況図は写真・図より崩壊に○をつけます。 写真から応急措置は済にチェックをつけます。 影響範囲は、擁壁上部に建物があるのでAとなります。

例題-7 (解答)



例題-7(解答)

擁壁の	अंस	□コンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他	□重力	式		□増積み擁壁		積は構造的に 孔の効果がある為、]] m
が基礎が	擁壁の種類	□練石積擦	壁	□場所打ち □間地石 □その他[□プレキ	リートブロック	1	□二段擁壁		状況で判断。]] m
基礎的条件	類	☑空石積擦	経達	□玉石積 ☑間地石	口くず	れ石積		□張出し床版付 掘壁の設置条件	쯑	□その他 □ □ 軟弱地盤上 □ セ □ ・]
2/2				□その他[]	擁壁の勾配		度 又は (1:)
							□影響	摩範囲に建物または違	餡がある	上影響範囲に建物または道路がない(B)	
			乾燥				Щ	0		0	
	1	湧水	湿潤			写真よ	1)	0.4		0.2	
			にじみ	出し、流出				0.8		0.4	基礎点計
基			水抜孔	有、天端排水溝	f、表面 水	の浸透阻止	La vi	0		0	1+2+3
礎	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表面	水が浸透	しやすい		0.4		0.2	
(定			水抜孔	無、あっても数	寸法が	不適当		0.8		0.4	1.0
点			H≦1m	L				0		0	1.0
7775			1m <e< td=""><td>I≦3m</td><td></td><td></td><td><u> </u></td><td>0.2</td><td></td><td>0.1</td><td></td></e<>	I≦3m			<u> </u>	0.2		0.1	
	3	高さ	3m <e< td=""><td>I≦4m</td><td></td><td></td><td>図より</td><td>0.4</td><td></td><td>0.2</td><td></td></e<>	I≦4m			図より	0.4		0.2	
			4m <f< td=""><td>I≦5m</td><td></td><td></td><td>Г</td><td>0.6</td><td></td><td>0.3</td><td></td></f<>	I≦5m			Г	0.6		0.3	
			5m <e< td=""><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td>0.4</td><td></td></e<>	I				0.8		0.4	

解説

基礎点は写真・図から、湧水はないので0点、天端に水が浸透しやすいので0.4点、 擁壁の高さは4.5mなので0.6点となり、合計で1.0点となります。

例題-7 (解答)

区	程度	小							ф					大 大					
分	項目 擁壁種類	コンクリ	練積	増積		張出	空積	コンクリ	練積		-	張出	空積	コンクリ	練積			張出	空積
	1 クラック	1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
状	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
形態	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
と	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
変	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
状	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷					7						9						10	
点	9 基礎及び基礎地盤の被害		500			Čino.			10 -01	10		ôio							
	10 排水施設の変状			3							5						7		
	11 擁壁背面の水道管等破裂								10										
	項目/程度	Т						_	20		þ			20	BL I		大		
	1 クラック(幅)	2 mm未満のクラックはあるが、機能上の							~20 m		V HTV	0	-		以上	Lide Disc	A HLA	=DI	1.5
		支障なし(コンクリート系擁壁の場合 2 ㎜								対雅生の	リ場合	2mm~	~o mm	(32)	ノリート弁	、擁壁0	り場合	o mm以	E)
	2 水平移動	未満)。	迷の際	祖則/亦(けがお			未満 5 mm		士港の	/B, B B C C C C C C C C	変位)カ	ジホス	50 mr	nPL Fa)隙間(亦たかみ	バホス	
	(伸縮目地前後のずれ)	5 ㎜未満の隙間(変位)がある。							90 IIII		NAME OF	交四小	67.0	90 III	III/LLV	>PSKIFI(2111/1/	Co'Co	
変	3 不同沈下・目地の開き	5 mm未満の目地上下のずれ又は目地							~50 m	m未満	の目地	の上下	うのず	50 m	m以上d	の目地の	の上下	のずオ	収は
状	(目地上下・左右の開き)	の開きがある。								の開き				50 mm以上の目地の上下のずれ又は 目地の開きがあり、滑動、転倒のお					
の														それが有る。					
程度	4 ハラミ	小規模のハラミ及び中抜け(積石が1										ク無し				テンショ			
及	(テンションクラック・ずれ・中抜け)	~2個抜け落ちる) 擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コ							円弧すべりのおそれ無し 擁壁が前面地盤に対し垂直					円弧すべりのおそれ有り					
大	5 傾斜・倒壊	辨壁が削囲地盤に対し垂直以下。(コーングリート系擁壁の場合: 天端 50 mm未満											尸	古	•	N)	H	1)	を
•		の傾斜		型の場合	台,大學	面 50 皿	11木酒		リート糸 の傾斜	擁壁 <i>0</i>	リ場合	. 大	-	六			4	')	
中	6 擁壁の折損	クラックを境にわずかに角度をなして									っかに	角度を	to1.	— 目	しても	である	くと組む	スもの	(コン
•	(横・ななめひびわれから起きるも	いる。							クラックを境に明らかに角度をなし ており、抜け石があり、裏込めコン										
小の	の。はらんでいるが曲線的でなく、		ート系	雍壁の	場合ク	ラックを	境に	クリートが見える。(コンクリート系擁壁の											
の概	クラックを境に鈍角に折れている)	(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に わずかに前傾している。)							場合クラックを境に前方に傾斜して					壊があり後傾している。)					
西	1 625 C C 100 C 10		233742	200				いる。)						25. 5. 62.01					
要説	7 崩壊	中間辺				111111111111111111111111111111111111111		は礎部を残して滑っている。						機能を果たしていない。					
明	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損	支柱に	こひびた	が入って	ている	0		支柱のコンケリーがはがれて鉄筋が						支柱の剪断破壊。					
6370	傷	1 10014	6 b b l				-	見えている。											
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模								1.114									
	10 排水施設の変状		水溝					220000000000000000000000000000000000000				又は目	地か	10.100		まり、		いあり、	排水
		は、天れる。	州门田	1、 前接	EHIVC/	フックね	*兄り	50)	男水刀	ある。				核変形色	か大石	かれてい	·つ。		
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂し	て水が	が流出	してい	3 .													
	11 排出日間2月以日日日1月		基礎点			状点	1 1				公被	害程用	ぎの点	数と信	分阶度	判定。	<u>ب</u>		
				Ť ĺ	Г		٦	-	lada eta							1 1/2			
	被害の判定値		1.0	+	-	9.0	1	無	被害	•	0)	点(防	災上	可題?	無し)				
3	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数	_		_	_		_	小被害:1~4.5点未満(当面は防災上問題無し)											
100	無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	中被害: 4.5 点~8.5 点未満																	
		= 10.0 点 (制限付き立入、進行していれば避難)																	
		(IN INCIDENCE AND THE																	
	危険度判定	☑大		一		\ T	〕無	大	被害	: 8.5	点~	(危险	文、要	避難	、立	入禁	正)		
	所見(記入者の意見) 緊急度									(人位	加・台	産・交	通の3	点を半	定基準	進とす	る。)
	無被害の場合は記載無し拡大の見込	☑有					判断不	न		(備				, = 1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, _ ,	20)
	※無数合の場合は600mmで 12人への2022 ▼ 日 □ 無 □ 中間が下町 (11日本・)																		

解説

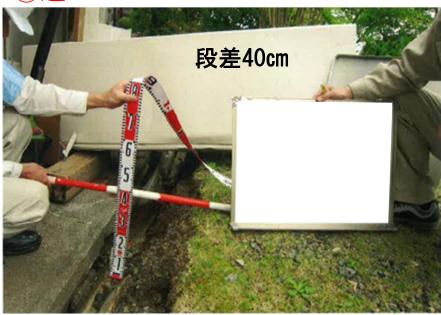
変状点は, 擁壁の基礎 部は残っているので9 点となります。 したがって, 基礎点と 1.0点, 変状点9.0点との 大被害と大ります。 緊急度は大ります。 込み有となります。 【例題-8】 宅地地盤パターン(1)

例題-8 (現場写真)

 $\widehat{1}$



①近



(1)



①近



例題-8 (現場写真)

(2)



②近



 \bigcirc



③近



(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

	_, _	,			1 104			_ //			
調	査	票	調査日時			月	日	時	調査番号	号	
Hhid	丑	75	地震名又		害名						
皮 害 谿	生場	所	都 道	府 県			市郡			区町	村
X 11 /L		//			地区 団地	<u>tı</u>		11目		番	号
所有者•	管理者氏	名			記入者氏	:名			TEL:		
所有者 •	• 管理者	の			居住者へ	·0	□済	口未了			
車	絡	先 TEL:			説	明		□居住	者不在	口老人独	居住宅
	<	<被 災	5 状	況	図>			応急指□被災	計置 □済	口未了 易記録	
	宅	地 地	盤				のり			斜 面	
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.25%	ク 2	-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
-11-		74	1	ma James	1	-	<i></i>	J		******	H& F-C5
5.のり面係	L R護工変状	6.排水施	設の変状						-		
2 pm 1/1	and a	17, 74-76	~ ~ ~ ~	※宅地地	盤・宅地の	のりī	面で簡易:	記録をする	場合は、細	5災状況図1	は省略する
	1			ことがで			u ().4337		30 H 101 1	C)C P.Dum.	« <u>н</u> , ш
	枠内土砂流出									図上に記載	し、被害が
	(枠浮上り)			無いこと	が確認で	きる	全景写真	を撮影する	0 0		
きか フラック 10cm 安差 20cm	3 2	9.9.4 2.7.7	道路		ウック 20cm 廃差 40cm		<u>クラック</u> 道路		\	段差 40cm	建物
	1 1			(-B)							
		[平面	[図]					[断ī	面図]		
被災写真	直の有無	□無		写真番号	Γ			2-911]
政火サケ	マショ無		L 79 - 73	ナ州田ワ	L						,
寺 記	事 項										

	のり面・自然斜面の基礎的条件												
地拉	Ę.	岩	□軟岩 □	硬岩 □不明	オー	・バーハング		有					
7E 1	mr.	土 砂	□砂質土□礫	質土□粘性土□不明	排力	水施設	□無 □1	有(の)り	肩、小段排水)				
Ø	り面高		最大高	m(平均高 m) の	り面保護工	□無□相	直生土	□構造物				
(複:	合のり面は	擁壁高含)	(うち擁壁高	m) 接线	差配置	□のり面の上部 □のり面の中部						
の	り面勾配			度	1996 3	上月 (巴	□のり面の下部 □全面						
の	り長さ			m	家人	家屋の有無 上部 □有 □無 : 下部 □有							
				変 状 形	態と	配点	表						
	変形状態	態のチェッ	ック(複数可)	小			中		大				
宅	1 クラ	ラック(幅)		3 cm未満	1	3~15cm 未満又は 複数			15cm 以上又は全面	5			
地	2 陥	殳(深さ)		20 cm 未満	2	20~50 cm未	- 満	4	50 cm以上	6			
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満	10∼25 cm 未	泛満	4	25 cm以上	7				
盤	4 段差	差(段差量)		20 cm 未満	3	20~50 cm 未	- 満	5	50 cm 以上	8			
1111.	5 隆起	弘(隆起量)		20 cm未満	7	20~50 cm 未	- 満	8	50 cm以上	9			
	6 湧z	k、噴砂		□無 □有→+1点	(上の点	数に1点加	える)						
			ック(複数可)	小			中		大				
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm 未 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3			
	2 ハラ	ミ(隆起量	t)	10 cm 未満	3	10~30 cm未	€満	4	30 cm以上	5			
	3 ガリ	一浸食		クラックなどがま 因となってい現れた よる浸食階。 じめた段階。	=	のり面のまない。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	するなど いると被 るおそれ	7	洞穴状やが進産展やにてが、単のまでは、一切が変異のでは、一切が変異のですが、一切が変異のできませば、一切が変異ない。	8			
の り	4 滑落	・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上音の小崩壊。		表でような拡大る中の関連を表するのの関連を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	取られた と。放置す けるおそ の、又は	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9			
面 • 自然		面保護工 生工は除		例えば、のり枠の目に は没いで、のり枠は工に かりがいかに、からいで、 がいかで、 がいかで、 がいかいからいで、 がいないで、 はないで、 とっと はないで、 とっと とっと とっと とっと とっと とっと とっと とっと とっと とっ	7	例えば、の 別ない の の の の の の の の の の の の の	l。又はコ ト吹付工 ク部分で	8	例えば、のり枠の浮上りは、のり枠の浮上りは壊。又付エンクリー金網が露出し、コンクスを表している。 はいか 見受けられる。	9			
斜面	6 排水	施設の変	状	天端排水溝にずれ 欠損がある。又は 天端背面、舗装面に クラックが見らま	3	左に加え、 クラック、 からの湧水	又は目地	5	排水溝が破断沈下 するなど、排水機能 が失われている。	7			
	7 のり	面内の水道	管等の破裂	破裂して水が流出	している	5 .				8			
	8 湧水	、落石・	転石	□無 □有→+1点	(上の点	数に1点加ス	える)						
			値を加えた点数 披害点の記載無し										
				_		大被害:	8~10点(危険、	要避難、立入禁止)				
		者の意見	緊 急 度										
	※無骸香の場	合は記載無し	拡大の見込	口有 口無	□判断	不可 (備考	:)			

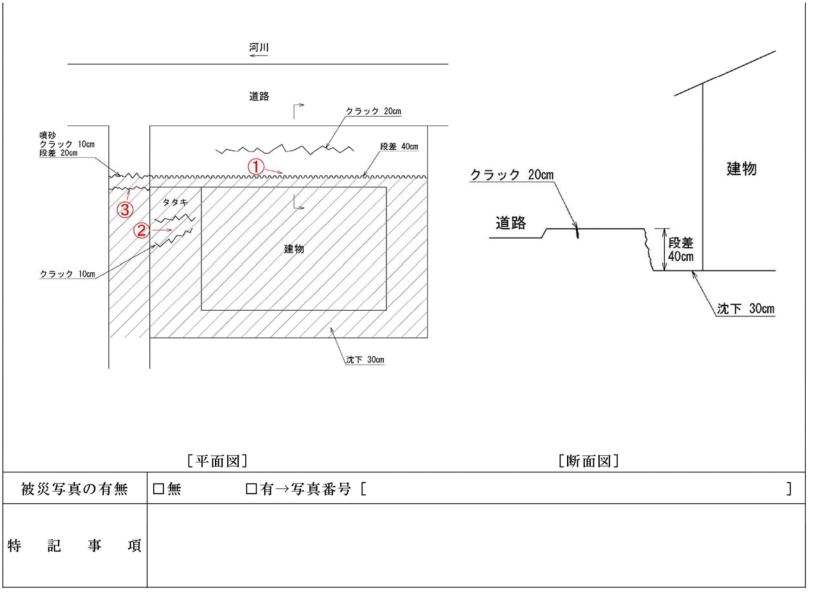
例題-8(解答)

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

⊐ III		ਜ਼ੜ	調査日時	4	年	月	日	時	調査番号	1.	
調	査	票	地震名又	は降雨災領	害名						
₩ 4 ₹	& 上 担 :	eic	都 道	府 県			市 郡			区 町	村
被害多	色 生 場)	所			地区	団地		丁目		番	号
所有者•	管理者氏	名			記入	者氏名			TEL:		
所有者	• 管理者	の			居住	者への	□済	口未了			
連	絡	先 TEL:			説	明		口居住	者不在	口老人独	居住宅
写真・	図より	被炎	火	況	図)	>		応急措 □被災		□未了 易記録	
	宅	地地	盤				のり	面 •	自然	計 面	
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.	クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
~11~				The state of the s				\mathcal{J}		表現すべり	円 数す べり
5.のり面化	R護工変状	6.排水施言	没の変状								
	枠内土砂流出 (枠浮上り)			ことがで ただし	きる 、調	。 査箇所が	が分かるよ	記録をする。 う判定結果 を撮影する	を住宅地図		3 10 122 5

解説 被災状況図は写真・図から、クラック・沈下・段差に○をつけます。

例題-8 (解答)



解説 宅地地盤は, 道路側に**20cm** のクラック, 建物周辺に段 差**40cm**, 沈下 **30cm**を生じて います。

例題-8 (解答)

	のり面・自然斜面の基礎的条件													
地拉	紗	岩	□軟岩□□	硬岩 □不明		オー	バーハング	□無□□	有					
1 PEG	in.	土 砂	□砂質土□礫	質土口粘性土口	不明	排力	水施設	□無 □有(のり肩、小段排水)						
0	り面高		最大高	m(平均高	m)	0)面保護工	□無 □植生土 □構造物						
(複合	合のり面に	は擁壁高含)	(うち擁壁高		$\mathbf{m})$	☆	壁配置	□のり面の上部 □のり面の中部						
の	り面勾置	7		度			光化	□のり面の下部 □全面						
の	り長さ			m		家屋	屋の有無	上部 口7	上部 □有 □無 : 下部 □有 □無					
				変 状	形 態	ح	配点	表		写真・図より				
	変形状態のチェック(複数可)			1.	J /			中		大				
宅	1 2	ラック(幅)		3 cm未満		1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5			
地	2 肾	百没(深さ)		20 cm未満		2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6			
地	3 7	2下(沈下量)		10 cm未満		2	10~25 cm未	満	4	25 cm以上	7			
盤	4 段	送(段差量)		20 cm未満		3	20~50 cm未	満	5	50 cm以上	8			
11112	5 隆	起(隆起量)		20 cm未満		7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9			
	6 湧	永、噴砂		□無 ば有→	+ 1 点(上	の点数	故に1点加え	る) 図。	より とり					

解説

宅地地盤の変状は写真・図より、クラックの最大が20cmなので5点、最大沈下量が30cmなので7点、最大段差量が40cmなので5点となります。図から噴砂があるので有にチェックをつけます。

例題-8 (解答)

	変形状態のチェック(複数可)	小	中	大					
	1 クラック(幅)	3 cm未満又は単数 1	3~15 cm未満又は複 数	15 cm以上又は全面	3				
	2 ハラミ(隆起量)	10 cm未満 3	10~30 cm未満 4	30 cm以上	5				
	3 ガリー浸食	クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 6 段階。	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 7 がるおそれのあるも の。	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8				
の り	4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。 7	表層すべりが進んで えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのあ るもの、又はのり面 中部までの崩壊。	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9				
面・自	5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はコン クリート吹付工にわ ずかにテンションク ラックが見られるが 吹付工のずれは認め られない程度。	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥8 2、ずれが見受けられる。	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリートで誘出し、コンクリートの対し、コンクリートの対し、はしいが見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見が見	9				
然斜一	6 排水施設の変状		3番沈下 7点+6	番噴砂 1点					
面	7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出している			8				
	8 湧水、落石・転石	□無 □有→+1 点(上の点数	数に 1点加える)						
	被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	参被害程度の点数と危険度判定☆ 点 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害:1~3点(当面は防災上問題無し)							
	危険度判定								
	所見記入者の意見 緊急度								
	※無被害の場合は記蔵無し 拡大の見込	☑有 □無 □判断不可 (備考:							

解宅値最量のえなな緊大な脱地は大の点118次のまましまのするのでは、118次のはいりまでは、118次のはいまでは、118次のでは、118次

【例題-9】 宅地地盤パターン(2)

例題-9 (現場写真)





例題-9 (現場写真)







(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

				-								
≠mt				चार्व	調査日時		年 月	日	時	調査番号	}	
調		査		票	地震名又	は降雨災	害名					
支 害	Z\$ /-	40.	ᇔ		都 道	府 県		市 郡			区 町	村
(F)	光 王	-200	/21				地区 団地		11目		番	号
有者	• 管理	者 氏	名				記入者氏名			TEL:		
千 有 者 建	· 管: 絡	理 者		TEL:			居住者への 説 明		□未了 □居住	者不在	□老人独	居住宅
			/ 4	rte <<	き 状	э л	図>	•	応急措	計置 □済	口未了	
			< 初	文 3	5 状	況	凶 /		口被災	無 口簡	易記録	
		宅	_		盤			のり			斜面	
1.クラック	2.肾	百没	3	.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
-11-	<u></u>	\	->	1	1	me James			\int		**************************************	円載すべり
.のり面	保護工	変状	6.	排水施	設の変状							
	种约士顿 (种将:		9	3		ことがで ただし	盤・宅地の! きる。 、調査箇所だ が確認でき	が分かるよ	う判定結果	を住宅地図		
_{貪砂}	噴形	A'-		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		B'= 7		<u>噴砂</u>		建物 A-A' 断面 クラック 噴む	☑ 3. 0cm	噴砂 木
		A <	_		連路 (3 B-		J	沈下8cm			ļ.
										B-B'断面	図	
				[平面	図]				[断]	面図]		
被災写	真の有	無		ÍM.	□有→	写真番号	[]
詳 記	事	項										

	のり面・自然斜面の基礎的条件											
地類	竖	岩	□軟岩□₹	更岩 □不明		・バーハング	□無□有	Î				
		土 砂	□砂質土□礫⅓	質土□粘性土□不明	1,77.5	水施設	□無□有	(のり)	肩、小段排水)			
	の面高		最大高	m(平均高 m)	01	り面保護工	□無□植生土□構造物					
_	合のり面は折	(壁高含)	(うち擁壁高	m)	- 擁⊈	壁配置	□のり面の上部 □のり面の中部					
	り面勾配			度			□のり面の下部 □全面					
0) i	り長さ			m	_	屋の有無	上部 □有 □無 : 下部 □有 □無					
_				変 状 形 態	£ &	配点	表					
	変形状態	泉のチェッ	ク(複数可)	小		2 45 4	中		大			
宅	1 クラ	ラック(幅)		3 cm未満	1	3~15cm 未満又は 複数 3			15cm 以上又は全面 5			
地	2 陥沒	と(深さ)		20 cm未満	2	20~50 cm未		4	50 cm以上	6		
地	3 沈7	下(沈下量)		10 cm未満	2	10~25 cm未	ミ満	4	25 cm以上	7		
盤	4 段差	的(段差量)		20 cm未満	3	20~50 cm未	泛満	5	50 cm以上	8		
	5 隆声	己(隆起量)		20 cm未満	7	20~50 cm未	き満	8	50 cm以上	9		
	6 湧オ	k、噴砂		□無 □有→+1点(上	の点数	数に1点加え	る)					
	変形状態	泉のチェッ	ク(複数可)	小		中			大			
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3		
	2 ハラ	ミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未	満	4	30 cm以上	5		
	3 ガリ	一浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表 に陥りると しておそれ がるおそれ	など放置 被害が広 のあるも	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8		
のり	4 滑落	・崩壊		部分的な表層すべ り、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表えな状大もある。おいのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	れたよう で置すると それのあ はのり面	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9		
面 • 自		面保護工の 生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はコン クリート・アンション がにテンションの で付工のずれ。 で付工の程度。	7	例えば、の が かり リック ラップ かい	り ゆ ゆ か の の の の の の の の の の の の の	8	例えば、のり枠の浮 上り破壊。又はコン クリート吹付エのラ ス金網が露出し、コ ンクリート吹付面に も破損が見受けられ る。	9		
然 糾 面	6 排水	施設の変物	K	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、 クラック、 からの湧水	又は目地	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7		
	7 oni	面内の水道管	音等の破裂	破裂して水が流出して	いる	0				8		
	8 湧水	、落石・転	云石	□無 □有→+1 点(上	の点数	女に1点加え	る)					
			を加えた点数 数害点の記載無し	 ☆被害程度の点数と危険度判定☆ 点無被害: 0 点(防災上間履無し) 小被害: 1~3点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7点(制限付き立入。進行していれば避難) 								
	240/20	de materia	取	口大 口中 口	,ls				要避難、立入禁止)	,		
		く者の意見 給は記載無し	緊 急 度 拡大の見込		小 判断不			通の	3 点を判断基準とする。)		

例題-9(解答)

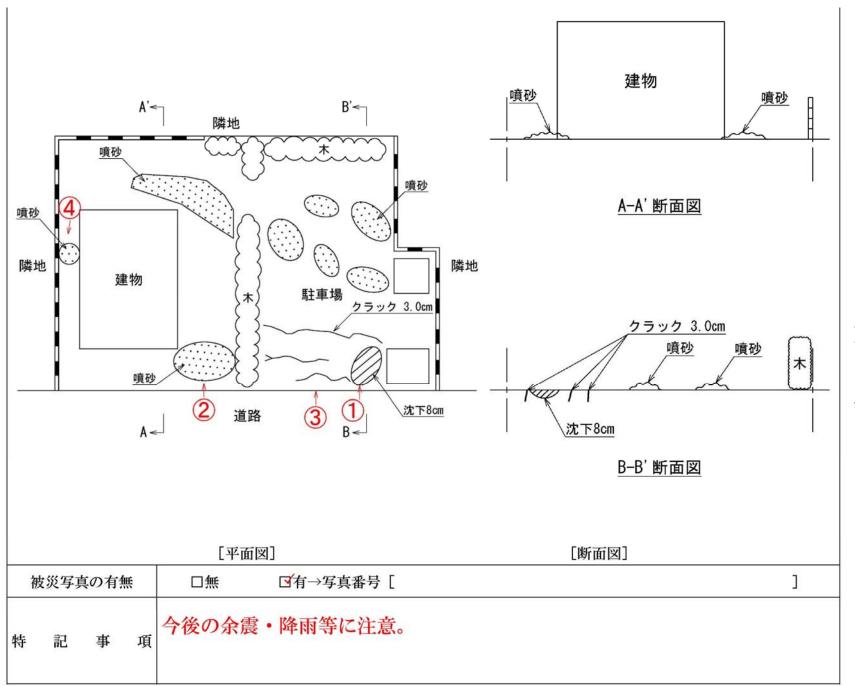
(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

=m+	-		चाई	調査日時		年	月	日	時	調査番号	± 7	
調	査		票	地震名又	は降雨災	害名						
₩ ₩ ₩ ₹	2	ar:		都 道	府 県			市 郡			区 町	村
被害発	生場	所				地区	団地		丁目		番	号
所有者•	管理者氏	名				記入	者氏名			TEL:		
所 有 者 連	· 管理者 絡		TEL:			居住説	:者への 明	口済	□未了 □居住	者不在	□老人独	居住宅
写真・[図より	く初	支 災	火	況	図)	>		応急措□被災		口未了 易記録	
	宅	地	地	盤				のり	面 •	自然	首 首	
1.クラック	2.陥没	3.	沈下	4.段差	5.隆起	1.	クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
~~~~~					The same				$\int$		表現すべり	H <b>A</b> † ~ b
5.のり面係	<b>R護工変状</b>	6.	非水施	設の変状			•		,			***
	枠内土砂流出 (枠浮上り)	4			ことがで ただし	きる 、調	。 査箇所カ	ぶ分かるよ	記録をする う判定結果 〔を撮影する	を住宅地図		

解説

被災状況図は写真・図よりクラックと沈下に〇をつけます。

## 例題-9 (解答)



## 例題-9 (解答)

				のり面・自然	斜面の	基礎的条件				
444	4.	岩	□軟岩□□	硬岩 □不明	オー	-バーハング	□無□□	Í		
地植	<b></b>	土 砂	□砂質土□礫⅓	質土□粘性土□不明	排	水施設	□無□□	す(のり)	肩、小段排水)	
0	り面高		最大高	m(平均高 m)	の	り面保護工	□無□□□	直生土	□構造物	
(複合	合のり面は	擁壁高含)	(うち擁壁高	<b>m</b> )	-	壁配置	□のり面の	D上部	□のり面の中部	
の	り面勾配	!		度	19年3	<b>坐</b> 癿	□のり面の	)下部	□全面	
の	り長さ	一一一一一		m	家	屋の有無	上部 口有	ī 🗆 🛙	無 : 下部 □有 □無	
		写真	·図より	変 状 形 態	ا ك	配点	表			
変形状態のチェック(複数可) 小 中					大					
全   2   2   2   2   2   2   2   2   2			満又は	3	15cm 以上又は全面	5				
地	2 陥	没(深さ)		20 cm未満	2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満	2	)10~25 cm未	:満	4	25 cm以上	7
盤	4 段	差(段差量)		20 cm未満	3	20~50 cm未	満	5	50 cm以上	8
JIIL	5 隆	起(隆起量)		20 cm未満	7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9
	6 湧	水、噴砂		□無 ☑有→+1点(上	の点刻	数に1点加え	る)			

解説

地盤の変状点は、写真・図よりクラックが3cmで3点、沈下量が8cmで2点となります。

噴砂があるので有にチェックをつけます。

## 例題-9 (解答)

	変形状態のチェッ	ク(複数可)	小		中		大	
	1 クラック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5
	3 ガリー浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8
の り	4 滑落・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えぐり取りれたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのり るもの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9
面・自	5 のり面保護工の (植生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥没。付エに クリートンション が見いに が見られるが で付工のずれは いれない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリート吹倒し、の ス金網が露出し、コンクリート露出で付工の ス金網が見し、面に も破損が見受けられる。	9
然斜面	6 排水施設の変状	<del>`</del>	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7
IIII	7 のり面内の水道管	き 等の破裂	破裂して水が流出して	いる。				8
	8 湧水、落石・軌	石	□無 □有→+1 点(上の	の点数	なに1点加える)	0 6	20° 0 0 0 0 0	
	被害の判5 ※基礎点に変状点の最大値 ※無被害の場合は基礎・被	直を加えた点数	4	点		方災上	数と危険度判定☆ 問題無し) :防災上問題無し)	
	危険度半	定	口大 区中 口小	□無	山地宝 1~7点件	间限付	き立入。進行していれば過	(難)
	所見記入者の意見	緊 急 度	口大 口中 🗹	小	(人命・財産・交	通の	3点を判断基準とする。	)
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	□有 ☑無 □	判断不	「可(備考:			)

解判のラ噴えなな緊大な説値大クの61十4はでの1十十まと見まがあったりり急のりまがあります。小みはいからはからに加ととはいか。

【例題-10】 自然斜面パターン(1)

# 例題-10 (現場写真)

(1)



①近



2



2



## 例題-10

#### (様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

==1	m →	<u> </u>	चार	調査日時	4	年 月	日	時	調査番号		
	問 星	ì.	票	地震名又	は降雨災	<b>善</b>					
nt els	攻 4-	Ht 7	ac .	都 道	府 県		市 郡			区町	村
汉 音	発 生	***** I	71			地区 団地		1.目		番	号
折有者	音・管理者	<b>皆氏</b> :	名			記入者氏名			TEL:		
	者・管理					居住者への	口済	口未了			
連	絡		先 TEL:			説明		□居住	者不在	□老人独	居住宅
		<	被災	٤ 状	況	図>		応急措		口未了	
							- '	口被災			
1 4=.	. h 0 Ph	宅		盤	5 PA +1	1 4=4	0 1		自然系		4 0 144 144
1.クラッ	ック 2.陥	22	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.//75	2-2.盤ぶくれ	3.77 9 一 及 良	4-1.滑落	4-2.崩壊
<del>-</del> 17		<del> </del>	717	the second	me In					****	円盤すべり
5.のり	面保護工変	5状	6.排水施	設の変状				'			
	18					盤・宅地のり	面で簡易	記録をする	場合は、被	災状況図に	は省略する
	LI .				ことがで		21.2 1	2 May 45 45 mg	ale. Die elle tel. erro	[. be ⇒ de :	Aula elle 3°
	枠内土砂湖 (枠浮上)					、調査箇所が が確認できる。				上に記載	し、被害が
	(FFF.E.!	′′				upraes C C .	- 1. M 7 %	mcm/ 7 'a			
	1		ハラミ 建物		_	5. Om		$\theta =$	60度	ハラミ20 2.5m	建物
_			道 ————	路							
			[平面	図]				[断]	面図]		
被災	写真の有無	##	□無	□有→	写真番号	[					]
特 ;	記事	項									

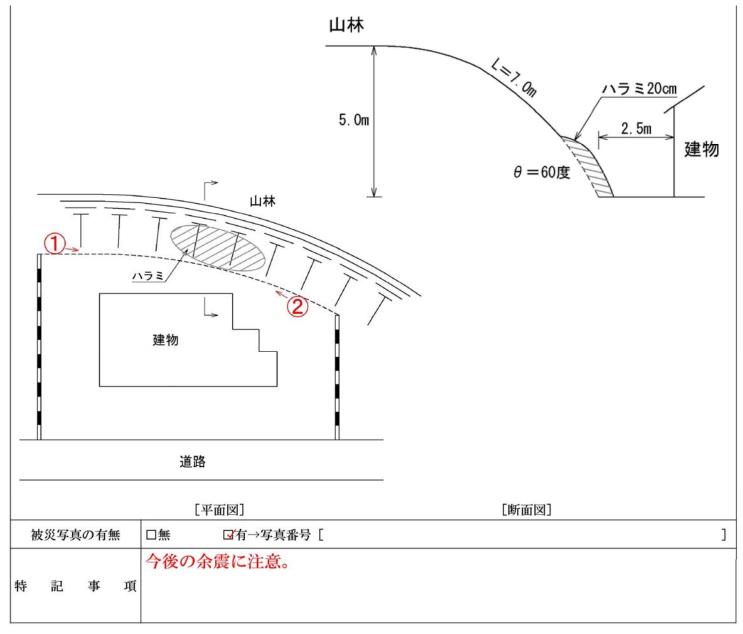
## 例題-10

			のり	面・自然		基礎的条件				
地	岩	□軟岩 □	硬岩 □	不明	オー	バーハング	□無 □?	有		
FIE (	土砂	□砂質土□礫	質土□粘性	上口不明	排刀	水施設	□無 □7	有(のり	)肩、小段排水)	
の	り面高	最大高	m(平均高	<b>m</b> )	のり	の面保護工	□無 □#	<b> 恒生土</b>	□構造物	
(複	合のり面は擁壁高舎)	(うち擁壁高		m)	- 排料	<b>達配置</b>	□のり面の	の上部	□のり面の中部	
	り面勾配		度				□のり面の	の下部	□全面	
の	り長さ		m		家原	屋の有無	上部 口	有 🗆	無 : 下部 □有 □	無
			変物	犬 形 態	£ 5	配点	表			
	変形状態のチェッ	ク(複数可)		小			中		大	
宅	1 クラック(幅)		3 cm 未満		1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5
地	2 陥没(深さ)		20 cm 未満		2	20~50 cm 未	に満	4	50 cm以上	6
地	3 沈下(沈下量)		10 cm 未満		2	10~25 cm オ	- 満	4	25 cm 以上	7
盤	4 段差(段差量)		20 cm未満		3	20~50 cm オ	<b>ミ満</b>	5	50 cm以上	8
m	5 隆起(隆起量)		20 cm 未満		7	20~50 cm オ	- 満	8	50 cm以上	9
	6 湧水、噴砂		口無 口名	月→+1 点(.	上の点	数に1点加	える)			
	変形状態のチェッ	ク(複数可)		小			中		大	
	1 クラック(幅)		3 cm未満又	は単数	1	3~15 cm 未 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm 未満		3	10~30 cm 未	<b>ミ満</b>	4	30 cm以上	5
	3 ガリー浸食		クラック 因とる える と めた 段 り	て雨滴に が現れは	6	のり面のでなった。	するなど いると被 るおそれ	7	洞穴状にて が進塵のです を必ずなな を必ずなな を必ずなな をないます をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 をないます。 とるないます。 とるな。 とると。 とると。 とると。 とると。 とると。 とると。 とると	8
の り	4 滑落・崩壊		部分的なり、又はの の小崩壊。	り面上部	7	表でよるれの崩壊ではある中でながある中ではある中ではある。	なられた と。放置される なるおとは の、又は	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9
面 • 自然	5 のり面保護工の (植生工は除く		例詰クわンれれ程ので、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、	又はコンにコンにコンドラウエック イエの	7	例えば、の 規 分 的 り り り う り う う う う う う う う う う う う う う	し。又はコ ト吹付工 ク部分で	8	例えば、のり枠の浮上りは、のり枠の浮上りは壊。又付エのクリーを網が露出し、コンクリーを表している。 はいか 見受けられる。	9
斜面	6 排水施設の変制	*	天端排がある。	る。又は、	3	左に加え、クラック、からの湧水	又は目地	5	排水溝が破断沈下 するなど、排水機能 が失われている。	7
	7 のり面内の水道や	管等の破裂	破裂してス	水が流出し	ている	5 .				8
	8 湧水、落石・転	云石	口無 口名	月→+1 点(」	上の点	数に1点加:	える)			
	被害の判定 《基礎点に変状点の最大値 無被害の場合は基礎・被	直を加えた点数			点	無被害:	0 点()	防災」 当面に	数と危険度判定☆ 上問題無し) よ防災上問題無し)	E VAN ARE.
	危険度判	定	ロ大ロ	申 □小	□無	•			き立入。進行していれる <b>要避難、立入禁止)</b>	避難
	所見記入者の意見	緊 急 度	口大	□中 □	□小	(人命	・財産・交	通の	3点を判断基準とする	。)
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	口有	□無 □	]判断	不可 (備考	:			)

#### (様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

≠ा	-1-	ਜ਼ੜ	調査日時	2	年	月	日	時	調査番号	+	
調	査	票	地震名又	は降雨災害	<b>手名</b>						
₩ ₩ ₩ <b>∀</b>	ę њ. <b>н</b>	ar.	都 道	府 県			市郡			区町	村
被害発	<b>生</b> 場	所 ———			地区	団地		丁目		番	号
所有者•	管理者氏	名			記入	者氏名			TEL:		
所 有 者 連	• 管理者 絡	の 先 TEL:			居住 清 説	者への 明	口済	口未了 口居住	者不在	□老人独	居住宅
写真・	図より	被災	٤ 状	況	図>	>		応急措 □被災		☑未了 引記録	
	宅	地地	盤				o v	面•	自然。	斗 面	
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.7	ラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
				To The state of th	· /	No.		$\mathcal{J}$		表現すべり	円数すべり
5.のり面色	尿護工変状	6.排水施	設の変状								
	枠内土砂流出 (枠浮上り)			ことがで ただし	きる。 、調査	箇所が	分かるよ	記録をする う判定結果 [を撮影する	を住宅地図		

解説 被災状況図は写真・図よりのり面・自然斜面のハラミに○をつけます。



解説 自然斜面には、建物近くに**20cm**のハラミを生じています。

				のり	面·自然和	計面の	基礎的条件						
地盤	4	岩	□軟岩 □	〕硬岩 □不	明	オー	・バーハング	☑無□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	有				
地強	•	土 砂	□砂質土□礫	<b>賃土□粘性土</b>	:不明	排力	水施設	☑無 □	有(のり	) 肩、小段排水)			
のり	面高		最大高	m(平均高	5 m)	の	の面保護工	口無 🗹	植生土	□構造物			
(複合	のり面は	擁壁高含)	(うち擁壁高		m)	₩ E	達配置	□のり面の	の上部	□のり面の中部			
のり	面勾配			60 度		19年 3	<b>光印</b> 但	口のり面の	の下部	□全面			
のり	長さ			7 m		家具	屋の有無	上部 口	上部 □有 ☑無 : 下部 ☑有 □無				
	変形状態のチェック(複数可			変 状	形 態	بح	配点	表					
変形状態のチェック(複数可) 小								中		大			
宅	1 クラ	ラック(幅)		3 cm未満		1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5		
地	2 陥?	役(深さ)		20 cm未満		2	20∼50 cm ≯	ミ満	4	50 cm以上	6		
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満		2	10~25 cm 未	ミ満	4	25 cm以上	7		
	4 段差	差(段差量)		20 cm未満		3	20 ~ 50 cm ≯	<b>ミ満</b>	5	50 cm以上	8		
	5 隆起(隆起量)			20 cm 未満			20 ~ 50 cm ≯	ミ満	8	50 cm以上	9		
	6 湧	水、噴砂		☑無 □有	`→+1点(_	点(上の点数に 1 点加える)							

解説

のり面高さは5.0m, のり長は7.0mになります。

	<u> </u>		_				
	変形状態のチェック(複数可)	小		中		*	
	1 クラック(幅)		1	3~15 cm未満又は複 数	2	写真より	3
	2 ハラミ(隆起量)	10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5
	3 ガリー浸食	段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や滝壺状にガリーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8
の り	4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、又はのり面上部の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのり面 もの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9
面・自	5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はコン クリート吹付工にわ ずかにテンションク ラックが見られるが 吹付工のずれは認め られない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はエの とリート吹付工のラス金網が露出し、 ンクリートで を吹付し、 で が の で は で り に の り に の り に の り に の に り に の に り に り	9
然斜面	6 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7
IMI	7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出してい	る。				8
	8 湧水、落石・転石	☑無 □有→+1 点(上の点	点数	に 1 点加える)			
	被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無	4	点		災上問	i数と危険度判定☆ 引題無し) 5災上問題無し)	
	危険度判定	口大 「中 口小 口	無		限付き	立入。進行していれば避難	:)
	所見記入者の意見 緊急 馬	口大 四中 口小		(人命・財産・交	通の	3点を判断基準とする。	)
	※無被害の場合は記機無し 拡大の見込	. □有 □無 □判と	断不	可 (備考:			)

解説 変状点は写真よ り, ハラミが20 cmなので**4**点,湧 水・落石は無い ので無にチェッ クをつけます。 したがって、判 定値は4点とな り、中被害とな ります。 緊急度は中です が、拡大の見込 みは大となりま す。

【例題-11】 自然斜面パターン(2)

# 例題-11 (現場写真)

 $\widehat{1}$ 



②近



 $\widehat{(2)}$ 



(3



# 例題-11 (現場写真)

 $\overline{4}$ 



4近



## 例題-11

#### (様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

(様式 -	- 2) 宅	地:	地盤/	′のり面・	自然象	斗面被害?	状況調	査・危険	度判定	票	
≅III	*		सर्व	調査日時		年 月	日	時	調査番号		
調	査		票	地震名又	は降雨災	害名					
被害発	生場	所		都 道			市郡			区町	
						地区団地	1	丁目	mny .	番	号
所有者· 所有者						記入者氏名居住者への	n are	ロキマ	TEL:		
連	絡		TEL:			説 明	山府	口未了 口居住	者不在	□老人独	居住宅
		< 7	被災	泛 状	況	図>		応急措 □被災		口未了 記録	
	í	包力	地 地	盤			のり	面 •	自然能	面	
1.クラック	2.陥没		3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
<del>-11-</del>		-		The second	me Tom			$\mathcal{J}$		****	H#4~b
5.のり面係	· R護工変制	6.	排水施	設の変状							
-5	枠内土砂瓶出 (枠浮上り)	4			ことがで ただし	盤・宅地のり きる。 、調査箇所か が確認できる	ぶ分かるよ	う判定結果	を住宅地図		
2:	ラック 20cm		4		前壊	駐車 	場	75.97	15~20cm 崩壊		8. Om
i	建物			駐車			יי				
	/	/		道 	各		建物				
			[平面	図]				[断面	[図]		
被災写真	医の有無		無		写真番号	Γ		£1-71 III			]
特記	4 1	†			• <del>У</del> Ш А	•					

## 例題-11

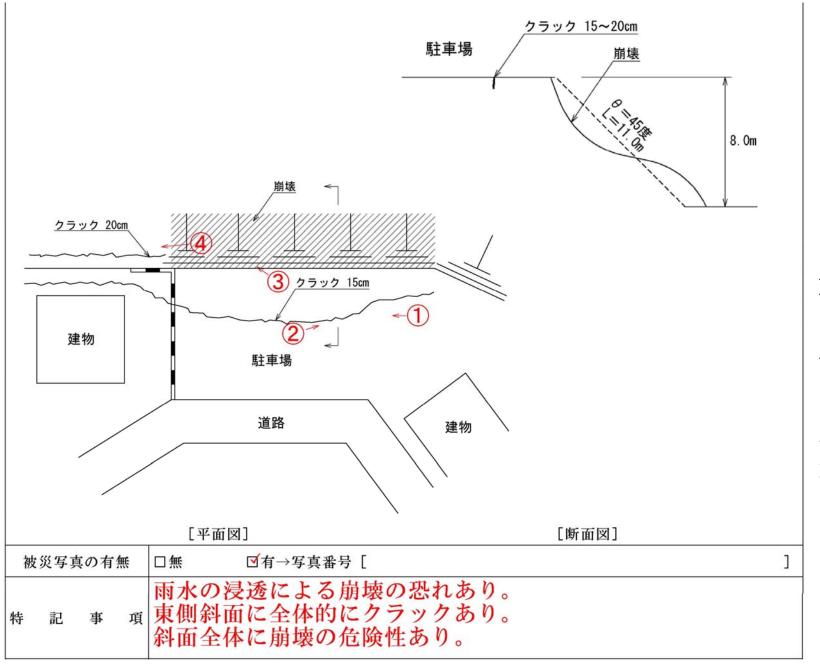
				の	り面・自	然翁	面の	基礎的条件				
地	W.	岩	□軟岩 □	硬岩 🗆	不明		オー	バーハング	□無 □1	有		
- E 1	mr.	土 砂	□砂質土□礫	質土□粘性	土口不明		排力	k施設	□無 □1	有(のり	肩、小段排水)	
の	り面高		最大高	m(平均高	1	m)	のり	)面保護工	□無□□	直生土	□構造物	
(複	合のり面は	辦壁高含)	(うち擁壁高		1	m)	排品	<b>善</b>	□のり面の	の上部	□のり面の中部	
の	り面勾配			度			1996 🖺	E BIC (IE.	□のり面の	の下部	□全面	
の	り長さ			m			家屋	10有無	上部 口	有 🗆	無 : 下部 □有 □	]無
				変 丬	犬 形	態	٤	配点	表			
	変形状態	態のチェッ	, ク(複数可)		小				中		大	
宅	1 クラ	ラック(幅)		3 cm未満			1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5
地	2 陥	殳(深さ)		20 cm未満			2	20~50 cm未	<b>:</b> 満	4	50 cm以上	6
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満			2	$10\sim25$ cm 未	満	4	25 cm以上	7
盤	4 段記	差(段差量)		20 cm 未満		$\perp$	3	20~50 cm 未	<b>冷満</b>	5	50 cm以上	8
	5 隆起	足(隆起量)		20 cm 未満			7	20~50 cm未	き満	8	50 cm以上	9
	6 湧2	k、噴砂		口無 口	有→+1	点(上	の点	数に1点加	える)			
	変形状態	態のチェッ	, ク(複数可)		小				中		大	
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満了	スは単数		1	3~15 cm 未2 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラ	ミ(隆起量	;)	10 cm未満			3	10~30 cm未	満	4	30 cm以上	5
	3 ガリ	一浸食		クラック 因と 浸 え い み た 段	て雨滴 が現れ	E	6	のり面のでする。 製造のできます。 ののできます。 ののできます。 ののできます。 ののできます。	するなど いると被 るおそれ	7	洞穴状やが蓮亜状にて が進歴やにする 事のです を を は き を は き を を な を な を な る の り る り る り る る る る る る る る る る る る る	8
のり面	4 滑落	・崩壊		部分的なり、又はの の小崩壊。	り面上		7	表でよるれの崩壊ったも音	文られた よる数 おる で、又は	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、 又はのり面底部を含む全崩壊。	9
• 自然		面保護工 生工は除		例詰クわンれれ程度は陥ーかラが認。の没トにッ吹め	、 又はコエン がエンがエの けいがエの	ンにョらず	7	例えば、の 分的な破損 ンクリラック のクラッケ 陥没・ずれ られる。	。又はコ ト吹付工 ク部分で	8	例えば、のり枠の浮 上り破壊。又付エの クリー金網が露出し、 ラス金のである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	9
斜面	6 排水	施設の変	状	天端排水 大損があ 天端・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション 大場・ション フラー スター スター スター スター スター スター スター スター スター スタ	る。又は、舗装面	は、に	3	左に加え、( クラック、) からの湧水	又は目地	5	排水溝が破断沈下 するなど、排水機能 が失われている。	7
	7 のり	面内の水道	管等の破裂	破裂して	水が流出	まして	いる	· .				8
	8 湧水	、落石 •	転石	□無 □	有→+1 д	点(上	の点	数に1点加え	える)			
			値を加えた点数 波害点の記載無し		ф г	<u></u>	点	無被害:	0 点(E 1~3点(	防災上 当面は	数と危険度判定☆ :問題無し) は防災上問題無し) き立入。進行していれば	(遊難)
		/山火/文书	1/6					大被害:			要避難、立入禁止)	
		者の意見) 合は記載無し	緊 急 度 拡大の見込	口力	□中		小 判断	45	7147	通の	3点を判断基準とする	. )
			ねんり元心		_ <i>m</i>		1.3 (9)	1 (ANII 4.2)	•			1

#### (様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

	はこれ	-4	<del></del>	<del>ਜ਼ਵ</del> ੀ	調査日時	:	年	月	日	時	調査番号		
	調	垄	È.	票	地震名又	は降雨災部	害名						
	被害	発 生	場所		都 道	府 県			市 郡			区町	村
	竹 音	<b>光</b> 生	場別				地区	団地		工目		番	号
	所有者	・管理者	<b>当氏名</b>				記入	者氏名			TEL:		
	所 有 者 連	・ 管 理 絡	!者 の 先	TEL:			居住:	者への 明	□済	□未了 □居住	者不在	□老人独.	居住宅
写	真・図	より	< i	按 災	とり、大	況	図>	>		応急措 □被災		□未了 }記録	
J =			宅力	也 地 :	盤				のり	面・	自然叙	重	
	1 <b>.</b> クラック	2.陥	安 :	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.2	クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
	$\left(\frac{1}{2}\right)$					man frame				$\int$		表層すべり	\$1~5
	5.のり面	「保護工変	* 後 6.	排水施設	設の変状								
	- <b>J</b> O ⁶	枠内土砂瓶 (枠浮上)				ことがで ただし	きる。 、調査	。 監箇所カ	<b>が分かるよ</b>	記録をする う判定結果 を撮影する	を住宅地図		

#### 解説

被災状況図は写真・図より宅地地盤のクラックと,のり面・自然斜面の崩壊に ○をつけます。



解説のはまることでは、おいまでは、おいまでは、いいのにっていまがまでは、地の生がは、のにっていまがまでは、と思っにものにっている。

						のり	面·	自然組	計面の	基礎的条件	g.					
地	紗	岩	□軟岩		硬岩	口不	明		オー	・バーハング	☑無	□有				-
THE 2	in.	土 砂	☑砂質土□	□礫	質土□	粘性土	:口不	明	排ス	水施設	無	□有(の	り肩、	小段排水)		
の	り面高		最大高	8	m(平	均高	8	m)	01	の面保護工	□無	☑植生∃	Ŀ □ŧ	構造物		
(複	合のり面は	擁壁高含)	(うち擁壁	高				$\mathbf{m})$		達配置	口のり	面の上部	K	□のり面の中	部	
の	り面勾配				45	度			19年 生	<b>光 印 但</b>	□のり	面の下部	<b>K</b>	□全面		
の	り長さ				11	m			家具	屋の有無	上部	有 □	]無	: 下部 □有		無
					多	を状	形	態	٤	配点	表			写真より	)	
	変形状!	態のチェッ	ク(複数可	.)			小				中			大		
宅	1 ク	ラック(幅)		,	3 cm =	<b>卡満</b>			1	3~15cm 未 複数	:満又は	3	15c	m 以上又は全	面	5
地	2 陥	没(深さ)			20 cm	未満			2	20∼50 cm≯	<b>卡満</b>	4	50 c	m以上		6
地	3 沈	下(沈下量)			10 cm	未満			2	10~25 cm <b></b>	<b>ミ満</b>	4	25 c	m以上		7
盤	4 段	差(段差量)			20 cm	未満			3	20∼50 cm≯	<b>卡満</b>	5	50 c	m以上		8
int	5 隆	起(隆起量)			20 cm	未満			7	20∼50 cm≯	き満	8	50 c	m以上		9
	6 湧	水、噴砂			☑無	口有	+	1 点(]	上の点	(数に1点加	える)					

#### 解説

宅地地盤の変状点は、写真よりクラックが最大**20**cmなので**5**点、湧水・噴砂は無いので無にチェックをつけます。

	変形状態のチェック(複数可)	小		中		大	
	1 クラック(幅)	3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラミ(隆起量)	10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5
	3 ガリー浸食	クラックなどが誘 因となって雨滴に よる浸食が現れは じめた段階。	6	のり面の表土が雨 裂に陥けるなど被 としてがるおそれ のあるもの。	 写真	洞穴状や滝壺状にガリーが進展して家屋の基礎やのり	8
のり面	4 滑落・崩壊		7	表層すべりが進んたりので、 を表記を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示である。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、 又はのり面底部を含む全崩壊。	9
·自然	5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例結が、のり枠の間 が、の。又付ンがは ないでデックがある はないがあるがいがいる はないであるがいる はないであるがいる はないであるがいる はないであるがいる。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で 陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮 とり、のり枠のフは、のり枠のフは、のりでは、のりでは、 のりでは、 のりでは、 のりでは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のりででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいででは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 の。 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のい。 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のい。 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のいでは、 のい。 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の。 の、 の。 の、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	9
斜面	6 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下 するなど、排水機能 が失われている。	7
	7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出して	1000				8
	8 湧水、落石・転石	<b>ゴ</b> 無 □有→+1 点(上の	D点	数に1点加える)	0,0 OF	900 Nr. 6 900 81 17 h http://	
	被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	8	点		防災上	数と危険度判定☆ 上問題無し) は防災上問題無し)	
	危険度判定	☑大 □中 □小 [		大被害 8~10点(	危険、		
	所見記入者の意見 緊急度 ※無被害の場合は記載無し 拡大の見込	☑大     □中     □/       ☑有     □無     □半		<ul><li>(人命・財産・交</li><li>不可 (備考:</li></ul>	通の	3点を判断基準とする	。)
	加入少是还		1161	1 (MH 45 •			,

解説

のり面・自然斜面 の変状点は,写真 ・図より8点,湧 水・落石は無いの で無にチェックを つけます。 したがって、判定 値は最大変状点の 8点となり、大被 害となります。 緊急度は大,拡大 の見込み有となり ます。

【例題-12】 のり面パターン

# 例題-12 (現場写真)









## 例題-12-1

#### (様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

110124	- / 4/		/1/CM-37	<u> </u>	~ 11/~ 7	•						
調	查	票	調査日間		年 月		日	時	調査番	号		
T/HJ	Н.	गर		は降雨災害			tte?			-	ma LL	
被害発生	: 場 所		有	道府県	5 団地	市利	丁目	1	番	X	町 村 号	
所有者・管理	田老氏名			<b>月</b> 巴区	記入者氏名		1 =	TEL			7	
所有者・管					居住者への		口未		•			
連絡		TEL:			説 明				不在	□老人狐	由居住宅	
	<	<被	災 状	泛	図>			応急措置		口未了		
1.クラック					4.ハラミ	5-1.傾	斜 5	□被災無 i-2.倒	帳 □簡》 壊 6.擁星	易記録 きの折損	7. 崩	壊
27/BI	BF	7	1 -	<b>←</b>   →	· A)	RIC			-	RT		N
33							-	W Color			022	7
8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	纂 9.基礎及び	*基礎地盤の	被害 10.排水	施設の変状		Ľ	建物・	道路との	位置関係	系(基礎)	点)
f	A		Pr -		BI		-	影響範囲外(	B) 影響	範囲(A) 1.0H	影響範囲	51- (B)
_11,		1		w      -						//		
- Co	- <del> 111</del>	A 1.1. Mar.//	Altanomora da A	hat + z =	1.47=3.7		-		1	//		
					とができる。 上に記載し、	被害が無	レニン	が確認で	できる全も	予写直を	撮影す	<b>5.</b>
土砂崩れ	1	建物	建物	道路	*5 -3	想定 5.5m 想定 4.5m		スケール: 約5.55	8	建物		道路
		[平i	面図]					[断面図	1]			
被災写真の	有無			写真番号[								]
特記事工	Į .											

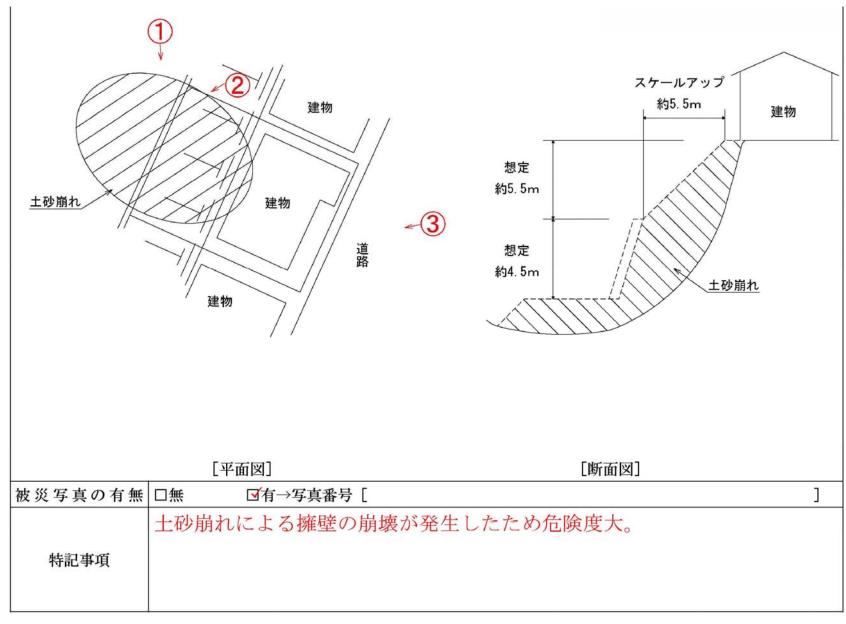
## 例題-12-1

擁壁		□コンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式	:			□増制	貴み搾り	Ě		扬	増積部分( 操墜部分( 全練墜高 m 増設高				高		] ] m	
の基礎	擁壁の話	□練石積換	組織	□場所打ち □間地石		プレキャ コンクリー	スト ・トフ ^{・ロ} ッ	ク	_		對策壁			T	部[							]
的	種類	U##11909	E.HE.	□その他[ □玉石積		くずれ	7°6k		]	- Str	出し床店	C-1-1-1-50	R&	_	部高	uLC.	n	1;下音	高			m
条件		□空石積縮	組織	□監石板□間地石		\ 9 4 L	伯惧				り設置を		36	_	]その( ]切土	_巴 ・盛土	境 🗆	較弱地	蠍上「	□他□	□不明	J
<u></u>				□その他					]	擁壁0					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		又は	( 1			,,	)
			4-4-167					$\rightarrow$	口泉洋	野範囲に		たは道	格がある	5 [	影響範	囲に建		は道路が	ないB	)		
	a	湧水	乾燥 湿潤								0.4						0.2					
	u	A99/IN		出し、流出							0.8						0.4			-	基礎。	譜
基				有、天端排水							0						0				1+2	
礎	2	排水施設		有、天端は表							0.4						0.2				_	- I
Je	H		水板化 H≤ln	<u>無、あっても</u> 1	<b>双•</b> 寸?	去か小:	趣当	$\dashv$	0.8					+			0.4			$\dashv$	ı	ш
点			1m <f< td=""><td>I≦3m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-  </td></f<>	I≦3m							0.2						0.1					-
	3	高さ	3m<1								0.4						0.2					
			4m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>								0.6						0.3					
区	-		- JIII < I	程度			小	,			0.5		F	þ			0.4		7	t L		
分	項	<b>III</b>	-	擁壁種類	コンクリ		-	2 段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2 段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2 段	張出	空積
		クラック 水平移動			1 2	25	3.5	4	6	6	2.5 3.5	3.5 4	4.5	5	7	7	4 5	5 5.5	6	7	8	9
変状	-	不同沈下・	日地の間	法	3	3.5	3.5 4	5	7	0	4.5	5	6	7	9	(	6	7	8	9	10	3
	-	ハラミ	H-6-70			4.5	5	6	8	8	<u> </u>	6	7	8	9	9	Ť	8	9	10	10	10
形態	_	傾斜・倒壊			5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
논	6	擁壁の折損 崩壊			6	6.5 9	7 9	8	10	8	7	8	9	9	10	9	8	9	10	10 10	10	10
変状	8		付擦壁の	支柱の損傷		<u> </u>	Ť,	~	7	\cdot		10	<u></u>	~	9	~		10	10	<u> </u>	10	T
点	9			被害									10									
		<ol> <li>排水施設の</li> <li>2 操壁背面の</li> </ol>		les boco			3						10						7			-
	11		J/水道官: 目/程度				小	`						þ				大				
	1	クラック(帳	D		2 m未満のクラックはあるが、機能 対章なし(コンクリート系権壁の場合 未満)。						コンクリート系権壁の場 未満)								練壁の	場合	5 mm以	E)
alec	<b>(</b> /p	水平移動 申縮目地前後の					間変				5 mm~50 mm未満の隙											
変状の		不同沈下・ 目地上下・左右			5 mm末の開き		_	下のす	れ又は	れ又は目地 5 mm~50 mm未満の れ又は目地の開きが									があり			
程度	-	ハラミ		LHON			ラミ及び	び中抜	け種	<b>日が</b> 1			テンショ					地盤に				
		デンションクラック 傾斜・倒壊		中抜け)		抜け落	がる) 也盤に	対し垂	値にはこ	K. (3			のおそ			- L		すべり が前何				絵か
大・中	•	13611 1974			ンクリー の傾斜	ト系擁 ()	壁の場合	合:天》	₩ 50 ш	血未満	(コンク		<b>擁壁</b> ∅					ている		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	C+21,	400 0
•		<b>糠壁の折損</b> 黄・ななめひ		こわきるま	/ クラック いる。	を境に	こわずか	いに角	度をな	よして			に明ら い石か					して大 ト系擁護				
小の		)。 はらんでい				トト系打	確壁の	場合ク	ラックを	と境に			える。(					ている				
概	グ	ラックを境に鈍	角に折れ	にている)	わずか	に前位	質してい	いる。	)				を境に	前方	こ傾斜	して	壊が	あり後	傾して	いる	.)	
要説明	_	崩壊 張り出し床	板付擁雪	壁の支柱の損	中間辺支柱に		ら上が? ⁵ 入っ ⁻				4 45	部を残	をして沖 クリートカ			筋が	4 15	を果た の剪脚	Dec 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	ない	0	
	他	基礎及び基	DENIAD 7	Salt See	-1-14114	トナンシャー	下やクラ	h451	4-10-7	1.12	見え	ている										-
	-	雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄・一雄		根否	天端排	水溝	トペップ こずれ、 j、舗装	欠損	がある	5。又			確壁の/ ある。	クラック	又は目	地か		孔の記 が失わ		10-4	があり、	排水
	11	1 擦壁背面の	7水道管	等破裂		て水が	が流出し	してい	る。													
			判定値			基礎点	+		※状点	]		被害		д 0	点(防)	災上	問題:				£1.\	
	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し																					
		/2. E% 11	度判定		m 4-		中			 □無	+	被害	: 8.5									
	所	70 映 f 見記入者の意		緊急度	<b>口大</b>		<del>     </del>	_		<u>小</u> 小	1/4	~ =	(			_		点を半		_	る。	)
*		皮害の場合は記述		拡大の見込			_ f			判断不	可小		į.									)

#### (様式-1)擁壁被害状況調查·危険度判定票

	≓πt		741	調査	日時	左	Ē	月	E	i	時	調	查番号			
	調	査	票	地震	名又は	降雨災害	名									
	被害発生	- 根 記			都分	道 府 県			市 郡					区町	丁 村	
	依 音 光 3	二 场 门				地区	団地			1目			番		号	
	所有者・管理	里者氏名					記入者氏	名			TEL	:				
	所有者・管 連 絡		TEL				居住者へ 説	の明	口済	口未		不力	r D:	女 1 2世	居住宅	
	连 裕	元	TEL	*			印尤	197		- 1	山冶生名	111	E 🗆 -	已八独	冶任七	
 写	真・図。	<b>にり</b>	<被	延災	状	況	図>				応急措施 □被災第		□済 □ □簡易記			
	1.クラック	2.水平科	多動:	3-1.不同沈	下 3-2	.目地の開き	4.ハラ	111	5-1.傾	斜	5-2.倒	壊	6.擁壁 ∅	) 折損	7. 崩	壊
	9 <del>7</del> → ∃□											_		7		
	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	<b>傷 9.</b> 基	基礎及び基礎均	<b>地盤の被</b>	書 10.排水	施設の変状				建物	· 道	路との位	置関係	系(基礎	点)
,			1 2 2 2			** <u>U</u> [					影響範囲外	(B) <b>(</b>	影響範囲	1 (A)	影響範囲	外(B)
	※簡易記録を	をする場合	合は、	被災状況図	は省略	きすること	ができる。	)				Ĺ	1. 7H			
	ただし、調査 解説	を箇所が分	かる	よう判定統	き果を信	<b>主宅地</b> 図上	に記載し、	. 被	医害が無い	こと	が確認で	きる	全景写	真を撮	影する。	•

被災状況図は写真・図より崩壊に〇をつけます。 影響範囲は擁壁と斜面の上部に建物があるので、Aとなります。



解説

**擁壁のタイプは、写真より練石積みのコンクリートブロックとなります。** 

				□L(逆 T)型	□重力式			增積部分[		]
擁		□コンクリート	交換腔	□もたれ式			□増積み擁壁	擁壁部分[		]
壁	15th	ニュングッート	<b>才</b> 的推生	□その他				全擁壁高	m 増設高	m
0)	雅			□場所打ち	□プレキャスト			上部[	.,	]
基本	あ	Water Class	ette.	□間地石	□センクリートブロック		□二段擁壁	下部[		]
擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	□練石積擦	<b>性</b>	□その他[		]		上部高	m;下部高	m
条	類			□玉石積	□くずれ石積		□張出し床版付擁壁	□その他[		]
件		□空石積擦	軽	□間地石			擁壁の設置条件	□切土・盛土境	□軟弱地盤上 □化	□不明
				□その他[		]	擁壁の勾配	度 又	<b>は ( 1 :</b>	)
				-		☑影響	撃範囲に建物すたは道路がある	□影響範囲に建物:	または道路がない(B)	
			乾燥				( 0 )		0	
	1	勇水	湿潤				0.4	(	).2	
	18.55		にじみ	出し、流出			0.8	(	).4	基礎点計
基			水抜孔	有、天端排水溝有	<b>「、表面水の浸透阻止</b>		0		0	1+2+3
礎	2	非水施設	水抜孔	有、天端は表面	水が浸透しやすい		0.4	(	0.2	
10年			水抜孔	無、あっても数	<ul><li>・寸法が不適当</li></ul>		(0.8)	(	).4	1 /
点			H≦1m	ı			~		0	1.4
,,,,,			1m <h< td=""><td>I≦3m 별</td><td>『真・図より</td><td></td><td>0.2</td><td>(</td><td>).1</td><td></td></h<>	I≦3m 별	『真・図より		0.2	(	).1	
	3	高さ	3m <h< td=""><td>I≦4m</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td>(</td><td>).2</td><td></td></h<>	I≦4m			0.4	(	).2	
			4m <h< td=""><td>l≦5m</td><td></td><td></td><td>(0.6)</td><td>(</td><td>).3</td><td></td></h<>	l≦5m			(0.6)	(	).3	
			5m <h< td=""><td>I .</td><td></td><td></td><td>0.8</td><td>(</td><td>0.4</td><td></td></h<>	I .			0.8	(	0.4	

#### 解説

基礎点は写真・図より、湧水は無いので0点、水抜孔が無いので0.8点、擁壁の高さが4.5mなので0.6点となり、合計で1.4点となります。

区	程度	小	中	大					
区分	項目 擁壁種類	コンクリ 練積 増積 2段 張出 空積	コンクリ 練積 増積 2段 張出 空積	コンクリ 練積 増積 2段 張出 空積					
	1 クラック	1 2 3 4 5	2.5 3.5 4 5 7	4 5 6 7 8					
[	2 水平移動	2 2.5 3.5 4 6 6	3.5 4 4.5 5 7 7	5 5.5 6 7 9 9					
変状	3 不同沈下・日地の開き	3 3.5 4 5 7	4.5 5 6 7 9	6 7 8 9 10					
形	4 ハラミ	4.5 5 6 8 8	6 7 8 9 9	8 9 10 10 10					
能能	5 傾斜・倒壊	5 5.5 6 7 8	7 8 8 9 10	8 9 10 10 10					
上	6 擁壁の折損	6 6.5 7 8 9	7 8 9 9 10	8 9 10 10 10					
態と変状	7 崩壊	9 9 10 10 8	10 10 10 10 9	10 10 10 10 10					
状	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷	7	9 /	10					
点	9 基礎及び基礎地盤の被害		10						
	10 排水施設の変状	3	5	7					
	11 擁壁背面の水道管等破裂		10						
	項目/程度	小	中	大					
	1 クラック(幅)	2㎜未満のクラックはあるが、機能上の	2mm~20 mm未満	20 mm以上					
		支障なし(コンクリート系擁壁の場合2㎜	(コンクリート系擁壁の場合 2mm~5 mm	(コンクリート系擁壁の場合 5 mm以上)					
	ol	未満。	未満	50 DI L OWNER/					
-4-	2 水平移動 (伸縮目地前後のずれ)	5㎜未満の隙間変位がある。	5 ㎜~50 ㎜未満の隙間(変位)がある	50 ㎜以上の隙間変位がある					
変状	3 不同沈下・目地の開き	5 ㎜未満の目地上下のずれ又は目地	5 ㎜~50 ㎜未満の目地の上下のず	50 皿以上の目地の上下のずれ又は					
$\begin{vmatrix} 1 \\ 0 \end{vmatrix}$	(目地上下・左右の開き)	の開きがある。	れ又は目地の開 <del>きがなる</del>	日地の悶きがなり。滑動、転倒のお					
程		1 kg kh = - * > 7 es L U \ ) (*kg * ) * .	安地地数2500 写直•	図より ラックを					
度	4 ハラミ	小規模のハラミ及び中抜け(積石が1	宅地地盤にテン   一   <del>                                </del>	7// 10 /					
	(テンションクラック・ずれ・中抜け) 5 傾斜・倒壊	~2 個抜け落ちる) 擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コ	療壁が前面地盤に対し垂直以上。	有り					
大	9 1904 - 1214X	ングリート系擁壁の場合:天端50㎜未満	(コンクリート系擁壁の場合:天端50 mm	探室が削減・固壊してその機能を 失っているもの。					
:		の傾斜	以上の傾斜	)					
中	6 擁壁の折損	クラックを境にわずかに角度をなして	クラックを境に明らかに角度をなし	一見して大であると判るもの。(コン					
小	(横・ななめひびわれから起きるも	いる。	ており、抜け石があり、裏込めコン	クリート系擁壁の場合クラックを境に前					
0	の。はらんでいるが曲線的でなく、	(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に	クリートが見える。(コンクリート系擁壁の	傾している。又は、1 mmでも剪断破					
概	クラックを境に鈍角に折れている)	わずかに前傾している。)	場合クラックを境に前方に傾斜して	壊があり後傾している。)					
要説	= dut	Lettera to 1 to 1 1800 and 1	いる。)	DRAIGH FILE A STATE AND A STAT					
説	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。	基礎部を残して滑っている。	機能を果たしていない。					
明	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損 傷	支柱にひびが入っている。	支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が 見えている。	支柱の剪断破壊。					
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。							
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又	左に加え擁壁のクラック又は目地か	水抜孔の詰まり、破損があり、排水					
		は、天端背面、舗装面にクラックが見ら	らの湧水がある。	機能が失われている。					
-	11 byth that on Lawkin worked	れる。							
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂して水が流出している。	人物包括中央上	数と危険度判定☆					
		基礎点 + 変状点							
	被害の判定値	1.4   +   10.0   無被害: 0 点(防災上問題無し)							
10.00	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数	小被害:1~4.5点未満(当面は防災上問題無し)							
*	無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	中被害: 4.5 点~8.5 点未満							
		(間限的さ立人、進行しているの無)							
	危険度判定	□大 □中 □小 □無 大被害 8.5 点~(危険、要避難、立入禁止)							
6593	所見(記入者の意見) 緊急度			通の3点を判定基準とする。					
*	無被害の場合は記載無し拡大の見込	☑ 有 □無 □判断不	可 ( 備考:	)					

解説 変状点は擁壁が崩 れてなくなってい るので、10点とな ります。 したがって、判定 値は基礎点が1.4点 ,変状点が10点と なるため、合計 11.4点の大被害と なります。 緊急度は大,拡大 の見込み有となり ます。

## 例題-12-2

#### (様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

			調査日時	4	F 月	日	時	調査番号	}	
調	査	票	地震名又	は降雨災割	<b>客名</b>					
被害発	4 相	76	都 道	府 県		市 郡			区町	村
仅 音 光	主 生 物	791		į.	地区 団地		11目		番	号
所有者•					記入者氏名			TEL:		
所 有 者 · 連	·管理者 絡	の 先 TEL:			居住者への 説 明		□未了 □居住	者不在	□老人独	居住宅
	<	<被 災	泛 状	況 I	⊠>		応急措 □被災		口未了 易記録	
	宅	地地	盤			の り			計 面	
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
-11-		74-	1	ma James			$\mathcal{J}$		****	円数すべり
5.のり面係	<b>R護工変状</b>	6.排水施	設の変状							
-6	枠内土砂液出 (枠浮上り)			ことがで	盤・宅地のり きる。 . 調査箇所が が確認でき	が分かるよ	う判定結果	を住宅地区		
土砂削れ	1	建物		/ 道路 クラック 3c	om .	想定 約5.5m 想定 約4.5m	At the state of th	-ルアップ 15.5m 土砂崩れ	建物	道路 ク 3cm
被災写真	真の有無	□無	□有→五	写真番号 [						]
特 記	事 項									

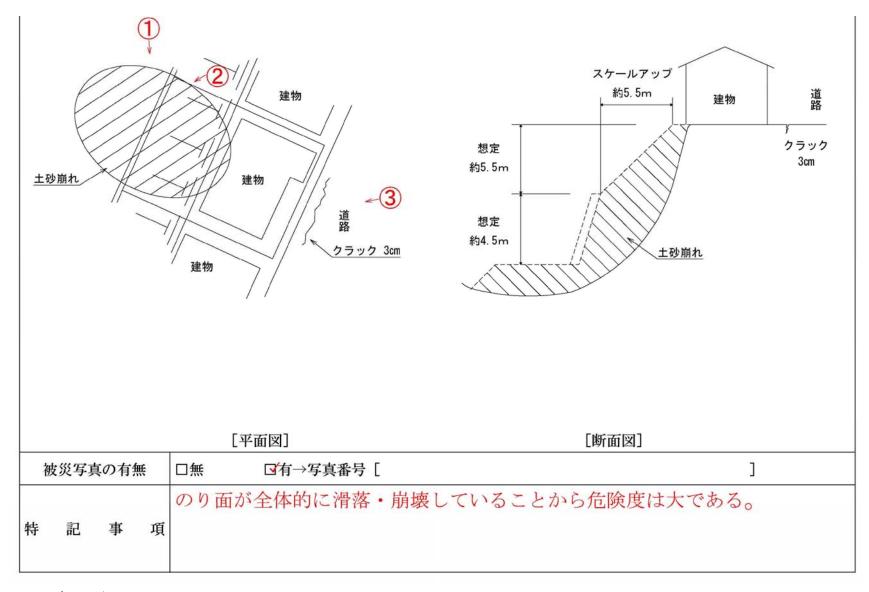
## 例題-12-2

	のり面・自然斜面の基礎的条件														
地類	段	岩	□軟岩□□	硬岩	□不明		オー	バーハング	□無□1	有					
761	nit.	土 砂	□砂質土□礫⅓	質土□粘	性土口オ	明	排2	k施設		有(のり)	肩、小段排水)				
	の面高		最大高	m(平均	9高	<b>m</b> )	の!	)面保護工	□無□相	直生土	□構造物				
(複 :	合のり面は排	発壁高含)	(うち擁壁高			$\mathbf{m}$ )	接根	<b>差配置</b>	□のり面の	□のり面の上部 □のり面の中部					
0	の面勾配			,	度		1986 =	EPUE	□のり面の	の下部	□全面				
の ¹	り長さ				m		家屋	屋の有無	上部□□	f □f	無 : 下部 □有 □無				
				3	变 状	形態	٤	配点	表						
	変形状態	態のチェッ	ク(複数可)		月	`			中		大				
宅	1 クラ	ラック(幅)		3 cm未	満		1	3~15cm オ 複数	<b>に満又は</b>	3	15cm 以上又は全面	5			
地	2 陥	殳(深さ)		20 cm未満				20∼50 cm 5		50 cm以上	6				
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm オ	<b>卡満</b>		2	10∼25 cm 5	未満	4	25 cm以上	7			
盤	4 段差	差(段差量)		20 cm 🕏	<b>卡満</b>		3	20~50 cm	未満	5	50 cm以上	8			
	5 隆起	記(隆起量)		20 cm∄	<b>上満</b>		7	20∼50 cm 5	未満	8	50 cm以上	9			
	6 湧2	水、噴砂		□無	□有→	+ 1 点(上	の点数	枚に1点加え	とる)						
	変形状態	態のチェッ	ク(複数可)		月	`			中		大				
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未	満又は	単数	1	3~15 cm = 数	未満又は複	2	15 cm以上又は全面	3			
	2 ハラ	ミ(隆起量)		10 cm オ	<b>卡満</b>		3	10∼30 cm 5	未満	4	30 cm以上	5			
	3 ガリ	一浸食			クなどって雨滴	が誘因			表土が雨裂 るなど放置		洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋				
					現れは		6	,	と被害が広	7	の基礎やのり面等の	8			
				段階。				がるおそネ   の。	<b>れのあるも</b>		下側に被害を及ぼす   ような状態。				
	4 滑落	• 崩壊		部分的	りな表	層すべ			りが進んで		全面的なすべり崩壊	$\vdash$			
		,,,,				面上部			られたよう		で、さらに拡大のお				
の				の小崩	壞。		7		放置すると おそれのあ	8	それがあるもの、又 はのり面底部を含む	9			
り								40.00	又はのり面		全崩壊。				
面	N			Anni In i i	F 10	LL PP		中部までの			MIN TO BE LESS OF THE PARTY OF	Ш			
ш		面保護工の生工は除く			は、のり 経没。又	枠の間		例えば、6   分的か破り	のり枠の部 員。又はコ		例えば、のり枠の浮 上り破壊。又はコン				
	(AE)	土土は豚へ	.,	クリー	- ト吹付	工にわ		ンクリー	ト吹付工の		クリート吹付工のラ				
					テンシ		7		部分で陥	8	ス金網が露出し、コ	9			
自						れるが は認め		没・すれス   れる。	が見受けら		ンクリート吹付面に   も破損が見受けられ				
然				られな	い程度						る。				
	6 排水	施設の変物	犬		水溝に	, ,			のり面の		排水溝が破断沈下す				
斜				title at to me	'のる。) j、舗装	又は、天 面にク	3	クフック、   からの湧z	又は目地 kがある。	5	るなど、排水機能が 失われている。	7			
面					が見ら			3	,		74474				
		面内の水道				流出して			~ /			8			
	8 湧水	、落石・軸	本石	山無	□有→	+1 点(上)	の点数	に1点加え	. ව)						
		被害の判		[ [			_		☆被害程	度の点	類と危険度判定☆				
			を加えた点数 皮害点の記載無し				点	無被害:	0 点(防	災上	問題無し)				
	<b>小川田文古</b> マル	※の口で会場形と * f	XHAVACIICM C	小被害: 1 ~ 3 点(当面は防災上問題無し)											
		危険度料	印定	ロ大 ロ中 ロ小 ロ無 中被害: 4~7点(制限付き立入。進行していれば避難)						維)					
			,,,,	大被害:8~10点(危険、要避難、立入禁止)											
		入者の意見)	緊急度	度 口大 口中 口小 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)						)					
	※無被害の場	場合は記載無し	拡大の見込	口有	口無	<b>#</b>	判断不	可 (備:	考:			)			

#### (様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

	≠फ	<b>-</b> Ł^		चाई	調査日時		年	月	日	時	調査番号		
	調	査		票	地震名又	は降雨災	害名						
	ゕ ヰ ヌ	& 比 相	<b>ਜ</b> ਟ.		都 道	府 県			市 郡			区 町	村
	被害多	色 生 場	所				地区	団地		丁目		番	号
	所有者•	管理者氏	名				記入	.者氏名			TEL:		
	所有者	• 管理者	0)				居住	者への	□済	口未了			
	連	絡	先	TEL:			説	明		□居住	者不在	口老人独	居住宅
	 写真・[	図より	< 衤	皮 災	とり、状	況	図)	>		応急措	-	口未了	
_						.,_				□被災	無 口簡易	記録	
		- 宅	坩	也地	盤				0 Y	面 •	自然系	革 面	
	1.クラック	2.陥没	3	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.	クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
			~~~ <u>)</u>		1	Mary Comme	· 			$\mathcal{J}$		表層すべり	184~0/
	5.のり面位	呆護工変状	6.	排水施	設の変状		e!			te te	**		
		枠内土砂流出 (枠浮上り)	5			ことがで ただし	きる 、調	。 査箇所か	が分かるよ	記録をする。 う判定結果 『を撮影する	を住宅地図		

解説 被災状況図は、のり面・自然斜面の崩壊に〇をつけます。



解説

建物の下部の擁壁を含んだのり面が崩壊しています。
さらに、建物の上部の道路にもクラックが生じています。

	のり面・自然斜面の基礎的条件										
地盤	岩	□軟岩 □	硬岩 □不明	オー	-バーハング	☑無 □	有				
地盤	土 砂	☑砂質土□礫	質土□粘性土□不明	排	水施設	☑無 □	有(のり)肩、小段排水)			
のり面高	ត៌	最大高 10	m(平均高 m)	の	り面保護工	口無 🗹	植生土	□構造物			
(複合のり	面は擁壁高含)	(うち擁壁高	4.5 m)	城	壁配置	口のり面の					
のり面気	可配		50 度	17年	半癿但	☑のり面の	の下部	□全面			
のり長さ	5		m	家	屋の有無	上部 🗹	有 🗆	無 : 下部 □有 □	ゴ無		
8	変状形態と配点表										
変形	変形状態のチェック(複数可) 小 中 大										
宅 1	クラック(幅)		3 cm 未満	1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5		
地 2	陥没(深さ)		20 ㎝ 未満	2	20 ~ 50 cm ≠	き満	4	50 cm以上	6		
地 3	沈下(沈下量)		10 cm 未満	2	10 ~ 25 cm ≯	ミ満	4	25 cm以上	7		
盤 4	段差(段差量)		20 cm 未満	3	20 ~ 50 cm ≠	ミ満	5	50 cm以上	8		
1 5	隆起(隆起量)		20 cm未満	7	20 ~ 50 cm ≯	ミ満	8	50 cm以上	9		
6	6 湧水、噴砂 □無 □有→+1点(上の点数に1点加える)										

解説

複合のり面の為,のり面高の最大高は擁壁高も含めた10mとしてください。

	変形状態のチェック(複数可)	小		中		大	
	1 クラック(幅)	3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラミ(隆起量)	10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5
	3 ガリー浸食	クラックなどが誘 因となって雨滴に よる浸食が現れは	6	のり面の表土が雨 裂に陥没するなど 放置していると被		洞穴状や滝壺状にガリーが進展して	8
		じめた段階。		害が広がるおそれ のあるもの。	与	<u> </u> 真・図より ®。	
のり面	4 滑落・崩壊	部分的な表層すべ り、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表でような状態。 を はれ と ない	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、 又はのり面底部を含む全崩壊。	9
· 自然	5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間とば、の。又付いのはない。 と吹いのでは、ののでは、ののでは、ののでは、では、では、では、では、では、では、では、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできない。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で 陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリートが露出し、コンクリート吹露出し、コンクリート吹き出し、コンクリートが見受けられる。	9
斜面	6 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下 するなど、排水機能 が失われている。	7
	7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出して					8
	8 湧水、落石・転石	□無 □有→+1 点(上の	の点				
	被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	9	点	☆被害程度 無被害: 0 点係 小被害:1~3点(≦	方災上		
	危険度判定		口無	大被害 8~10点(危険、		
	所見記入者の意見 緊急度 ※無被害の場合は記載無し 拡大の見込	☑大 □中 □小 ☑有 □無 □半	<u>. </u>	(人命・財産・交 不可 (備考:	通の	3点を判断基準とする)

【例題-13】 擁壁+宅地地盤パターン(1)

例題-13 (現場写真)



(2)





例題-13 (現場写真)





例題-13-1

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

14.74 1/1/	主汉口			NET X	. 75								
調査	票	調査日時	4	年	月	F	3	時	調	查番号			
加 红	示	地震名又											
波 害 発 生 場 戸	ř ——	都	道府県			市郡		_			区	町村	_
6. 大水,然期老氏。	·		地区	マロ地 コスポル	lt .		1,1	∃ TE	r ·	番		号	_
所有者・管理者氏4 所有者・管理者6	_			記入者氏 居住者へ	_	口体	□未						_
	E TEL:			説	明	□ <i>6</i> 4			皆不在	E □ ā	老人独	居住宅	
	<被	災状	況	図>				応急措 □被災		□済 □ □簡易記			
.クラック 2.水平	移動 3-1.7	下同沈下 3-	2.目地の開き	き 4.ハラ	3	5-1.傾	斜		- T	6.擁壁の		7.崩	埠
77 B = 3								The state of the s	7		~	JEJ S	1
3.張出し床版付擁壁の支柱の	出版 9 基礎及	び其盛治般の製	s 10 排水	施設の変状	\vdash		7	建物	• 清皇	多との位置	署関な	系(基礎点))
T AT	Dan Oran ne A	A CONTRACTOR	10.977	PTT	1		1	影響範囲を		影響範囲(A)	影響範囲外(B	
		F/		* All						ŗ	1. OH .		
-18	- 6	X	~ [3						//	=		
※簡易記録をする場							L			1. 7H		~~~	
ただし、調査箇所な	が分かるよう	判定結果を	住宅地図	上に記載し	八有	皮害が無り	いこと	とが確認	でき	る全景写	真を	撮影する。	>
開地ブロック谷積 5. Om	庭	コック布積 30.0m	小屋建物	7.00	/	1. On 7. On	64.55.00	3. Om		建物	\ 		/
	「亚	面図]						[断面	図1				
披災写真の有無			真番号[C-ALIM					_
特記事項													_

例題-13-1

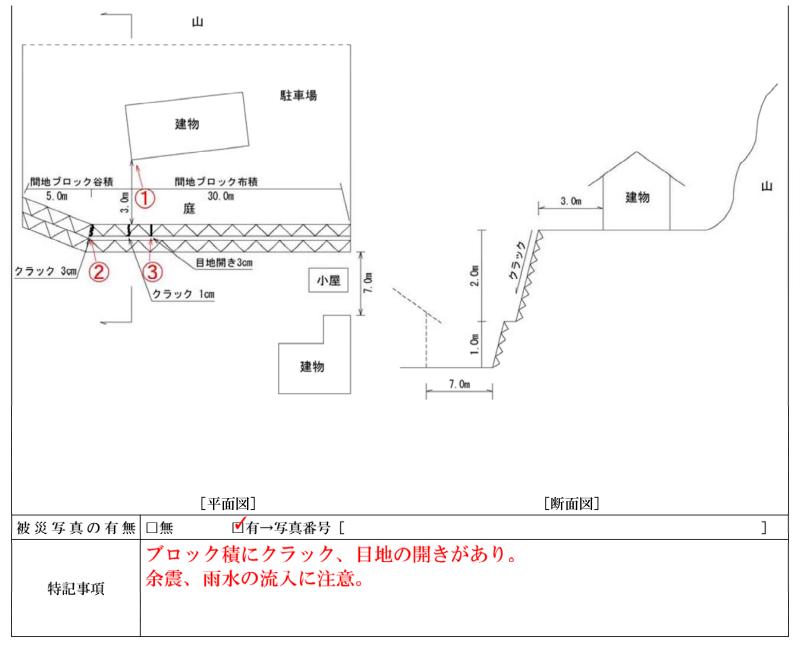
擁壁の	始		リート系練座	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式				□増積	貴み搾む	Ě		辨全	積部分 壁部分 搾壁で	36		m	増設	高]] m
基礎的	換壁の種類	□練石	積掩壁	□場所打ち □間地石 □その他[プレキャ コンクリー	<u> </u>	ク]		對鍵壁			T	部 部 部高 部 高		m	ı;下á	高]] m
条件	発	Ί.	積搾壁	□玉石積 □間地石		くずれ	石積			擦壁0	出し床開		壁	$\overline{}$	そのf 切土	・盛土		-	盤上	□他 [□不明]
Н	H			□その他]	擁壁 の		A. I L'MA	th 10 k or	-	and the last last		又は	(1)
	H		乾燥					_	山東河	医曲印 田火	<u>建物ま</u> ()	だは通	格がある	<u> </u>	彩香和	囲に建	物またに ()	よ坦路ス	DASK AR			
	0	D湧水	湿潤								0.4						0.2					
++	L		_	出し、流出							0.8						0.4				基礎	
基	١,	S.111. 1 11.40		有、天端排水							0						0				1)+2)+(3)
礎	l ć	②排水施設		L有、天端は表 L無、あっても				·			0.4						0.2				_	¬ ∣
点	Н		H≦lr		频X " 刊在	大が下	地台	\dashv			0.5			+			0			\dashv	l	
恩			*******	H≦3m							0.2						0.1					-
	Ç	3高さ		H≦4m							0.4						0.2					
				H≦5m							0.6						0.3					
区	-		5m<	H 程度			小	-L			0.8		ц	h			0.4		7	ja .		
分	д	質目	-	<u>権</u> 坚種類	コンクリ	練積	增積		張出	空積	コンクリ	練積	増積		張出	空積	コンクリ	練積	增積	_	張出	空積
		. クラッ:			1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
亦		水平移		er L	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変状	⊢	<u> </u>	下・目地の関	#e	3	3.5 4.5	5	5 6	8	8	4.5	5 6	6 7	7 8	9	9	6	7 8	8	9	10	10
形	_	何斜・f	到壞	6	7	8	\cdot	7	8	8	9	10	Ľ,	8	9	10	10	10	10			
態と変		擁壁の		7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10				
変	_	崩壊		9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10			
状	⊢		床板付摘壁の						7						9					_	10	
点	9	基礎及排水施	び基礎地盤の	7 飲香			3				_		10				_		-	,		
	-		面の水道管	等破裂							_		10				_					
	Ļ		項目/程度	Ę	2 1	Mb b	- 4						r r	þ					J	ζ		
		. クラッ?	ク(幅)				ラックは ・クリート ን						n未満 練壁の	場合:	2mm~	-5 mm	20 mm (コンク		加壁の	場合	5 mm/;	Œ)
المدا	(4		前後のずれ)				間変						未満の						D隙間			
変状の			下・目地の間 ・左右の開き		5 mm未 の開き			下のず	れ又は	目地			m未満の開き			のず	目地		かあり			
程度	1 -	ハラミ テンションクラ	ラック・ずれ・	中抜け)		のハラ 抜け落	ラミ及び (ちる)	び中抜	け積	5が1			テンショ のおそ				宅地	地盤に	デンショ ・アンショ ・のおそ			
大・	5	傾斜・	到壤			 系擁	也盤に 達の場				(コング		地盤に						もの。	装して	そ	
中	6	擁壁の	折損				こわずん	いに角	度をな	にして			に明ら	かにか	角度を	なし	一見	して大	である	と判	るもの	。(コン
小				ら起きるも	いる。								け石が						壁の場			
の概要			だいるか田 に鈍角に折れ	線的でなく、 hている)	1 1 1 1 1 1		確壁の 質してい			が見て		クラック	える。('を境に						。又は M負して			得时假
英説明	8	が 崩壊 ・ 張り出	し床板付擁護	壁の支柱の損	-1-12-1-		ら上が? が入っ。	-0. 30			支柱		として溶 クリートカ	** * * * * * *		節が	1.15		:してい 破壊。	ない		
	-		び基礎地盤の	D被害	大規模	な沈	下やクラ	ックがく	主じて	いる。	باختار											
	1	.0 排水施	酸の変状	こずれ、 j、舗装		pr p - u			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	鍵のク ある。	フラックフ	又は目	地か			法り、 れてい		ぶあり	. 排水			
	1	1 擁壁背	面の水道管	等破裂	れる。 破裂し	て水が	が流出し	してい	る。													
		-	まか如ぐは	÷	1	基礎点	+		状点	1	無	被害	: (数と危 問題無			ī		
		基礎点に変わ	害の判定値 た点の最大値を は基礎・被害	加えた点数				_		_			: 1 · : 4.5				当面(i	は防災	《上問	題無	(し)	
						=	=			点		H					。 進行し	してい	いれば	避勤	<u>Ě</u>)	
		危	険度判 定		口大		中		\	 □無	大	被害					避難					
		·見記入者	の意見	緊急度 拡大の見込			中		小			(産・交	通の3	点を半	定基準	とす	る。)	
*	無	被害の場合	は記載無し		無		判断不	可小		(備考	:)			

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

	≓πi		नाई	調査日時	等	年 月	日	時	調査番号	
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	等名				
	址 	上 相 武		者	阝道 府 県	•	市 郡			区町村
	被害発力	土场加			地區	区 団地		丁目	番	号
	所有者•管	理者氏名				記入者氏名	1	TEL	:	
	所有者 • 筍 連 絡		TEL:			居住者への説明		□未了 □居住者	不在 口	老人独居住宅
写	真・図。	より -	<被	災 状	泛泥	図>		応急措員□被災犯		
	1.クラック	2.水平和	多動 3-1.不	「同沈下 3	-2.目地の開	き 4.ハラミ	5-1.傾	斜 5-2.倒	壊 6.擁壁の	折損 7.崩 增
	37)								
	8.張出し床版付款	確壁の支柱の損	傷 9.基礎及7	び基礎地盤の	被害 10.排力	k施設の変状		建物・	道路との位	置関係(基礎点)
					~			影響範囲外		(A) 影響範囲外 (B) 1. UII 。
	※簡易記録	をする場	合は、被災	状況図は	省略するこ	とができる。		-	1. 7H	
	ただし、調	査箇所が	分かるよう	判定結果	を住宅地図	上に記載し、	被害が無い	ことが確認	できる全景写	写を撮影する。

解説

被災状況図は、写真・図よりクラック、目地の開きに○をつけます。 影響範囲は、擁壁上部が建物まで3mなのでAとなります。



解説 擁壁のタイプは, 上下ともに間地ブロンとの との二段擁壁 というがあります。 シーンがあります。

擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	コンケリートラ	分類 壁	□【逆T)型 □もたれ式 □その他 □場所打ち □間地石	□重力式 □プレキャスト □コンクリートブロック			□増積み雑壁 □ ご段雑壁		地震部分 金融等 全線等高 上部 下部	図。	より 増設高 間地ブロック 間地ブロック] m
此的条件	種類	□独石積縮	筐	□その他 □玉石積 □間地石	□くずれ石積			□張出し床版 擁達の設置条/		上部高 □その他 □切土・見		m;下部高 □軟弱地盤上 □他 □	1	<u>m</u>]
				□その他	*		-	雑壁の勾配 範囲に建物また	よ)首段がある(Δ)	+	度又は	(1 : 3 : a : b : b : b : b : b : b : b : b : b)	
		ì	乾燥					0	A THE WAY	上外 产品中位//	SEM A	0		
	1	湧水	湿潤	I.s NI-I.				0.4				0.2	1257722	is no
基			Vice Zeil Laber	出し、流出	す、表面水の浸透阻止	_		0.8	写真よ	9		0.4	基礎	100000000000000000000000000000000000000
W-922	2	排水施設	***************************************		め浸透しやすい			04				0.2	(I)'(2	
礎)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	••••••••	馬 あっても数				0.8)		(0.4	1.0	1
点			H≦1m					J				0	1.	9
			1m <h< td=""><td>≦3m</td><td></td><td>177</td><td>H 1.1</td><td>(0.2</td><td>)</td><td></td><td>(</td><td>0.1</td><td>Vii</td><td>75</td></h<>	≦3m		177	H 1.1	(0.2)		(0.1	Vii	75
	3	高さ	3m <h< td=""><td>≦4m</td><td></td><td>図。</td><td>より</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>(</td><td>0.2</td><td></td><td></td></h<>	≦4m		図。	より	0.4			(0.2		
			4m <h< td=""><td>≦5m</td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td>(</td><td>0.3</td><td></td><td></td></h<>	≦5m				0.6			(0.3		
			5m <h< td=""><td>v #</td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td></h<>	v #				0.8				0.4		

解説

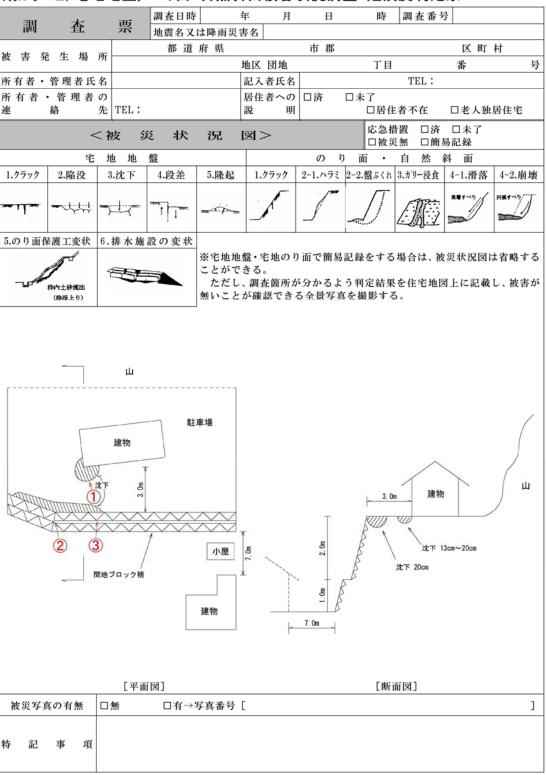
基礎点は写真・図より、湧水が無いので0点、水抜孔が無いので0.8点、擁壁の高さは3mなので0.2点となり、合計で1.0点となります。

区	程度			,	小		147 0	130		ı	þ				j	7	大	7	0
区分	項目 操節類	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2 124	張出	空積
	1 クラック	1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変状形態と変状	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
状形	4 ハラミ		45	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
形能	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
3	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
変	7 崩壞		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
	8 張り出し末板村擁護の支柱の損傷					7						9						10	
点	9 基礎及び基礎地盤の被害	_			_						0			,			_		
-	10 排水施設の変状	₩			3						5						7		
	11 擁護背面の水道管等破裂	-						1			0			_			Ł		
-	項目/程度	0 -	Litter b		小 ナフル	INKAP I	o Lette	-	200		中				DLI		Τ.		_
	1 クラック(幅)	750000000			めるか、		の支障 満。		1~20 m カリート系		場合2m	m~5π	皿杉満	20 mi		擁護の場	場合5Ⅲ	叫儿	
	2 水平移動 (伸縮目地前後のずれ)	5 mm	は満の概	間変化	かある	5.		5 mm	~50 mm	未満の	原間変	分があ	る	50 m	以上の	傳出変	心かあ	る	
変状の	3 不同沈下・目地の開き (目地上下・左右の開き)	5 mm きが		地上	Fのず វ	汉は日	地の開			はある	目地の る。	上下の	JAN Y	E 2000 C 2000		日地のり、滑頭			
程度	4 ハラミ				び中抜い	州積石	ბა 1 ~ 2				ノクラック	無し		宅地		テンション		有り	
, -	(テンションクラック・ずれ・中抜け)5 傾斜・倒壊		け落ちる		対し垂直	TV F (-	תולג יד			のおそ	対し垂	STV L	(m) th		., ,	のおそれ ・倒壊		n Hilióka	t./1: 0
大・中	3 1984 TPAX				端50皿					の場合		<u>与</u>	'直	19855	汉··········	1 1	1)	OBSHE?	e X
	6 擁壁の折損		クを境	にわず	かに角	度をな	してい		, -	に明ら				_		, •			ンクリー
小の	(横・ななめひびわれから起きるもの。は										裏込め					給クラッ			
概	らんでいるが抽線的でなく、クラックを境	,		.,,		ックを境	にわず				福達の場	治クラッ	クを境			mmでも	剪料破	数あ	り後的
要説	に鈍角に折れている)	_	前傾し			. 7				斜して		,			いる。)		b.s .		
説	7 崩壊				骨ってい	い る。					っていく		2711 2	-		してい	X1 ?		
明	8 張り出し床板計雑堂の支柱の損傷	文柱	こひひが	ア人つ	くいる。			文化	,	リートカン	はがれ	(野)防	か見え	文柱	の剪糖	收%			
	9 基礎及び基礎地盤の被害				ックが生														
	10 排水施設の変状			and the contract	欠損め		and the second		加え搦 がある		ラック又は	は日地	からの		孔の詰われて	まり、砂 いる。	姐がも	り、排	水機能
	11 擁轄省面の水道管等破裂	破裂	してか	が治出し	ている) _o													
		_	基礎	点	+ _	変状点	点 ,				☆神	娃程	度の点	数と危	颁变	削定☆			
	被害の判定値		1.0)	+	7.0		1000) 点	0.000							
	※基準点に変状点の最大値を加えた点数													面は防	方災上	問題	無し)		
	※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し			=[8	.0	٦,	(被害		点~8			<i>~</i> .		, wheat	H-17.\		
			<u>-</u>	L	-	3.7			. Into all of							ば避)		
	危険度判定				口小	_	無		校告	. 6.0	点~(
	所見記入者の意見 緊急度				中		小						E•交 通	[の3点	を判定	基準と	する。)
3	※無被害の場合は記載無し 拡大の見込み	口有	<u> </u>	4	無		判断不	म			備	f:)

解説

例題-13-2

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票



解説 次に、宅地地盤 でも判定してみ ましょう。

例題-13-2

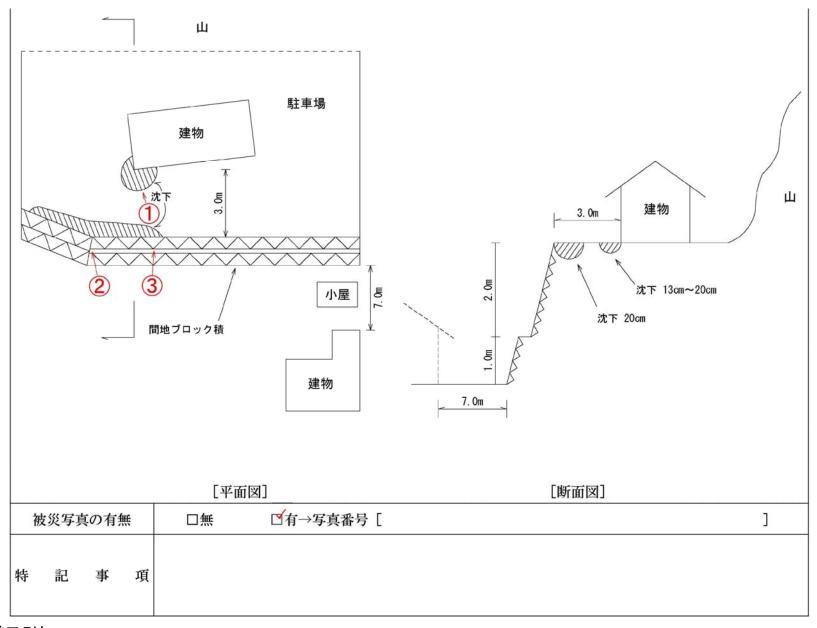
1					のり面・自然を	斜面の	基礎的条件						
上 砂 回雲土口殿性上口部側 排水施設 □熊 □和生 中 中 中 中 中 中 中 中 中	11/11	般		□軟岩□□	硬岩 □不明	オー	・バーハング	□無□有	ĵ				
図5のり面に程度高金 15 20 20 20 20 20 20 20 2	760	mr.	土 砂	□砂質土□礫⅓	質土□粘性土□不明	排刀	水施設	□無□有	(のり	肩、小段排水)			
1				最大高	m(平均高 m)	のり	の面保護工	□無 □権	性土	□構造物			
のり面も気配	(被:	合のり面は排	産壁高含)	(うち擁壁高		- 探星	後配置	□のり面の	D上部	□のり面の中部			
変状機のチェック(複数回) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満 1 3 cm未満 3 l5cm 以上又は全面 5 1 2 Cm決(深さ) 20 cm未満 2 l0~50 cm未満 4 s0 cm以上 6 4 投資(深さ) 20 cm未満 2 l0~50 cm未満 4 s0 cm以上 7 4 投資(投資量) 20 cm未満 3 l0~50 cm未満 4 loo cm以上 6 5 極極(保建量) 20 cm未満 2 loo cm未満 5 loo cm以上 8 6 労水、噴砂 口無 口有一・1 点上の点数に 1 点加える) 1 loo cm未満 2 loo cm未満 8 loo cm以上 9 6 労水、噴砂 口無 口有一・1 点上の点数に 1 点加える) 1 loo cm未満 2 loo cm未満 2 loo cm未満 3 loo cm以上 2 loo cm未満 2 loo cm未満 2 loo cm未満 2 loo cm未満 4 loo cm以上 2 loo cm未満 2 loo cm未満 2 loo cm未満 4 loo cmよと 4 loo cm又上 2 loo cm未満 2 loo cm未満 4 loo cm又上 2 loo cm未満 4 loo cm又上 2 loo cm未満 2 loo	_				度			□のり面の)下部	□全面			
変形状態のチェック(複数で)	の	り長さ				家屋	屋の有無	上部 口有	î 🗆 f	無 : 下部 □有 □無			
1 クラック(編) 3 cm未満 1 数数 15cm 以上又は全面 5 位数 数数 15cm 以上又は全面 5 位 cm以上 7 位 2 cm未満 4 25cm以上 7 位 2 cm未満 5 5 cm以上 8 5 6 cm以上 9 7 cm未満 7 20~50 cm未満 8 5 cm以上 9 7 cm未満 7 20~50 cm未満 8 5 cm以上 9 9 6 6 汤水、嗅砂 □無 □有→+1 点上の点数に1 点加える)					変 状 形 態	٤ ا	配点	表					
1		変形状態	態のチェッ	ク(複数可)	小			<u> </u>		大			
3 次下(沈下量)	笔	1 クラ	ラック(幅)		3 cm未満	1		満又は	3	15cm 以上又は全面	5		
#	地	2 陥	殳(深さ)		20 cm未満	2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6		
1	地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満	2	10~25 cm未	満	4	25 cm以上	7		
1	盤	4 段差	差(段差量)		20 cm未満	3	20~50 cm未	満	5	50 cm以上	8		
変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 数 2 15 cm果上又は全面 3 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 1 0 cm未満 4 30 cm以上又は全面 3 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた 段階。 0 り面の表土が雨裂 レイいると被害が広、7 であるもなど放置していると被害が広、7 であるもなり、2 はのり面を表だすような状態。 河上線をつり面等の8 下のおされたようであるが、2 は大するおもたようの、2 はのり面を表だすといる。を指述へおるもの、2 は大するおもたようの、2 はのり面を表だする状態。を設定する状態。を設定する状態を放置するとかり面は、またするなどあきない。 2 はのり面を表だする状態を放置するとかり面で、8 で、さらに拡大のおるもの、2 はのり面を表でおり面のあるもの、2 はのり面を表でおり面のあるもの、2 はのり面を表でおり面のあるもの、2 はのり面を表でする状態を放置するとからいる。を崩壊、で、さらに拡大のおるもの、2 はがり面に多されたようで、2 がまするものがあるもの、2 はがり面に多されたまた。 2 クリート吹付エのカラックが見られるが、で付エのすれは認められない程度。 なる。 2 クリート吹付エのクラックがのないを指し、コンクリート吹付エのララックがので陥。 2 なっからの湧水がある。 5 がらの湧水がある。 5 状態が関係とでするなど、排水機能がないの浸が値が見受けられる。 5 をでからの湧水がある。 5 欠が事程度の点数と危険度判定を整備を対している。 8 無被害・0 点防炎上間駆無し、小被害・1 ~ 3 点(当面は防炎上間駆無し)・中被害・4 ~ 7 点側限付き立入。進行していれば避難、大被害・8 ~ 10 点(免険、要避難、立入禁止) 施物の関定値 日大・日中・日小・日無 (人命・財産・交通の3 点を判断基準とする。)		5 隆起	記(隆起量)		20 cm未満	7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9		
1 クラック(輌) 3 cm未満又は単数 1 数 つ15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面 3 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 5 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による。浸食が現れはじめた段階。 cn の力面の表土が雨裂に降散やるなど放置していると被害が広がるお老れのあるものの。 7 に降没するなど放置で削壊であるもの。 7 に降没するなど放置の基準やのり面等の多数で高していると被害が広があるもの。又はのり面に被きを及ぼすような状態。放置するとなど、放置すると表しました。方の小崩壊。 7 を表面すべりが進んできるなが、とのり取られたような状態。放置すると表しまたのあるもの。又はのり面底部を含むるもの。又はのり面底部を含むタリート吹付工にカナット・吹付工にカナット・吹付工にカナット・吹付工にカナット・吹付工にカナット・吹付工にカナット・吹付工にカナット・吹付工にカナット・吹付工のカータックが見られるが吹付工のオンクリート・吹付工のカータックが見られるが吹けてのずれは認められない程度。 例えば、のり枠の部分的な破損、又はコンクリート・吹付工のカラックが見られるが吹けてのずれは認められない程度。 例えば、のり枠の部分のの多次の分ラック部分で降を表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま		6 湧z	水、噴砂		□無 □有→+1点(上	の点数	改に1点加え	る)					
2 ハラミ(隆起量) 10 m未満 3 10 m m m m m m m m m m m m m m m m m m		1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 3 ~ 15 cm未満又は複 9 15 cm以上又は全面											
3 ガリー浸食		1 クラ	ック(幅)		3 cm未満又は単数	1		満又は複	2	15 cm以上又は全面	3		
となって雨滴による		2 ハラ	ミ(隆起量)	1	10 cm未満	3	10~30 cm未	満	4		5		
		3 ガリ	一浸食		となって雨滴による 浸食が現れはじめた	6	に陥没する していると がるおそれ	など放置 被害が広	7	リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす	8		
 面 5 のり面保護工の変状 (植生工は除く) 自 6 様水施設の変状 (植生工は除く) 6 様水施設の変状 (村工のすかに見しておいる) 6 様水施設の変状 (大選が高している) 6 様水施設の変状 (大選が高している) 7 のり面内の水道管等の破裂 (破裂して水が流出している) 8 湧水、落石・転石 (無数点の記機無し) 7 のり面内の水道管等の破裂 (破裂して水が流出している) 8 湧水、落石・転石 (無数点の記機無し) 6 検書の判定値 (※基礎はの場合は基礎・被告点の記機無し) 6 佐険度判定 (大 口中 口水 口無 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。) 7 のり面内の水道管等の成見 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。) 		4 滑落	• 崩壊		り、又はのり面上部	7	えぐり取ら な状態。放 拡大するお るもの、又	れたよう 置すると それのあ はのり面	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む	9		
 然	•				詰め陥没。又はコン クリート吹付工にわ ずかにテンションク ラックが見られるが 吹付工のずれは認め	7	例えば、の 分的リンクラック クラックが みりゅうが	り枠の部 。又はコ 吹付工の 部分で陥	8	上り破壊。又はコン クリート吹付工のラ ス金網が露出し、コ ンクリート吹付面に も破損が見受けられ	9		
7 のり面内の水道管等の破裂 破裂して水が流出している。 8 8 湧水、落石・転石 □無 □有→+1 点(上の点数に 1 点加える) 被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無赦害の場合は基礎・被害点の記載性 点 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1 ~ 3点(当面は防災上問題無し) 小被害: 4 ~ 7点(制限付き立入。進行していれば避難) 大被害: 8 ~ 10 点(危険、要避難、立入禁止) 所見記入者の意見 ※原理記入者の意見 緊急度 □大 □中 □小 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)	斜	6 排水	施設の変物	£	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク	3	クラック、	又は目地	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が	7		
検書の判定値	(HI)	7 のり	面内の水道	管等の破裂	破裂して水が流出して	いる。	0				8		
※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し 点 無被害: 0 点(防災上問題無し) ・ 放客: 1 ~ 3点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4 ~ 7点(制限付き立入。進行していれば避難) 大被害: 8 ~ 10点(危険、要避難、立入禁止) 所見記入者の意見 緊急度 □大 □中 □小 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)		8 湧水	、落石・軸	云石	□無 □有→+1 点(上	の点数	なに1点加える	3)					
所見記入者の意見 緊 急 度 □大 □中 □小 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)			変状点の最大場合は基礎・	値を加えた点数 被害点の記載無し	□大 □中 □小		小被害:中被害:	0 点個 1~3点() 4~7点()	防災上 当面は 削限付	:問題無し) :防災上問題無し) き立入。進行していれば避	· 黄疸)		
//1/20日/-/ペロップのグロ //加速性の対象の対象の対象が対象が		#¢.EI/\$→	7 ±473±11	緊急度	口大 口中 口	小)		
				拡大の見込						• 1171237 • 7 9/0)		

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

====		चार	調査日時	2	年	月	日	時	調査番号	1	
調	査	票	地震名又	は降雨災害							
₩ ₩ ₩	¢ Њ Њ	⇒ c.	都 道	府 県	·		市 郡			区町	村
被害多	色 生 場	所 ——			地区 団	刊地		1月		番	号
所有者•	管理者氏	名			記入者	氏名			TEL:		
所有者	• 管理者	の			居住者	への	口済	口未了			
連	絡	先 TEL:			説	明		□居住	者不在	口老人独	居住宅
写真・	図より	〈被	災 状	況	図>			応急措□被災			
	宅	地 地					のり	面・	自然分	計 面	
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.25	ック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
				The same of the same		<i>F</i>		J		表帯すべり	円載すべり
5.のり面化	呆護工変状	6.排水放	直設の変状								
	枠内土砂流出 (枠浮上り)			ことがで ただし	きる。 、調査 値	箇所が	が分かるよ	記録をする。 う判定結果 を撮影する	を住宅地図		

解説

被災状況図は、写真・図より、宅地地盤の沈下に〇をつけます。



解説 擁壁上部及び建物周辺の宅地地盤に最大20cmの沈下が生じています。

					のり面	面・自然紀	本面の	基礎的条件				
地類	华	岩	□軟岩 □	硬岩	□不明		オー	バーハング	□無□□	j		
PET	int.	土 砂	□砂質土□礫	質土口	粘性土口オ	下明	排ス	k施設	□無□□	写(のり)	肩、小段排水)	
の	り面高		最大高	m(平	均高	m)	のり)面保護工	□無□□□	直生土	□構造物	
(複合	合のり面	は擁壁高含)	(うち擁壁高			m)	-	き配置	□のり面の	D上部	□のり面の中部	
の	り面勾直	12			度		79年三	芒月L JE.	□のり面の	D下部	□全面	
の	り長さ		」。図 ト <i>い</i>		m		家屋	尼の有無	上部 口有	す □無	無 : 下部 □有 □無	ŧ
	写真・図より変状形態と配点表											
	変形物	犬態のチェッ	ク(複数可)		月	``			中		大	
宅	1 /	フラック(幅)		3 cm =	未満		1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5
地	2 ß	宿没(深さ)		20 cm	1未満		2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6
地	3 7	比下(沈下量)		10 cm	1未満		2	10~25 cm未	:満	4	25 cm以上	7
盤	4 \$	设差(段差量)		20 cm	1未満		3	20~50 cm未	:満	5	50 cm以上	8
	5 ß	隆起(隆起量)		20 cm	1未満		7	20~50 cm未	:満	8	50 cm以上	9
	6 2	勇水、噴砂		☑無	□有→	+1点(上	の点数	対に 1 点加え	る)	pr.p. 10		4.7

解説

変状点は写真・図より、最大沈下量が20cmなので4点となります。 湧水、噴砂は無いので無にチェックをつけます。

					r		ř					
	変形状態のチェック	ク(複数可)	小		中		大					
	1 クラック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3				
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5				
	3 ガリー浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8				
の り	4 滑落・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えぐりなれたようと な状態。放置すると 拡大するおそれのり もの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9				
面・自	5 のり面保護工の (植生工は除く)		例えば、のり枠の間 は、のりとはない。 のりとはないではないですがいたがいですがいですがです。 ではないではないですがいない。 では	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮 上り破壊。の又付エの フリー解が露出している網 とのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	9				
然斜面	6 排水施設の変状		天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7				
Щ	7 のり面内の水道管	等の破裂	破裂して水が流出して	いる。			Vi	8				
	8 湧水、落石・転	石	□無 □有→+1 点(上の	の点数	なに1点加える)							
	被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し 4 点 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1 ~ 3点(当面は防災上問題無し) ・ では、 口は、 口は、 口は、 口ば、 中被害: 4 ~ 7点(制限付き立入。進行していれば避難)											
	危険度判	定	口大 「中 口小	□無	大被害:8~10点(: 実柱 /				
	所見記入者の意見	緊 急 度	口大 🗹中 口/	小	(人命・財産・交	通の	3点を判断基準とする。)				
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	□有 ☑無 □	判断不	「可(備考:)				

【例題-14】 擁壁+宅地地盤パターン(2)

例題-14 (現場写真)

 $\widehat{1}$



①近



2



②近



例題-14 (現場写真)



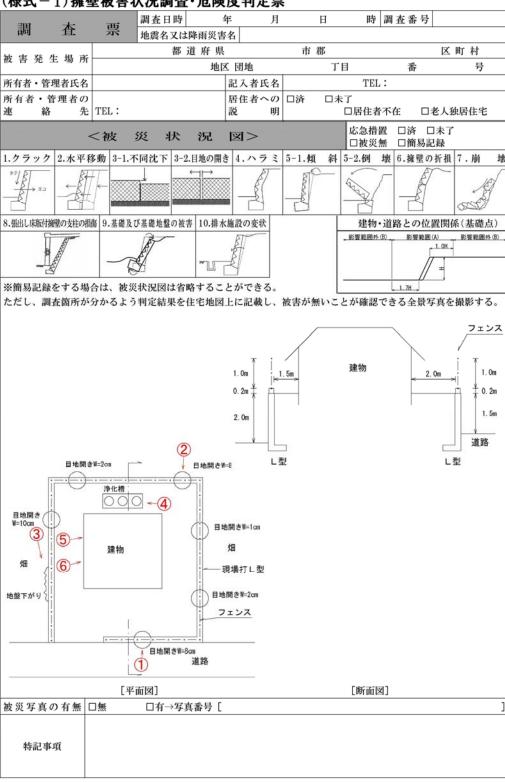






例題-14-1

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票



例題-14-1

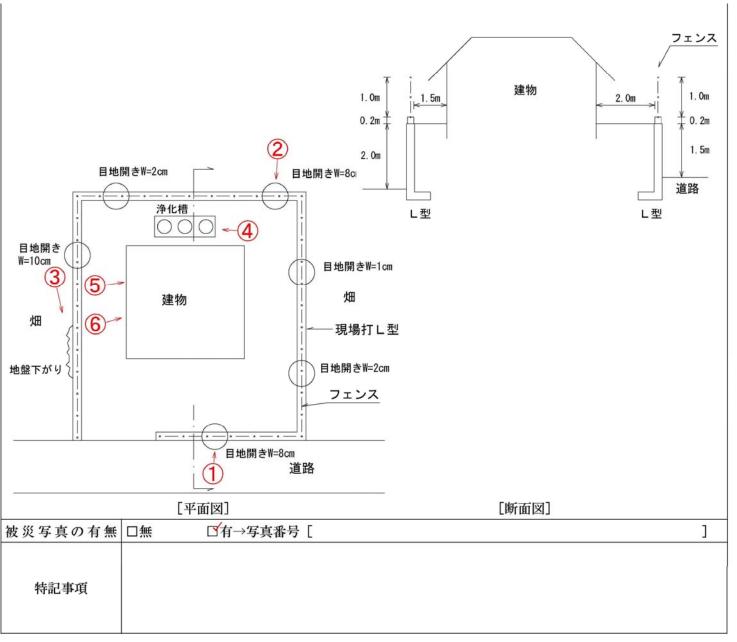
擁壁(L	ロコンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式				□増粉	おみ搾む	É		拼	解 理 注 解 達 解 達 記	36		n	1 増設	高]] m
の基礎的	摘壁の種類		Lenda .	□場所打ち □間地石		プレキャ コンクリー	スト ・トフ [・] ロック	7			建全				:部[·部[]
能的	種	□練石積擦	壁壁	□その他〔]					$\overline{}$	部高		n	n;下	邹高			m
粂	ľ	Ì	ic H čr	□玉石積 □間地石		くずれ	石積			_	出し床根		壁	$\overline{}$	その作		kits 🗆	dela a s	death L. f	⊐ Ab. 1]
件	l	□空石積換	EHE	□その他					1	海壁の)設置	RIT		+-	99工	度		46000	也盤上 [l :	_110	□1799)
	t	•			-				_	野範囲に		たは道路	格がある	5 C	影響範			は道路	がない(B))		
	Γ.		乾燥								0						0					
	l d	D湧水	湿潤	出し、流出							0.4						0.2			-	基礎。	hat.
基	Н			有、天端排水	萬有、 表	面水の)浸透阻	ld:			0.5			+			0			\dashv	金吨/ ①+②	
礎	Q	2排水施設		有、天端は表							0.4						0.2				_	_
	H		水抜孔 H≤1m	<u>無 あっても</u>	数•寸注	たが不	適当	+			0.8			+			0.4			4	l	
点	L		1m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td>_</td><td>- </td></f<>								0.2						0.1				_	-
	(3	3)高さ	3m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>								0.4						0.2					
	L		4m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>								0.6						0.3					
区	-		5m<1	程度			小				0.8		d	þ			0.4		7	-		
分	_	関目		擁壁種類	コンクリ		増積	2 段	張出	空積			増積	2 段	張出	空積	コンクリ		増積	2段	_	空積
		クラック 水平移動			1 2	2 25	3.5	4	5 6	6	25 35	3.5	4.5	5	7	7	4 5	5 5.5	6	7	8	9
変	-	不平移動	目地の開	き	3	3.5	4	5	7	0	4.5	4 5	6	7	9	+	6	7	8	9	10	3
秋形	4	ハラミ				4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
形態と変状	5	.,			5 6	5.5	6	8	9		7	8	8 9	9	10		8	9	10	10	10	
と赤	6				6.5 9	9	10	10	8	<u> </u>	10	10	10	10	9	8	10	10	10	10	10	
状	8	張り出し床板			7						9						10					
点	9	基礎及び基 0 排水施設の		被害			3				_		10				_		7	,		-
		1 擁壁背面の		等破裂									10									
	Ļ	項 クラック幅	<u>小</u> ラックはさ		< 16844	e Lan	- Onu	~20 m		þ			90	以上		7		-				
	ľ	2 2 2 2 2 VIII	クリート系						施壁の	場合	2mm~	-5 mm			系権壁の	場合	5 mm/y	E)				
	Ļ	水平移動	間変位	11 SA 14	z		未満		未満の	NSPR/2	tr.650-28	14.2	50.00	mPJ Le	の隙間3	#:65\-	パたス	-				
		中縮目地前後 中縮	のずれ)		э шшж	Undo Shit	duræ.m	(JIPO)	າລຸ		9 11111	- 90 IIII	DAMMA)	NAME OF THE PERSON	S. DOW	·a)~	30 111	DA.E.	Obstitut?	SCHT/V	rajsi	
変状の		不同沈下・ 目地上下・左			5 mm未 の開き		3地上下 3。	マのず	れ又は	は目地			m未満の開き			のず	目地		の目地の きがあり S			
程度		ハラミ テンションクラック	· ťh. ·	中排(计)	小規模 ~2個		ラミ及び (ちる)	冲抜	け、彼石	5が 1			テンショ のおそ				宅地	地盤に	こテンショ) のおそ			,
大		傾斜・倒壊		112(07)	操墜が	前面均	也盤に対				擁壁	が前面	j地盤(こ対し	垂直以		擁壁	が前	頚・倒均			態を
•	l				ングリー の傾糸		壁の場合	3:天3	# 50 m	□未満		リート系 の傾斜	練壁の い	場合	天端	50 mm	失っ	ている	5もの。			
中		擁壁の折損				-	こわずか	に角	度をな	にして			に明ら	かに	角度を	なし	一見	してナ	くである	と判	るもの	。(コン
小		横・ななめひ り。 はらんでい			いる。	k 32.8	確壁の場	且公方	ら ッカオ	- Hŵ !			け石が とる。(壁の場 5。又は			
の概		ラックを境に鈍					質してい			17014	場合	クラック	を境に				1,24 -		め 後傾して			21-7 DEX
要	<u> </u>	崩壞			由四7	111-12-6	5上が滑	シュナ	いる		いる		して湘	4ってし	١.٨		1986年	か用す	こしてい	がしい		
説明	8	張り出し床	板付擁雪	色の支柱の損			が入って				支柱	のコンク	クリートカ			筋が			硫壞。		u	\neg
	_	§ 基礎及び基	深熱HhARで	油生	十·相構	ナッシャフ	下やクラ:	ック・おろと	t: 1°.7°	いろ	見え	ている	to .									
	_	0 排水施設の	こずれ、				左に	加え抵	産壁のク	フラックこ	又は目	地か	水抜	孔の話	詰り、	破損/	ぶあり	. 排水				
	l		ī、 舗装ī	面にク	ラックカ	見ら	らの	湧水が	ある。				機能	が失れ	つれてい	る。						
	1	1 擁壁背面の	7水道管	等破裂	れる。 破裂し	て水が	が流出し	てい	る。													
	Ī				1	基礎点	+	変	状点	,				☆被	善程 原	どの点	数とん	色険度	判定公	₹		
		被害の	判定値		+	1		1	無	被害	: (д 0	点(防	災上	問題和	無し)						
		基礎点に変状点の	の最大値を	加えた点数				_								は防災	災上間	題無	(人)			
×	(無	被害の場合は基	師・被害が	点の記載無し	₌┌			一点		被害	: 4.5											
							L												ハれは		隹)	
			度判定	-	口大					無	大	被害	8.5						入禁.			Į,
*		・見記入者の意 被害の場合は記		緊 急 度 拡大の見込			<u>-</u>	_		<u>小</u> 判断不	न		(人命 備地		生・交	連の3	点を	中定基準	きとす	ే .)
	-y per			100000			"			1				/m	-							

(様式-1)擁壁被害状況調查・危険度判定票

	≓ ⊞	*	ਜ਼ੜ	調査日時	寺 4	年 月	日	時	調査番号	
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	名				
	始 	. 祖 武		者	『道 府 県		市 郡			区町村
	被害発生	. 场 川			地区	区 団地	,	广 目	番	号
	所有者・管理	ll者氏名				記入者氏名		TEL	:	
	所有者・管 連 絡		TEL:			居住者への説明		未了 □居住者	不在 □	老人独居住宅
写	真・図よ	: 1)	<被	災 状	沈	図>		応急措は□被災		21-10-10-11 D
	1.クラック	2.水平科	多動 3-1.不	同沈下 3	8-2.目地の開き	き 4.ハラミ	5-1.傾 糸	4 5-2.倒	壊 6.擁壁の	折損 7.崩 場
	<i>97</i> → ∃⊐									
	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	傷 9.基礎及び	び基礎地盤の	被害 10.排水	:施設の変状		建物・	道路との位	置関係(基礎点)
	※簡易記録を	さする場	合は、被災	状況図は	*** □ [省略するこ	とができる。		影響範囲外		(A) 影響範囲外(B)
	E 222 5						被害が無いこ			

解説

被災状況図は、写真・図より、目地の開きに○をつけます。 影響範囲は、擁壁上部から建物までが1.5mなのでAとなります。



解説

擁壁タイプは,写 真・図より,プレ キャストL型コン クリート 雑壁とな ります。 プレキャストです

ので、目地の開き が多くなっていま す。

最大で10cmとなっています。

図より

				竺(逆T)型	□重力式		70000000 4007000	增積的紅]
擁		ゼコンクリートラ	交換配字	□もたれ式			□増積み雑壁	擁部分]
壁	مادا	レ ロンクリートラ	付雅至	□その他				全擁護高	m 增額	m
のサ	攤			□場所打ち	ロプレキャスト			上部[]
基礎	あ	□ Ø出了 美手がす	t /	口間地石	□コンクリートブロック		□□段擁壁	下部]
的	擁壁の種類	□練石積雑	芒	□その他]		上部高	m;下部高	m
擁壁の基礎的条件	热			□玉石積	□くずれ石積		□張出し宋版付擁壁	□その他]
件		□空石積瘫	壁	口間地石			擁達の設置条件	□切土・盛士	竟 □軟弱地盤上□他□	不明
				□その他		_]	擁達の公配	度	又は (1:)
						小 影	響範囲に建物または道路がある(A)	□影響範囲に建	勿または道路がない(B)	
			乾燥				(0)		0	
	1)	勇水	湿潤				0.4		0.2	
222	,		にじみ	出し 流出			0.8		0.4	基礎点計
基			水拔孔	f、天端排水溝	有、表面水の浸透阻止		0		0	1+2+3
礎	2	非水施設	水拔孔	f、天端は表面	が浸透しやすい		0.4		0.2	
10年			水拔孔	無 あっても数	• 寸法が不適当	1 - 12 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 1	(0.8)	13,390 F C S (1994) 43,399 11 S A 22 A 222 11 S 11 G 12 C F C F C F C F C F C F C F C F C F C	0.4	1.0
点			H≦1m				- O		0	1.0
			1m <h< td=""><td>≦3m</td><td></td><td>より</td><td>(0.2)</td><td></td><td>0.1</td><td></td></h<>	≦3m		より	(0.2)		0.1	
	3	高さ	3m <h< td=""><td>≦4m</td><td></td><td>L</td><td>0.4</td><td></td><td>0.2</td><td></td></h<>	≦ 4m		L	0.4		0.2	
			4m <h< td=""><td>≦5m</td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td>0.3</td><td></td></h<>	≦ 5m			0.6		0.3	
	5m<			omo coxoste Popeantionepantini in Com			0.8		0.4	

解説

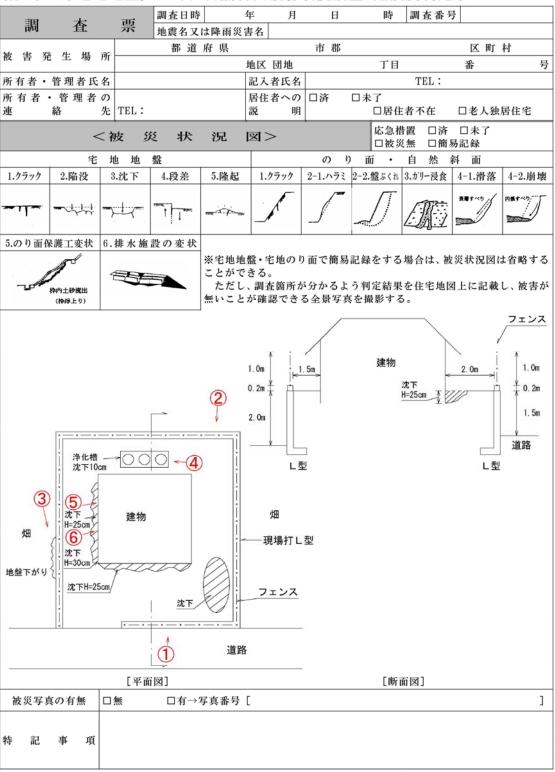
基礎点は、写真・図より、湧水は無いので0点、水抜孔がないので0.8点、 擁壁の高さが2.0mなので0.2点となり、合計は1.0点となります。

区	糠			,	<u>۱</u>					ı	þ					7	大		
努	項目 擁頸類	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積
	1 クラック	1	2	3	4	5		25	35	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変	3 不同沈下・目地の開き	3	35	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
変状	4 ハラミ		45	5	6	8	8		6	7	8	9	9	$\overline{}$	8	9	10	10	10
形	5 傾斜・倒壊	5	55	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
態	6 擁壁の折損	6	65	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
態と変状	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
張	8 張り出し床板付練達の支柱の損傷		_	_		7	$\overline{}$	$\overline{}$				9						10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害					-				1	0								
	10 排水施設の変状				3						5						7		
	11 擁護省面の水道管等破裂									1	0								
	項目/程度			,	小						中					-	†		
	1 クラック(幅)	2 mm	は満のか	ラックは	あるが、	機能上	の支障	2mn	1~20 m	味満			<u> </u>	1 		N/I	L	11	
					診り場合				か 小系		場合2n	ım~5ı	与	'真	. •	凶	4	1)	
	2 水平移動				かある				~50 mm				w .	T 00 mm	-//-	24114	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		┚
	(伸縮目地前後のずれ)																		
変状	3 不同沈下・目地の開き	5 mm未満の目地上下のずれ又は目地の開 5 mm~50 mm未満の目地の上下のずれ又 50 mm头上の目 きがある。 は目地の開きがある。 切開きがあり、																	
	(目地上下・左右の開き)	きが	ある。					は	地の류	きがあ	る。				きがあ	り、滑頭	L 転倒	のおそれ	れが有
の程														So that the state of the state					
度	4 ハラミ	小規模のハラミ及び中抜け積石が 1~2 個抜け落ちる)												宅地地盤でテンションクラック有り					
	テンションクラック・ずれ・中抜け	個規力落ちる) 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのお																	
大	5 傾斜・倒壊									が前傾・倒壊してその機能を失っ るもの。			を失っ						
•		卜系纲	難の場	台:天	端50 ㎜	未満の	傾斜		系練單	の場合	大端	50 mm以	上の傾	てい	るもの	•			
中	e latite platit	2	A hat been a little to the feet of a little to the little								Walza o (a) ML								
小	6 操墜の折損	クラックを境にわずかに角度をなしてい クラックを境に明らかに角度をなしてお は ス																	
の	(横・ななめひびわれから起きるもの。は らんでいるが抽稿的でなく、クラックを境								り、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。ロンクリート系練達の場合クラックを境										
概	に鈍角に折れている)			がる。		77 飞坊	W479		方に傾				グで現		いる。)		SHAIM	331-00	71交岐
要説	7 崩壊				かない	<u>ス</u>		_	宮を残						を果た		430		-
祝	8 張り出し床板付縮壁の支柱の損傷			が入って		3 /0		_					が見え	-	の剪り		5.4 0		-
199	6 派り山〇木秋川飛至り又江り月前	XIII	200%	rico	. V "Jo			てい		9 1.73	1200740	CROOK	ハーりじん	XIII	y J S S S S II	1000			
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規	真なかか	下やクラ	ックが生	じてい	5.	1 4	200										
	10 排水施設の変状				欠批			左 17	加え拗	壁のケ	ラックマ	は目曲	からの	水抹	孔の詰	生り、在	開がす	り、担	水機能
	10 19974/1900				ンクラック				がある		///~	(SLIVE)	v .)v)		われて		4547 07	7 1912	14)xaic
	11 擁轄面の水道管等破裂				ている			1004		50									
	The state of the s		基礎			変状点	į				☆;	被害程	度の点	数と危	56年	判定☆			
		Г			Ē														
	地宝の 地やは	1.0 + 6.0 無被害: 0 点(防災上問題無し)																	
	被害の判定値	L			Ц	1000		小	被害	: 1 -	~4.5 1	点未清	葛(当 ī	面は閉	5災上	問題	無し)		
	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し			_			_								. ,		/		
	ANNUALLY PROLITORISE TO THE TOTAL ALLICENCE			=	7	7.0 中被害 4.5 点~8.5 点未満 点 (特別は はまかま) (特別は はまかま) (特別は はまかま) (特別は													
				- L		•0	, K	"		(制)	限付き	き立入	、進	行して	ていれ	ば避	難)		
	危険度判定		7 6	(中	口小		無	一大	被害	: 8.5	点~(危険、	要避	難、	立入	禁止)			
	所見記入者の意見 緊急度	口大			中		小				, Ja	☆・ B/a	産・交通	節 3占	を判定	基準と	する。)
:	※無破害の場合は記載無し 拡大の見込み	☑有			無		判断不	जा				中 第 5		Table Wil	- 1 WE	171.0	/ 0/0)
	*VINIALIVAMENTALINAMO IMAVVAILLYA	- II			1111		LASEL,	-1		- 3	VIII.	., .							1

解説 変状点は,目地の開 を10cmなののののののののののののののののののののののののののののののののでは、 1.0点が、なったののでは、 7.0点ののののでは、 7.0点のののでは、 なりますの見いののでは、 なります。

例題-14-2

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票



例題-14-2

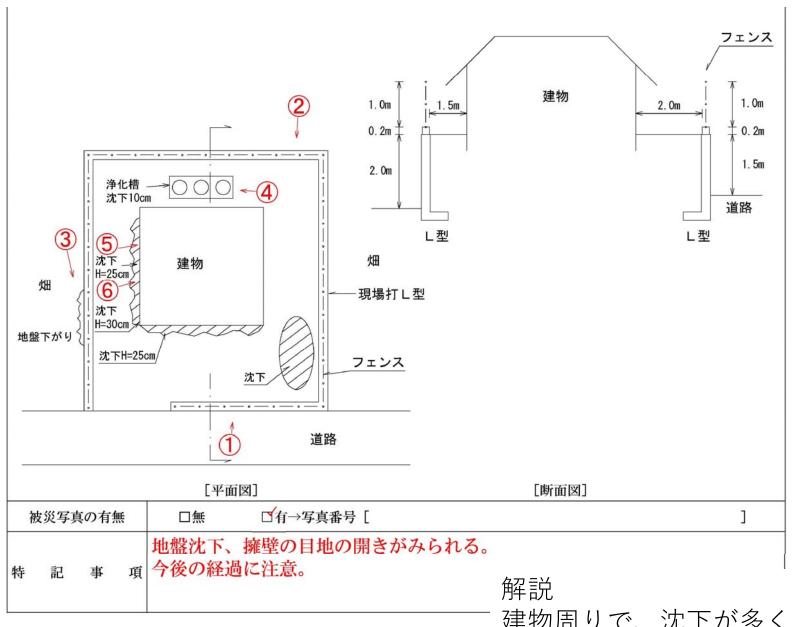
	5 6 7 8 9
上 砂	5 6 7 8 9
接壁配置	5 6 7 8 9
接撃配置	5 6 7 8 9
のり長さ m 家屋の有無 上部 □有 □無 : 下部 □有 □	5 6 7 8 9
変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満 1 3~15cm 未満又は 複数 3 15cm 以上又は全面 複数 2 陥没(深さ) 20 cm未満 2 20~50 cm未満 4 50 cm以上 3 沈下(沈下量) 10 cm未満 2 10~25 cm未満 4 25 cm以上 4 段差(段差量) 20 cm未満 3 20~50 cm未満 5 50 cm以上 5 隆起(隆起量) 20 cm未満 7 20~50 cm未満 8 50 cm以上 6 湧水、噴砂 口無 口有→+1点(上の点数に1点加える) 変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害がに、アの基礎やのり面等	5 6 7 8 9
変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満 1 3~15cm 未満又は 複数 3 15cm 以上又は全面 複数 2 陥没(深さ) 20 cm未満 2 20~50 cm未満 4 50 cm以上 3 沈下(沈下量) 10 cm未満 2 10~25 cm未満 4 25 cm以上 4 段差(段差量) 20 cm未満 3 20~50 cm未満 5 50 cm以上 5 隆起(隆起量) 20 cm未満 7 20~50 cm未満 8 50 cm以上 6 湧水、噴砂 口無 口有→+1点(上の点数に1点加える) 変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広 7 の基礎やのり面等	6 7 8 9 9 5 5 7 8 7 8
名 1 クラック(幅) 3 cm未満 1 3~15cm 未満又は 複数 3 15cm 以上又は全面 複数 2 路没(深さ) 20 cm未満 2 20~50 cm未満 4 50 cm以上 3 沈下(沈下量) 10 cm未満 2 10~25 cm未満 4 25 cm以上 4 段差(段差量) 20 cm未満 3 20~50 cm未満 5 50 cm以上 5 隆起(隆起量) 20 cm未満 7 20~50 cm未満 8 50 cm以上 6 湧水、噴砂 口無 口有→+1点(上の点数に1点加える) 変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数の cm未満又は全面数数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた 6 に陥没するなど放置していると被害が広 7 の基礎やのり面等	6 7 8 9 9 5 5 7 8 7 8
空 1 クフタク(幅) 3 cm未満 1 複数 3 l3cm以上又は全面 地 2 20~50 cm未満 4 50 cm以上 地 3 次下(沈下量) 10 cm未満 2 10~25 cm未満 4 25 cm以上 4 段差(段差量) 20 cm未満 3 20~50 cm未満 5 50 cm以上 5 隆起(隆起量) 20 cm未満 7 20~50 cm未満 8 50 cm以上 6 湧水、噴砂 口無 口有→+1点(上の点数に1点加える) 変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨満による浸食が現れはじめた のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広りーが進展して家の基礎やのり面等	6 7 8 9 9 5 5 7 8 7 8
担	7 8 9 9
整 4 段差(段差量) 20 cm未満 3 20~50 cm未満 5 50 cm以上 5 隆起(隆起量) 20 cm未満 7 20~50 cm未満 8 50 cm以上 6 湧水、噴砂 □無 □有→+1点(上の点数に1点加える) 変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた に陥没するなど放置に陥没するなど放置に陥没するなど放置していると被害が広 7 の基礎やのり面等	8 9 9
盤 4 段差(段差量) 20 cm未満 3 20~50 cm未満 5 50 cm以上 5 隆起(隆起量) 20 cm未満 7 20~50 cm未満 8 50 cm以上 6 湧水、噴砂 □無 □有→+1点(上の点数に1点加える) 少ラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広 7 の基礎やのり面等	3 5
5 隆起(隆起量) 20 cm未満 7 20~50 cm未満 8 50 cm以上 6 湧水、噴砂 □無 □有→+1点(上の点数に1点加える) 変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた 6 していると被害が広 7 の基礎やのり面等	3 5
変形状態のチェック(複数可) 小 中 大 1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広 7 の基礎やのり面等	5
1 クラック(幅) 3 cm未満又は単数 1 3~15 cm未満又は複数 2 15 cm以上又は全面数 2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置り一が進展して家の基礎やのり面等 10 cm 以上	5
2 ハラミ(隆起量) 10 cm未満 3 10~30 cm未満 4 30 cm以上 3 ガリー浸食 クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた。6 していると被害が広。7 の基礎やのり面等。	5
3 ガリー浸食 クラックなどが誘因 のり面の表土が雨裂 はなって雨滴による に陥没するなど放置 リーが進展して家 浸食が現れはじめた 6 していると被害が広 7 の基礎やのり面等	<i>Ť</i>
となって雨滴による に陥没するなど放置 リーが進展して家. 浸食が現れはじめた 6 していると被害が広 7 の基礎やのり面等	<u> </u>
の。は、ような状態。	
4 滑落・崩壊 部分的な表層すべり、又はのり面上部の小崩壊。 表層すべりが進んでえぐり取られたような状態。放置すると拡大するおそれのあるもの、又はのり面中部までの崩壊。 を面的なすべり崩れるすべり崩れる。	\$ a
面 5 のり面保護工の変状 (植生工は除く) 例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はコンクリート吹付工にわずかにテンションクラックが見られるが吹付工のずれは認められない程度。 例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のウラック部分で陥り、ずれが見受けられるがないで、では、では、のり枠の部分的な破損。とはコンクリート吹付工のシャブが見られる。 8 を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を	9
然 6 排水施設の変状 天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天衛背面、舗装面にクラック、又は目地がらの湧水がある。 方ックが見られる。 本に加え、のり面のクラック、又は目地がらの湧水がある。 排水溝が破断沈下るなど、排水機能がある。	
面 7 のり面内の水道管等の破裂 破裂して水が流出している。	8
8 湧水、落石・転石 □無 □有→+1 点(上の点数に 1 点加える)	
被害の判定値 ※基礎点で変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	避難)
大被害:8~10点(危険、要避難、立入禁止)	\dashv
│ │ │ ○ │ ○ │ ○ │ ○ │ ○ │ ○ │ ○ │ ○ │ │ ○ │ │ ○ │ │ │ │ │ ○ │ │ │ ○ │ │ │ ○ │ │ │ ○ │ │ │ ○ │ │ ○ │ │ ○ │ │ ○ │ │ ○ │ │ ○ │ │ ○ │ │ ○ │ │ ○	5。) I

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

स्तर		-	н і	調査日時		年	月	日	時	調査番号	1	
調	査	<u> </u>	票	地震名又	は降雨災	害名						
*** 	色 生 場	= C		都 道	府 県			市 郡			区町	村
被害系	色 生 場	所一				地区	団地		丁目		番	号
所有者•	管理者氏	名				記入	者氏名			TEL:		
所有者	• 管理者	の				居住	者への	口済	口未了			
連	絡	先 TI	EL:			説	明		□居住	者不在	口老人独	居住宅
写真・[図より	<被	绞	火	況	図	>		応急措□被災			
	宅	地	地力	監				のり	面•	自然	斜面	
1.クラック	2.陥没	3.沈	下	4.段差	5.隆起	1.	クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
					man of the same				\mathcal{J}		表層すべり	円 載す べり/
5.のり面色	呆護工変状	6.排	水施言	費の変状		No.						
-	枠内土砂流出 (枠浮上り)				ことがで ただし	きる 、調	。 査箇所か	ぶ分かるよ	記録をする う判定結果 『を撮影する	を住宅地図		

解説

被災状況図は、写真・図より、宅地地盤の沈下に〇をつけます。



建物周りで、沈下が多く、 最大で30cmとなっています。

	土 砂 □砂質土□礫質土□粘性土□不明 排水施設 □無 □有(のり肩、小段排水) 切面高 最大高 m(平均高 m) のり面保護工 □無 □植生土 □構造物 □のり面は擁壁高含) (うち擁壁高 m) 「値を記 □のり面の上部 □のり面の中部 □のり面の下部 □全面 □のり面の下部 □全面 □のり面の下部 □全面 □のり面の下部 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □												
14h 4	 地盤 土砂 □砂質土□礫質土□粘性土□不明 が放設 □無 □有(のり肩、小段排水) □無 □植生土 □構造物 (複合のり面は擁壁高含) (うち擁壁高 所) 放音のり面の上部 □のり面の上部 □のり面の中部 □のり面の下部 □全面 												
地位	世盤 岩 □軟岩 □硬岩 □不明 オーバーハンク 土 砂 □砂質土□礫質土□粘性土□不明 排水施設 のり面高 最大高 m(平均高 m) のり面保護工 (うち擁壁高 m)			k施設	□無 ☑	(有(のり	肩、小段排水)						
0	地盤 岩 □軟岩 □硬岩 □不明 オーバーハング □無 □有 土 砂 □砂質土□礫質土□粘性土□不明 排水施設 □無 ▽有(のり肩、小科のり面高 複大高 m(平均高 m) のり面保護工 □無 □植生土 □構造 (うち練壁高 m) 接壁配置 □のり面の上部 □のり面の下部 □のりをさ m 家屋の有無 上部 □有 □無 : 写真・図より 変 状 形 態 と 配 点 表 変形状態のチェック(複数可) 小 中 1 クラック(幅) 3 cm未満 1 3~15cm 未満又は 複数 3 15cm を 2 陥没(深さ) 20 cm未満 2 20~50 cm未満 4 50 cm 上 数 3 沈下(沈下量) 10 cm未満 2 10~25 cm未満 4 25 cm 上 数 4 段差(段差量) 20 cm未満 3 20~50 cm未満 5 50 cm 上 数 2 20~50 cm 未満 5 cm 上 数 2 20~50 cm 未満 5 50 cm 上 数 2 20~50 cm 未満 5 50 cm 上 数 2 20~50 cm 未満 5 cm 上 数 2 20~50 cm			□構造物									
(複名	合のり面は掘	雍壁高含)	(うち擁	壁高			m)		黑证金	□のり面	面の上部	□のり面の中部	
の	の面勾配				度		-7:	19年生	5. O. C.	□のり面	面の下部	□全面	
の	-				m			家屋	屋の有無	上部	□有 □無	無 : 下部 口有 口	無
	写真	真・図よ	<i>! !!</i>		変	状 形	態	٤	配点	. 表			
	変形状態	態のチェッ	ク(複数ロ	寸)		小				中		大	
宅	1 クラ	ラック(幅)			3 cm未満			1	Control Control	満又は	3	15cm 以上又は全面	5
地	2 陥	殳(深さ)			20 cm未満			2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6
地	3 沈	下(沈下量)			10 cm未満	9		2	10~25 cm未	:満	4	25 cm以上	7
盤	4 段差	差(段差量)			20 cm未満			3	20~50 cm未	:満	5	50 cm以上	8
1111K	5 隆起	记(隆起量)			20 cm未満			7	20~50 cm未	:満	8	50 cm以上	9
	6 湧フ	水、噴砂			ば無 □	有→+1,	点(上	の点数	枚に1点加え	る)			•

解説

変状点は、写真・図より、最大沈下量30cmなので7点となります。 湧水・噴砂は無いので無にチェックをつけます。

	変形状態のチェック	ク(複数可)	小		中		大			
	1 クラック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3		
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5		
	3 ガリー浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8		
o n	4 滑落・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのり面 もの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9		
面・自	5 のり面保護工の (植生工は除く	P	例えば、のり枠の間 詰め陥りとはコン クリート吹付エにわ ずかにテンションク ラックが見られるが 吹付工のずまれる られない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリートで露出し、コンクリートで露出し、コンクリートの損が見受けられる。	9		
然斜面	6 排水施設の変状		天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7		
Щ	7 のり面内の水道管	等の破裂	破裂して水が流出して	いる。				8		
	8 湧水、落石・転	:石	□無 □有→+1 点(上の	D点数	に 1 点加える)					
	被害の判除 ※ 基礎点に変状点の最大値 ※ 無被害の場合は基礎・ 複	を加えた点数	7	点	無被害: 0 点(0)	披害程度の点数と危険度判定☆ 点(防災上問題無し) ・3点(当面は防災上問題無し)				
	危険度半	l定	口大 口小 口無 中被害: 4 ~ 7点(制限付き立入。進行していれば避り 大被害: 8 ~ 10点(危険、要避難、立入禁止)							
	所見記入者の意見	緊 急 度	☑大 □中 □/	 	(人命・財産・交	通の	3点を判断基準とする。)		
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	見込 ☑有 □無 □判断不可 (備考:							

解説 判定値は沈下量 の7点となり, 中被害となりま す。 この場合は,宅 地地盤の方が判 定値がわずかに 大きくなりまし た。 緊急度大, 拡大 の見込み有とな ります。

【例題-15】 擁壁+宅地地盤パターン(3)

例題-15 (現場写真)









例題-15-1

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

(1)		2100 10 10	調査日		年	11/	月		1	nta	#⊞ :	查番号			
調査	:	票		叶 又は降雨災			Л		_	h4.	(A)(1)	正 併 与	'		
				都道府				市君	v				12,	町村	
被害発生場	所				地区 団	A tob		111 41	11	=		番	<u> </u>	号	
京大老、徳田老 !	T. b			Я	_		lt		1 1			毌		7	
所有者・管理者」 所有者・管理者	$\overline{}$				_	入者氏 住者へ	_	□ 35°	П±	TEI	٠.				
所有石・官理4 連 絡		TEL:			説		明	山研	口未	□居住者	不在	E C]老人狐	虫居住?	Ė
	<	<被	災丬	犬 況	区	1>						□済 □簡易			
1.クラック 2.水	平移	動 3-1.7	「同沈下	3-2.目地の	開き 4	.ハラ	11	5-1.傾	斜	5-2.倒	-			7.崩	壊
\$7 B3	R. T.			← →	_			- Comment			_	-	7	0434	
8.張出し床版付擁壁の支	柱の損傷	9.基礎及7	び基礎地盤	の被害 10.排	上水施設	の変状		-	T	建物	道器	各との位	7置関係	系(基礎	点)
	=			-	B					- 影響範囲外		影響範囲		影響範囲	-
※簡易記録をする ただし、調査簡素									L			1.7H			_
① 3 建物	道路	10n	5 5	管破裂		首			34	√		空石積	5m	5m	建物
		[平	面図]							[断面]	図]				
被災写真の有	無口	無	□有一	>写真番号	[]
特記事項															

例題-15-1

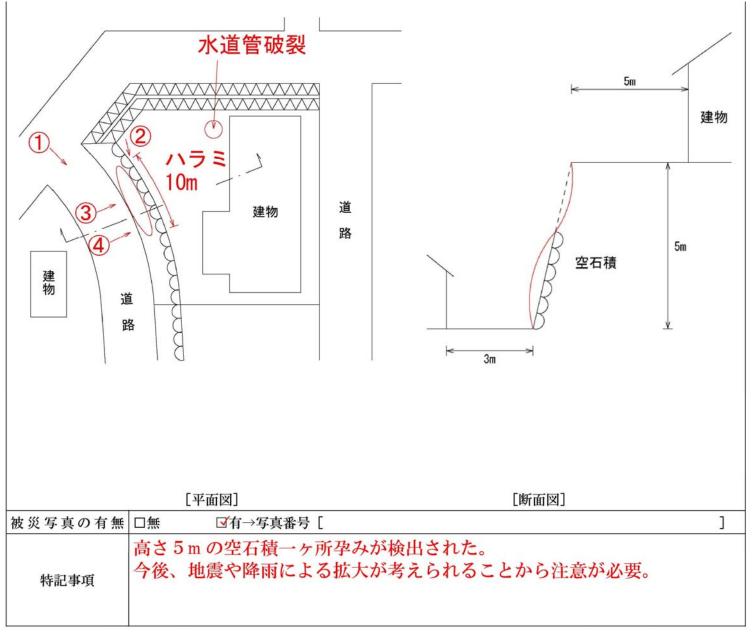
擁壁	ماسد	□コンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式				□増移	故權	隆		拼	特殊部分 健全部分 と練生で) [m	増設	高]] m		
のサ	擁壁の			□場所打ち		ブレキャ	·자							1	部[]		
基礎	あ	□練石積換	sB&	□間地石	□:	コンクリー	ートブロッ	ク			建解			1]略?]			
礎的	種類	□ 1994 1 0 1994 1994	EDE	□その他]					$\overline{}$	部高		m	1;下音	高			m		
条	7.00			□玉石積		くずれ	石積				出し床店		壁		その何		-	44.77.44	en. 1 .		- Frank]		
件		□空石積額	E 456	□間地石 □その他[7	雑壁の	D設置	紀件			3切土	2000	<u>唆 □</u> 又は	軟弱地 (1	盤上し	□他□	□不明)		
\vdash				口ての他					_	砂田に		(24) - 34D	かよくち 2		IR/SIGNAS			よ道路か	·			,		
	_		乾燥					\dashv	山泉/名	SALTIDIC.	<u>理物ま</u> ()	たいより姓の	an an	, _	原/齊甲	囲に建	0	の見解が	VACV (D)	٦.				
	1	湧水	湿潤								0.4						0.2							
			にじみ	出し、流出							0.8						0.4				基礎。	点計		
基			水抜孔	有、天端排水	游有、表	面水	D浸透	肚			0						0				1+2	+3		
礎	2	排水施設		有、天端は表				·			0.4						0.2				_	_		
	_		水抜孔 H≤ln	無、あっても	数・寸泡	去が不	適当	\rightarrow			0.8			+			0.4			4	ı			
点			lm <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>_ </td></f<>								0.2						0.1					_		
	(3)	高さ	3m <i< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></i<>								0.4						0.2							
	-	1140		H≦5m							0.6						0.3							
			5m <f< td=""><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>	1							0.8						0.4							
区	-			程度			小		I	Lace				þ					7		I	Lacin		
分	項		-	擁壁種類	コンクリ	練積	増積 3	2段	張出	空積	コンクリ 25	練積 3.5	増積4	2 段 5	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積		
		クラック 水平移動			2	25	3,5	4	6	6	3.5	3.5	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9		
変状	_	不同沈下・	目地の開	語	3	3.5	4	5	7	Ť.	4.5	5	6	7	9	/	6	7	8	9	10	Ľ,		
状形	$\overline{}$					4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9	/	8	9	10	10	10		
態	_	傾斜・倒壊			5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10	Λ	8	9	10	10	10	7		
ع	$\overline{}$	擁壁の折損			6	6.5	7	8	9	\rightarrow	7	8	9	9	10	\rightarrow	8	9	10	10	10			
変	8	崩壊 張り出し床板	Luidette ov	- Indian and the second		9	9	10	10	- 8	\rightarrow	10	10	10	10 9	9	1	10	10	10	10	10		
状点	9	基礎及び基													э						10	\rightarrow		
,mc	_	排水施設の		ZIKE			3			10									7	7				
	11	擁壁背面の											10							t				
	,		日/程度 6	į.	小 2 mm未満のクラックはあるが、						ф : 1844 I m 20 — 1446													
	ī	クラック(帳	v											場合	20 mm以上 場合 2mm~5 mm (コンクリート系操業の					場合	5 mmPa	(H)		
					未満)。		// 17	1100	100°-C-1	2 340	未満		OF IL	- #4 LI	24340	-	()	/ 1//	OK.		一			
		水平移動			5 mm未	満の防	調要	立)がお	58.	る。 5 mm~50 mm未満の関					変位)が	ある	50 m	以上の	隙間逐	变位)太	ぶある			
変				明念	5 mm#	が抜かり	目地上	下のぎ	th W	- FF ##+	5 mm~50 mm未満のF				<i>o</i>	のギ	50 m	以上の) El #h/	カトモ	のぎ	n TIN		
状		地上下・左右			の開き		_	1009	10,210	中地	5 mm~50 mm未満の れ又は目地の開きか					0) 9		の開き						
の																	それ	が有る						
程度	-	ハラミ		LHON			ラミ及び	び中抜	け、積石	5が 1				ンクタッ				地盤に)		
		ンションクラック 傾斜・倒壊		甲抜け			<u>すちる)</u> 地盤に	h+1 an	(南) リコ	5 (-1				れ無し		L		すべり が前個				新金か		
大	,	19884 - 121200					壁の場							場合				か回る ている		RUC	-C 076	SCHEAS.		
中					の傾斜							の傾斜												
.4.		擦壁の折損		a doubt or a	1 1 1 1 1	を境に	こわずた	いに角	度をな	さして				かに				して大						
小		貴・ななめひ 。はらんでい			いる。	トト系	擁壁の	場合ケ	ラックカ	・1億に				ふり、 コンクリ・				ト系擁護 ている						
の概		ラックを境に鈍					頃してい							前方				あり後				r 314 HEX		
要											いる													
脱	7	崩壊	HE / HAVE	どの支柱の損	4-13-15		ら上が	e						うてい		65.45	6.13	を果たの前医	Sect. Page	ない				
明	傷		(IXI) IME	医の文性の限	XIEN	-0.07	か人つ	(v . 2)	0			ている		呼ばが	a c c spc	нии	,32.12	の興助	MX-980					
	9	基礎及び基	礎地盤の	D被害	大規模	な沈	下やクラ	ックがく	生じて	いる。	,,,,,													
	10	排水施設の	D変状				こずれ、							ラック .	又は目	地か		孔の詰			びあり	、排水		
					は、天 れる。	端背面	6、舗装	面にク	ラックカ	5見ら	50	湧水が	ある。				機能	が失わ	れてい	る。				
	11	擁壁背面 の	7水道管	等破裂		て水	が流出	してい	る。															
						基礎点			状点					☆被領	害程度	の点	数と允	強度	判定√	7				
					ΙГ		٦ ₊	Г		7	l feet	被害		0 ,	与/形形	85 I-F	19.19.4	#£1.\						
			判定值		ΙL		┙╵	L		┚									t L BE	t met A	- 1 \			
		随点に変状点の はなっぱんいな																は防災	上面	超#	(し)			
*	無形	技書の場合は基	隠・仮香/	点の記載無し		_	₌┌			中被害:4.5点~8.5点未満														
						-				点	1		(制	限付	き立.	入、i	進行し	してい	いれは	選業	≨)			
		危険用	度判定		口大]中		\ [無	大	被害	: 8.5	点~	(危険	、要	避難	、立	入禁.	止)				
		見記入者の意	(見)	緊急度	度 🗆 大 🗆 中 🗆 小 (人命・財産・交通の3点を判定基準とする。)												
*	無被	技害の場合は記 続	検無し	拡大の見込	□有			無		判断不	ज		(備者	き:)		

(様式-1)擁壁被害状況調查·危険度判定票

	≓æ	*	नाई	調査日時	自	月		日	時	調	査 番	号		
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	名								
	₩ ₩ ₹ ₹			都	道府県		市	郡				区	町村	f
	被害発生	上场 川			地区	団地		1	目		番			号
	所有者・管理	理者氏名				記入者氏名			TEL	:				
	所有者・管	理者の				居住者への	口済	ロオ	行					
	連 絡	先	TEL:			説 明			□居住者	不在	E	口老人?	虫居住	宅
_		1 / 1	- 2 112 -	<<< \1\fr	<u> </u>	ज्य >			応急措置	置	□済	口未了	•	
-7	写真・図	より	〈被 〕	災 状	況	図>			□被災纬	#	□簡』	易記録		
	1.クラック	2.水平移	多動 3-1.不	同沈下 3-	-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.化	頁 斜	5-2.倒	壊	6.擁星	達の折損	7. 崩	崩 壊
	97	← BH			$\overset{\leftarrow}{\longmapsto}$	A A	RÍ		£ /	$\overline{}$	ı		ž.	18
	33												W.	
	a media defeatifu	mb - 1.15 - 191			1 1 10 111 1	11 411 - 45 15		ī						
	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	易 9.基礎及で	び基礎地盤の被	g害 10.排水	施設の変状		L	建物•	道路	各との	位置関	系(基	礎点)
	l fi	ET -		P					影響範囲外	(B)	影響	範囲(A) 1.0H_	影響筆	范囲外(B) →
				A/	2897 1) 17	21						//		
		7		, 7 :								// =		
	※簡易記録	をする場合	合は、被災	状況図は省	省略すること	とができる。			*0	Ĺ	1. 7H 🗼			
	ただし、調	査箇所が会	分かるよう	判定結果を	住宅地図	上に記載し、	被害が	無いこ	とが確認	でき	る全地	景写真を	撮影	する。

解説

被災状況図は、写真・図より、ハラミに〇をつけます。 影響範囲は、擁壁の下部が建物まで3mなのでAとなります。



瘫壁		□コンクリートラ	科 維達	□Li逆T)型 □もたれ式 □その他	□重力式		□増積み雑壁		して対します。 しの効果を	内に がある為、]] m
	擁壁の種類	□練石積糴		□場がち	□プレキャスト □ロンクリートブロック	1		天端状	代況で判録]
的 条	類			□その他	 □くずれ石積				上部高 □その他	m;下部高	<u>m</u>
件		□ 空石積瘫	達	₫間地石			擁壁の設置条件		□切土・盛土均	竟 □軟弱地盤上□他□	
				口その他]	擁壁の勾配		度 万	ひは (1:)
					-	区域	範囲に建物性だは道	節めある(A) /	□影響範囲で建物	または道路がない(B)	
			乾燥		<i></i>	コ古ト	<i>l</i>) 0			0	
	1	勇水	湿潤			写真よ	0.4			0.2	
			にじみ	出し 流出			0.8			0.4	基礎点計
基			水拔孔	有、天端排水溝	まま 表面水の浸透阻止		0			0	(1)+(2)+(3)
一礎	2	排水施設	水拔孔	有、天端は表面	kが浸透しやすい		0.4			0.2	
促			水拔孔	無 あっても数	• 寸法が不適当		0.8			0.4	1.0
点			H≦lm				0			0	1.0
			1 m< H	≦ 3m		図よ	02			0.1	
	(3)	高さ	3 m< H	≦ 4 m			0.4			0.2	
			4 m< H	≦ 5m			0.6			0.3	
			5 m< H				0.8			0.4	
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-t ı	٦.			-L		l r.	•

解説

基礎点は写真・図より、湧水は無いので0点、天端状況が砂利敷きで水が浸透しやすいため0.4点、擁壁の高さは5mなので0.6点で、合計1.0点となります。

	**** ***																		
\	程度				1						þ						大		
	項目 擁護種類		練積		2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積		張出	空積	コンクリ		増積		張出	空積
_	1 クラック	1	2	3	4	5	\rightarrow	25	3.5	4	5	7	_	4	5	6	7	8	\rightarrow
	2 水平移動	2	25	35	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
7.5	3 不司沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7	\rightarrow	4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
状	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9	\geq	8	9	10	10	10
能	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8	\searrow	7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
C -	6 擁達の折損	6	6.5	7	8	9	Δ	7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	\geq
変	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
	8 張り出し末辰計雑堂の支柱の損傷					7						9						10	\rightarrow
_	9 基準及び基準地盤の被害				0			_		1									\dashv
	10 排水施設の変状				3						5		┦ .	与耳	直	• 🛭	긴 난	- 1)	Н
_	11 擁壁背面の水道管等破裂				rls			т —		1				J >	_	12	의 O	• /	Н
F	項目/程度 1 クラック幅	0+	- 注: の h		<u>小</u> あるが、	HANN L	Λ Httle	3	~20 mm		中			200,000	.nt L	-	^		_4
	1 クラック(物質)				めるかく きの場合						担 公分	ım∼5∎	m士>学)	20 mm以上 (コンクリート系練達の場合 5 mm以上)					
	2 水平移動				かある		(IPU)	_				分があ		50 mm以上の隙間変位がある					
	(伸縮目地前後のずれ)	o mmor	시타아가의	NEWSCO	שלים מון	10		"	90 шш	14IND A	MDIX.	DIJA U	J	50 回版人工文列和日本文目2777-075					
	3 不同沈下・目地の開き	5 mm	未満のE	地上丁	うのずれ	又は目	地の開	5 mm	~50 mi	未満の	日地の	上下の	ずれ又	50 m	以上の	目地の	上下の	ずれ又に	は目地
状1	(目地上下・左右の開き)	きがは				,			地の開				, , , , ,	の開きがあり、滑動、転倒のおそれ					
の														る。					
DEC.	4 ハラミ	小規	莫のハ	ラミ及び	冲拔	(積石)	jš 1 ~ 2	宅地	地盤に	テンション	ノクラック	無し		宅心理器にテンションクラック有り いいすべりのおそれ有り					
	(テンションクラック・ずれ・中抜け)		落ちる					,,,	すべり										
大	5 何斜・倒壊				儿垂直							直以上。		掘壁が前傾・倒壊してその機能を失					と失っ
		ト系練造の場合:天端50㎜未満の傾斜							系擁匿	の場合	天端	50 mm以	上の傾	ているもの。					
中一		カニックを持つわざんにぬ座をわしてい							h 2- 10-61	-nn>.	2.1-2	do de de la							
	6 擁壁の折損 (横・ななめひびわれから起きるもの。は	クラックを境にわずかに角度をなしてい										度をなり							
O I	らんでいるが抽線的でなく、クラックを境	る。	11-1-1-12-1	が存むし	易合クラン	ったた合	az tot					ロンクリー 品クラッ							
概	に鈍角に折れている)			でいる。		// C19C	<i>1</i> 179		方に傾				アで現		いる。)		33M/MX	tura)	/12/19(
	7 崩壊				ってい	る。			部を残					_	を果た		کار کہ		\neg
脱上	8 張り出し床板付練達の支柱の損傷			が入って		<u> </u>		_				て鉄筋	が見え	_	の剪卵		J		\neg
.91			_0 0	,,,,,				てい		, ,,,			. , , ,						
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規	英な沈	下やクラジ	ククが生	じている	5.							•					\neg
	10 排水施設の変状	天端	非水溝	こずれ	欠損が	ある。	又は、	1.5	71 L	. 11	Z)	は目地	からの	水抜	孔の詰	まり、砂	損がも	り、排	水機能
					ニクラック フ		る。] 2	』よ	、り				が失	われて	/る。			
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂し		-				<u> </u>											
		破裂して水が流出している。 基礎点 + 変状点							☆被害程度の						過度	镇定☆			
			1.0		_ I	100		1000	被害	. () 点	((防災	問引	頭無孔	Δ				
	被害の判定値	1.0 + 10.0													•				
	※基礎点に変状点の最大値を加えた点数								小被害: 1 ~4.5 点未満(当面は防災							問題	無し)		
3	※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	,						中被害:4.5 点~8.5 点未満											
									点 (制限付き立入、進行していれば避難)										
				L				بسل									天庄/		
	危険度判定	☑入	; <u> </u>]中	口小		無	大	被害	3.5	点~(危険、	要選	難、	立入	禁止)			
	所見記入者の意見 緊急度	世大			中		小			(人	命・財経	E·交通	1003点	を判定	基準と,	する。)
×	無被害の場合は記載無し拡大の見込み				無		判断不	म्		(備	考:)

解説

変状点は,写真・図 より,円弧滑りのお それがあり**10**点とな ります。

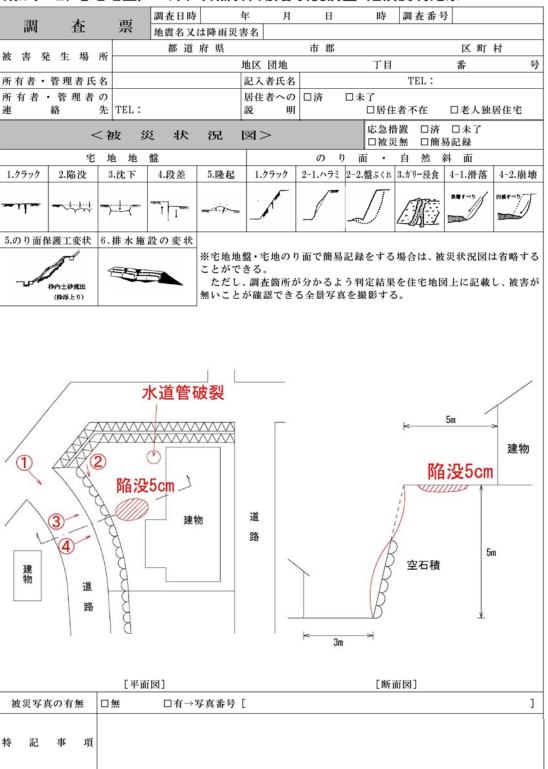
水道管破裂があるの で○をつけます。 したがって,基礎点 が**1.0**点,変状点が

10.0点となるため,合計11.0点の大被害となります。

緊急度大,拡大の見込み有となります。

例題-15-2

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票



解説 次に、宅地地盤 でも判定してみ ましょう。

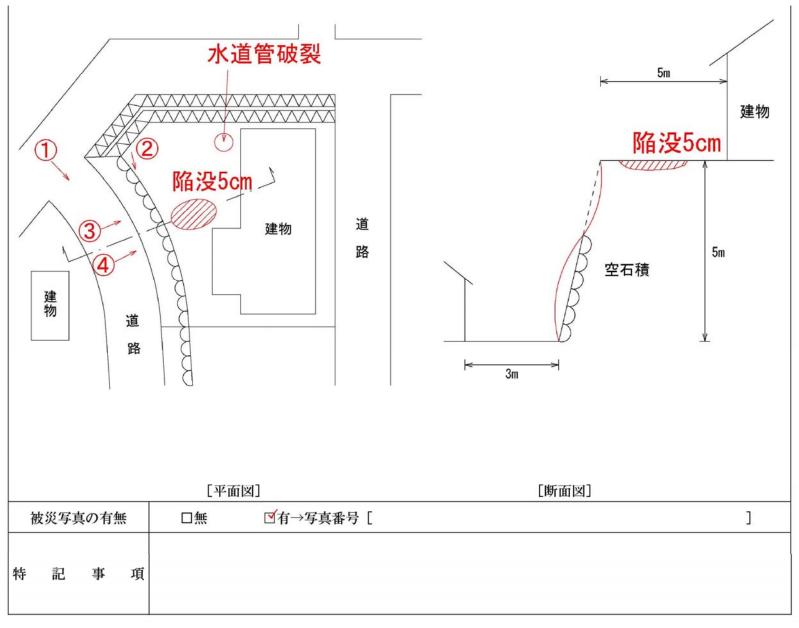
例題-15-2

				のり面・	自然斜	面の	基礎的条件				
地想	安	岩		硬岩 □不明		オー	バーハング	□無 □有	î		
762	ist.	土 砂	□砂質土□礫⅓	質土□粘性土□不明		排力	く施設	□無 □有	(のり)	肩、小段排水)	
)面高		最大高	m(平均高	m)	のり	面保護工	□無□枢	生土	□構造物	
(複 :	合のり面は	産壁高含)	(うち擁壁高		m)	練母	色配置	□のり面の)上部	□のり面の中部	
)面勾配			度				□のり面の)下部	□全面	
の	り長さ			m		家屋	の有無	上部□有	i □ <u>*</u>	無 : 下部 □有 □無	
				変 状 形	態	논	配点	表			
	変形状態	態のチェッ	ク(複数可)	小				中		大	
宅	1 ク	ラック(幅)		3 cm未満		1	3~15cm 未》 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5
地	2 陷	殳(深さ)		20 cm未満		2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満		2	10~25 cm未	満	4	25 cm以上	7
盤	4 段	差(段差量)		20 cm未満		3	20~50 cm未	満	5	50 cm以上	8
	5 隆起	豆(隆起量)		20 cm未満		7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9
	6 湧	水、噴砂		□無 □有→+1	点(上0	の点数	なに1点加え	る)			
	変形状態	態のチェッ	ク(複数可)	小				中		大	
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満又は単数	Ĭ.	1	3~15 cm未 数		2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラ	ミ(隆起量)		10 cm未満		3	10~30 cm未	満	4	30 cm以上	5
	3 ガリ	一浸食		クラックなどが となって雨滴に。 浸食が現れはじる 段階。	よる	6	のり面の表 に陥没する しているお され の。	など放置 被害が広	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8
の り	4 滑落	・崩壊		部分的な表層で り、又はのり面の小崩壊。		7	表層すべり えな状態。るな 拡大もの を おまでの での	れたよう 置すると それのあ はのり面	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9
面 · 自		面保護工の 生工は除く		例えば、のり枠の 詰め陥没。又は、 クリート吹付工で ずかにテンション ラックが見られる 吹付工の程度。	コントンクが	7	- 例 分 か か か か か か か か か か か か か か か か か か	り枠の部 。又はコ 吹付工の 部分で陥	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。 ひり枠の浮上り破壊。 吹付エのラクリート吹露出し、面になりが見受けられる。	9
然斜云	6 排水	施設の変物	\$	天端排水溝にずる 欠損がある。又は 端背面、舗装面(ラックが見られる	、天にク	3	左に加え、 クラック、 からの湧水:	又は目地	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7
面	7 のり	面内の水道	管等の破裂	破裂して水が流出		いる。					8
	8 湧水	、落石・韓	云石	□無 □有→+1 』	点(上の	点数	に1点加える	5)			
			定値 首を加えた点数 皮書点の記載無し			点		0 点個	方災上	数と危険度判定☆ 問題無し) 防災上問題無し)	
		危険度半	川定	口大 口中 口]小	□無				き立入。進行していれば避 要避難、立入禁止)	難)
	所見(記)	入者の意見	緊 急 度	口大 口中	口小	`	(人命	・財産・交	通の	3点を判断基準とする。)
		場合は記載無し	拡大の見込	口有 口無	口半	断不	可 (備考	:)

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

	स्म⊱	-	स	調査日時	4	年 .	月	日	時	調査番号		
	調	査	票	地震名又说	は降雨災害	害名						
	hb 🖈	水 中 相 🙃	ar.	都 道	府 県			市 郡			区 町	村
	被害	発生場 房	近		j	地区 団	地		丁目		番	号
	所有者。	• 管理者氏名	艺			記入者	氏名			TEL:		
	所有者	· 管理者 0	ס			居住者	への	口済	口未了			
	連	絡	た TEL:			説	明		口居住	者不在	口老人独	居住宅
7	写真・図	図より <	被災	数	況	図>			応急措 □被災	-	口未了 記録	
		宅	地地	盤				のり	面 •	自 然 彩	面	
	1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.25	ック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
	-			1	WILL STORY						表現すべり	円 減す べり
	5.のり面	保護工変状(6.排水施言	役の変状					ti			
		枠内土砂流出 (枠浮上り)			ことがで ただし	きる。 、調査賃	箇所が	分かるよ	記録をする。	を住宅地図		

解説 被災状況図は、宅地地盤の陥没に〇をつけます。



解説 宅地地盤は、擁壁の天端付近で5cmの陥没が生じています。

				のり面	丁・自然紀	面の	基礎的条件				
地類	特	岩	□軟岩 □	硬岩 □不明		オー	バーハング	□無□□	ĵ		
PET	流	土 砂	□砂質土□礫	質土□粘性土□マ	明	排力	k施設	□無□□	す(のり	肩、小段排水)	
0)	り面高		最大高	m(平均高	m)	のり)面保護工	□無□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	直生土	□構造物	
(複合	合のり面は	(擁壁高含)	(うち擁壁高		m)	松花 月	達配置	□のり面の	D上部	□のり面の中部	
0	り面勾配	1		度	^	19年生	芒 月1. 巨.	□のり面の)下部	□全面	
0	り長さ			m		家屋	屋の有無	上部 □≉	j 🗆 🛙	無 : 下部 □有 □無	•
			図よ	変状	形 態	٤	配点	表			
	変形状	態のチェッ	ク(複数可)	小	`			中		大	
宅	1 ク	ラック(幅)		3 cm未満		1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5
地	2 陥	没(深さ)		20 cm未満		2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満		2	10~25 cm未	:満	4	25 cm以上	7
盤	4 段	差(段差量)		20 cm未満		3	20~50 cm未	満	5	50 cm以上	8
ш	5 隆	起(隆起量)		20 cm未満		7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9
	6 湧	水、噴砂		ば無 □有→	+1点(上0	の点数	対に1点加え	る)			

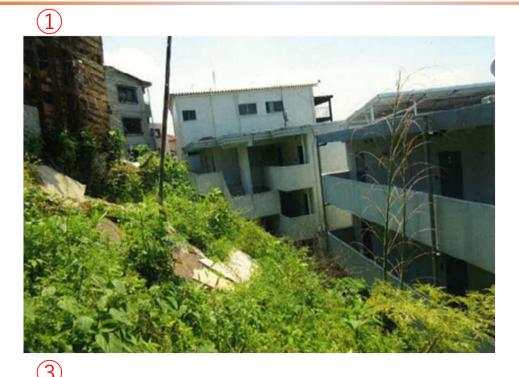
解説

変状点は,陥没が20cm未満なので2点,湧水・噴砂は無いので無にチェックをつけます。 湧水,噴砂はありませんので,無にチェックしてください。

	変形状態のチェッ	ク(複数可)	小		中		大	
	1 クラック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5
	3 ガリー浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8
の り	4 滑落・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えくり取りがあるようと な状態。放それのり 拡大する又はのり 中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9
面・自	5 のり面保護工の (植生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥りではコンクリーでデンションのではなりではできるです。 が見られるが見られるがですがしまれるがですがある。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。 マはコンクリートで露出し、コンクリート酸出し、コンクリート酸けが見が見が見が見が見が見がまた。	9
然斜面	6 排水施設の変制	,	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7
LEU	7 のり面内の水道管	葊等の破裂	破裂して水が流出して	いる	0			8
	8 湧水、落石・転	5石	□無 □有→+1 点(上(の点数	なに1点加える)			
	被害の判決 ※基礎点に変状点の最大値 ※無被害の場合は基礎・被	直を加えた点数	2	点		方災上	数と危険度判定☆ :問題無し) :防災上問題無し)	
	危険度半	川定	口大 口中 団小	□無	中被害:4~7点(制	削限付	き立入。進行していれば過 要避難、立入禁止)	達難)
	所見記入者の意見	緊急度	口大 口中 🗹	小	(人命・財産・交	通の	3点を判断基準とする。)
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	□有 ☑無 □	判断不	「可(備考:)

【例題-16】 擁壁+自然斜面パターン

例題-16 (現場写真)









例題-16 (現場写真)

がけ例一部くずれ

がけ部土砂流

例題-16 (現場写真)

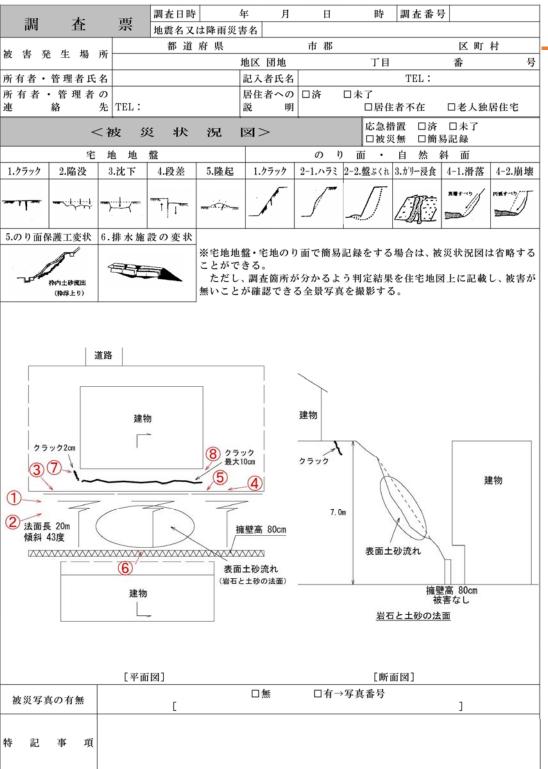






例題-16

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票



解説

斜面の下部に擁壁 がありますが、変 状がありませんの で、擁壁の判定は 行いません。

例題-16

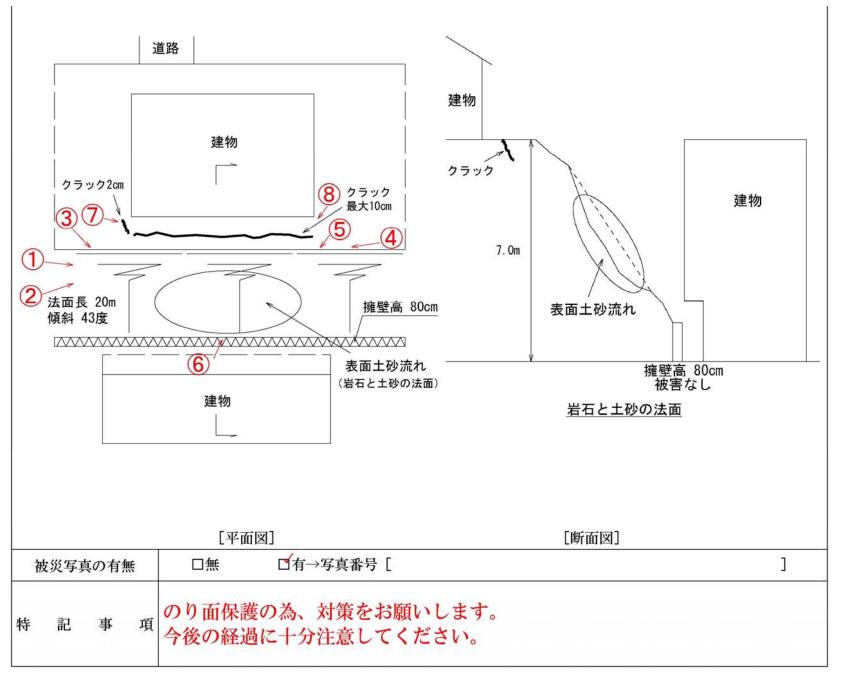
				のり面・自然紀	料面の	基礎的条件				
也打	毕	岩	□軟岩 □?	便岩 □不明	オー	バーハング	□無 □4	Ī		
1E 1	iiž.	土 砂	□砂質土□礫⅓	質土□粘性土□不明	排2	k施設	□無□有	可のり!	肩、小段排水)	
カ	り面高		最大高	m(平均高 m)	01)面保護工	□無 □相	生土	□構造物	
複	合のり面は排	建壁高合)	(うち擁壁高	m)	- Inde E	養配置	□のり面の)上部	□のり面の中部	
か	り面勾配			度	19E2	E CC EL	□のり面の	下部	□全面	
か	り長さ			m	家屋	屋の有無	上部 口有	ī 🗆 f	账 : 下部 □有 □無	:
				変 状 形 態	と	配点	表			
	変形状態	急のチェッ	ク(複数可)	小			中		大	
ŧ	1 クラ	ラック(幅)		3 cm未満	1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5
也	2 陥	殳(深さ)		20 cm未満	2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6
也	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満	2	10~25 cm未	満	4	25 cm以上	7
监	4 段差	的(段差量)		20 cm未満	3	20~50 cm未	満	5	50 cm以上	8
	5 隆起	亞(隆起量)		20 cm未満	7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9
	6 湧2	k、噴砂		□無 □有→+1点(上	の点数	枚に1点加え	る)			
	変形状態	娘のチェッ	ク(複数可)	小			中		大	
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未 数		2	15 cm以上又は全面	3
		ミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未		4	30 cm以上	5
	3 ガリ	一浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表 に陥みする してお がる の。	など放置 被害が広	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8
かり	4 滑落	・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表えな状ともがある。なが、ないでのである。これでのである。これでのである。これでのである。これでは、これでのである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	れたよう 置すると されのり面	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9
fi • 自		面保護工の 生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥りはエにわ クリートアンシれこれ がいにテンシれる認め で対すれる。 ではないない程度	7	例えば、の別えが破ークラッチの別との対し、の別というできます。	。又はコ 吹付工の 都分で陥	8	例えば、のり枠の浮 上り破壊。吹付エン クリートが 中はこのラ ス金網が中はして、 コンクリカが トラ受けられ もの もの もの もの もの もの もの もの は の こっ に の こっ に の こっ に の に の に の に の に の に の に ら に ら り に ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	9
然 料 云	6 排水	施設の変状	Č.	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、 クラック、 からの湧水	又は目地	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7
ð	7 のり	面内の水道管	ぎ等の破裂	破裂して水が流出して	いる。	,				8
	8 湧水	、落石・軌	表石	□無 □有→+1 点(上の	の点数	に1点加える	5)			
			を値 を加えた点数 数書点の記載無し		点	小被害:	0 点(E 1 ~ 3 点()	方災上 当面は	防災上問題無し)	1.45 (A)
		危険度半	定	口大 口中 口小	口無				き立入。進行していれば避 要避難、立入禁止)	(製紙)
		de materia	緊急度	口大 口中 口/	h				3点を判断基準とする。)
		く者の意見 給は記載無し			判断不		,	<u>Де</u> •/	~ m ⊆ тинјавт-с ј Ф.	
			拡大の見込		可剛不	可 (備考	•			,

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

	=m		7	n .	調査日時	2	年	月	日	時	î	調査番号	}	
	調	査	Ę	票	地震名又	は降雨災害	害名							
	***	上	⇒		都 道	府 県			市 郡				区 町	村
	被 害 発	生場	所一				地区	団地		1	目		番	号
	所有者•	管理者氏	名				記入	者氏名				TEL:		
	所有者 •	管理者	の				居住	者への	口済	口未了				
	連	絡	先 TI	EL:			説	明		口居	住者	不在	口老人独	居住宅
<u>দ</u>	子真・図	より	〈被	跃	と 状	況	図 :	>			a措置 按災無		口未了 易記録	
		宅	地	地	監				のり	面	É	然	計 面	
	1.クラック	2.陥没	3.沈	下	4.段差	5.隆起	1.	クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶく	n 3.	ガリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
			~ <u>}</u>	7		The same of the sa					- 2		長期すべり	円 数す ~り,
	5.のり面保	護工変状	6.排	水施	没の変状						15.0			967: -
		学内土砂流出 (枠浮上り)		5=		ことがで ただし	きる 、調 <i>3</i>	。 査箇所が		う判定結	果を			は省略するし、被害が

解説

被災状況図は、宅地地盤のクラックとのり面・自然斜面の滑落に○をつけます。のり面が滑落していますので、宅地地盤のクラックは省略しても構いません。



解説 斜面部は滑落 しています。 はカラッています。

					のり	面・自然紀	料面の	基礎的条件						
地	ht.	岩	☑軟岩	□硬岩	□不明		才一	バーハング	₫無	□有				
1987 1987	111£	土 砂	☑砂質土□	□礫質土□	□粘性土□▽	下明	排力	水施設	☑無	□有	のり履	貳、小.	段排水)	
の ¹	り面高		最大高	7 m	(平均高	7 m)	のり)面保護工	□無	☑植	生土	□構造	告物	
(複名	合のり面は擦	確壁高含)	(うち擁壁)	高		0.8 m)		達配置	□の !	り面の	上部		□のり面の中部	
の	り面勾配			43	度		19年三	光月1.	 愛 の !	り面の	下部		□全面	
の	り長さ			20	m		家屋	屋の有無	上部	有	` □無	. .	下部 ☑ 有 □無	
					変状	形 態	と	配点	長	写真	真よ	Ŋ		
	変形状態	態のチェッ	ク(複数可)		,	小			中				大	
宅	1 クラ	ラック(幅)		3 c	m未満		1	3~15cm 未 複数	満又は		3	15cm	ı以上又は全面	5
地	2 陥落	殳(深さ)		20	cm未満		2	20~50 cm未	満		4	50 cm	n以上	6
地	3 沈-	下(沈下量)		10	cm未満		2	10~25 cm未	満		4	25 cm	n以上	7
盤	4 段差	差(段差量)		20	cm未満		3	20~50 cm未	満		5	50 cn	n以上	8
1111.	5 隆起	亞(隆起量)		20	cm未満	_	7	20~50 cm未	満		8	50 cn	n以上	9
	6 湧2	水、噴砂			無 口有一	→+1点(上(の点数	は1点加える	3)	•				

解説

宅地地盤の変状点は、クラックが最大10cmなので3点となります。 実際には、のり面が滑動していますので省略して構いません。

	変形状態のチェッ	ク(複数可)	小		中		大		
	1 クラック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3	1
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5	1
	3 ガリー浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。		のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも	7	洞穴状や滝壺状にガ写真・図よ	<i>l</i>)	
の り	4 滑落・崩壊		部分的な表層すべ り、又はのり面上部 の小崩壊。	7	の。 表層すべりが進んで えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのあ るもの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	ような状態。 全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9	
面・自	5 のり面保護工の (植生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はエにわ すかにテンションク ラックが見られるが 吹付工のずれは認め られない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又付工のフレートのでは、のりとはないでは、のりはないでは、のりはないでは、では、ないでは、では、ないでは、では、では、では、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできない。	9	
然斜不	6 排水施設の変制	}	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7	
面	7 のり面内の水道管	音等の破裂	破裂して水が流出し	ている。)			8	
	8 湧水、落石・軌	宏石	☑無 □有→+1 点(上	の点数	(に1点加える)				
	被害の判別 ※基礎点に変状点の最大値 ※無被害の場合は基礎・被	直を加えた点数	8	点		 方災上			
	危険度半	川定	☑大 □中 □小	6 Co. 19 MAN	中被害:4 ~ 7点(() 大被害:8 ~10点()		き立入。進行していれば進 要避難、立入禁止)	产姓)	
	所見記入者の意見	緊 急 度	☑大 □中 □]小	(人命・財産・交	で通の	3点を判断基準とする。)	
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	□有 □無 □	判断不	河 (備考:)	

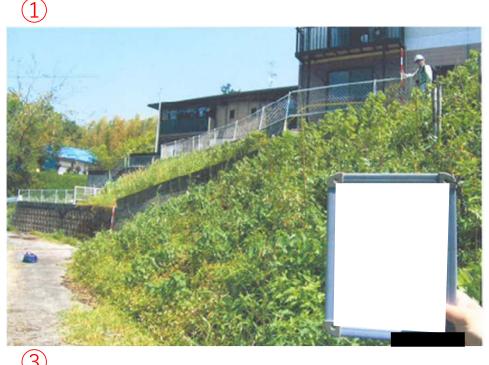
解説

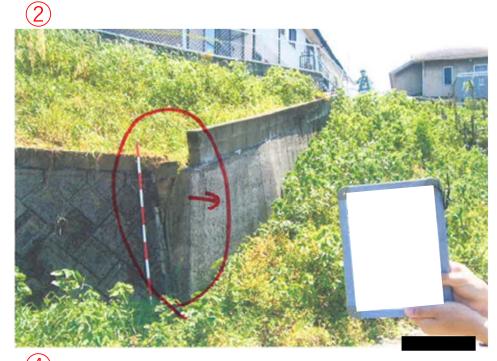
自然斜面の変状点は、表層の滑落があるため8点となります。 湧水・落石は無い

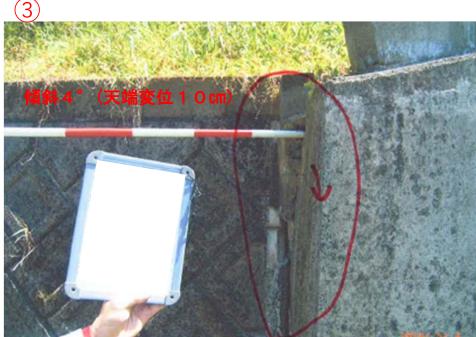
ので無にす。 したがって、判定 したがって、の最大 である8点となり 大被害となりま す。

斜面上部にクラックを クがあり、今後さ おいる が予想を が予想を れますので、 緊急 となります。 【例題-17】 擁壁+地盤+のり面パターン

例題-17 (現場写真)







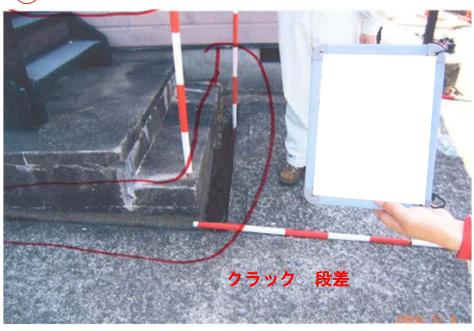


例題-17 (現場写真)

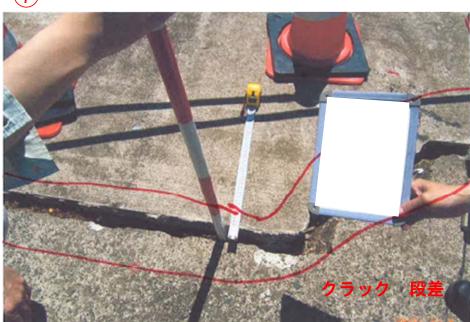
(5)







 $\widehat{7}$

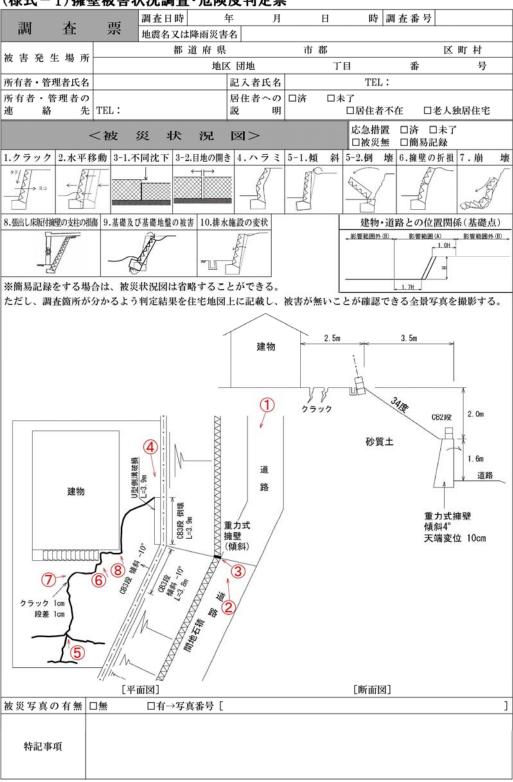


8



例題-17-1

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票



例題-17-1

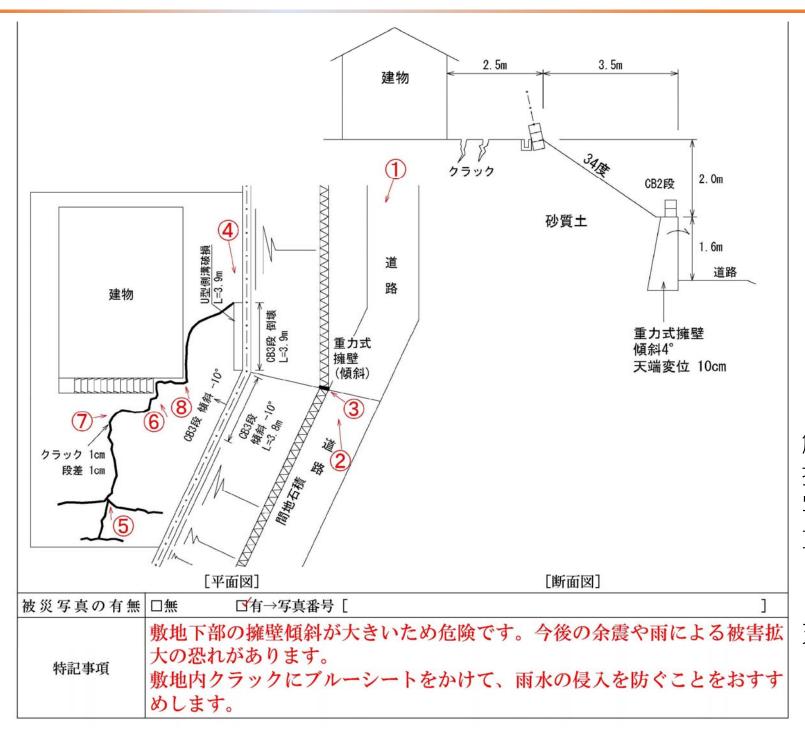
擁壁 2	ł		□コンクリート	系擁壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式				□増利	貴み搾り	É		扱	種部 理部 類壁	36		m	増設	高]] m
の基	移生の	産			□場所打ち		ブレキャ									:部[]
礎	O	<u>₽</u>	□練石積擦	壁	□間地石 □その他[コンクリー	小ブロッ	ク	7		と擁壁			- 1 :	·部〔 ·部高				grade:]
的	和类	計			□玉石積	П.	くずれ	石積		J	□38H	出し床部	牙付擔	铲	-	:師尚]その(НоГ	п	1;下部	印向			m l
条件			□空石積搾	蟶	□間地石		. , ,,	1100			- 1511	設置		HS.	-	切土		境 🗆	軟弱地	盤上	□他□	□不明	,
"					□その他]	擁壁(匀包配					度	又は	(1	:)
		_							\Box	口影	感範囲 に		たは道路	格がある	5 [影響輸	囲に建		は道路が	ない個	_		
	L			乾燥								0						0					
	Ľ	D)	s/K	湿潤	出し、流出							0.4						0.2				基礎	4:24
基	H				有、天端排水	黄有、表	面水の)浸透	ELL:			0			\top			0			\dashv	①+2	
礎		2朋	 水施設	水抜孔	有、天端は表	面水が	浸透し	やすい				0.4						0.2					
1942	L				無、あっても	数・寸法	よが不	適当	\rightarrow			0.8			\perp			0.4			4		
点				H≦lm lm <h< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>_</td></h<>								0.2						0.1					_
	le	3億	88	3m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>								0.2						0.1					
	ľ			4m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></f<>								0.6						0.3					
	-			5m <f< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>\perp</td><td></td><td></td></f<>								0.8						0.4			\perp		
区分	,	項目		-	<u>程度</u> 擁壁種類	コンクリ	Sale Edit	増積		28 44	空積	コンクリ	Selv 1884	增積	2 (3)	張出	空積	コンクリ	Salv Site	増積	たっ 郎	雅山	加強
74	_		クラック		/本上/生/共	1	2	3	4	5 5	- 100	2.5	3.5	4	5	7	T 100	4	5	6	7	8 8	- 100
変	2	2 2	水平移動			2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
状	_		不同沈下・	目地の開	き	3	3.5	4	5 c	7	-	4.5	5	6	7	9	,	6	7	8	9	10	10
形	_		ハラミ 頃斜・倒壊			5	4.5 5.5	5 6	6	8	8	7	6 8	7 8	8	9	9	8	8	9	10	10	10
態と			解壁の折損			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
変	7	_	崩壊				9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
状			展り出し床板							7				\sim	\sim	9						10	
点			基礎及び基準 排水施設の		微書			3				г		10	5			г		-	7		
			擁壁背面の		等破裂									10									
	Ļ	_		目/程度		0 4	*** tu	- /		7 6000	t. 1 . m.		20		Þ			00		7	大		
	ľ		クラック(幅	V		2 mm未 支障な							~20 m リート系	ロボ海 ・搾隆の)場合	2mm~	-5 mm		以上 ルト系	操墜の)場合	5 mmP/	H)
	L					未満。			1404	401		未満			- 55111			,		11/16_11			
			水平移動	n -Mile)		5 mm未	満の関	間変	かがあ	る。		5 mm	~50 mm	未満の	別間	を位)が	ある	50 m	以上の	別側の	变位沈	ぶある	
変			宿目地前後の 不同沈下・		き	5 mm未	満の目	地上	下のず	'hyk	計目地	5 mm	~50 π	血未満。	の目地	ø ⊦∓	のず	50 m	mDJ Fo	の目地	の F.T	のず	カマは
状の			也上下・左右			の開き			,	1-241				の開き			.,,	目地	の開き	があり			
程	L		ハラミ			d. Action	ton n z	: > m.	V-l-hle	0.3./10fc	F-32 1	cie tele	tele arter -	T. V. 2	s de de	Andrea I			が有る		. h=	. An office by	
度	1 1	-	ハフミ ションクラック	・ぎれ・	由排行	小規模 ~2個			か甲抜	3718001	37 I			テンショ						テンショ			'
大			頃斜・倒壊		1 400.777	搾壁が			けし垂	直以下	。(コン			地盤に			노(그			· 倒壊			能を失
^						クリートラ		の場合	:天葬	# 50 п	皿未満			壁の場	詩合 :5	E端 50	皿以	って	いるも	<i>の</i> 。			
中	1	6 #	痛壁の折損			の傾斜 クラック	*/	わずっ	いに布	度かれ	eL.7	_	傾斜 クを増	に明ら	to to	角度な	te1.	一月	しても	である	ン判	ろもの	. (JV
小				びわれか	ら起きるも	いる。	2-751	-4777	/ 10/1	me e re				け石が						壁の場			
か					腺的でなく、	(コンクリ			44 1-41		境に			える。(。又id			剪断破
概	ľ	クフッ	ウを境に鈍	角に折す	じ(いる)	わずか	*(CBM)	貝してい	າລ _ະ .)		場合 いる		を境に	こ 則方:	に傾斜	HL (環か	あり後	傾して	. ເນລ	,)	
要説	7	7);	崩壊			中間辺	りから	5上が	骨って	いる。		_		して淮	わてい	る。		機能	を果た	してい	ない	1	
明	8	3 3	張り出し床	板付擁護	壁の支柱の損	支柱に	こひびえ	が入っ.	ている	in .				クリートカ	がはが	れて剱	筋が	支柱	の剪り	破壞。			
	_	傷 1	基礎及び基準	体組織で	油雪	大規模	キナムシセコ	こらっか ら		4-1°-7	LVZ	見え	ている) ₀									
			排水施設の		恢查	天端排						左に	加え様	経壁のク	ウラック	又は目	地か	水拔	孔の詩	法り、	破損z	ゔあり	、排水
						は、天	端背面	、舗装	面にク	ラックオ	見ら		湧水が							かてい			
	Ļ,		Manage file of a	1.206/ddc/	dental de	れる。	1.1	e Section		7													
		11	擁壁背面の	小小道管	子數殺	破裂し	て水が			る。 E状点					小林	東 紀日	手の占	数レイ	可能的	判定,	Ļ		
						L	-19E/K	┑	Γ	<u> </u>	٦	fore	hite este							. rane i	•		
			被害の	判定值							┚	1	被害					問題無			1 100 4		
			点に変状点の			_					_								ま防災	(上間	題無	(し)	
*	無	被書	等の場合は基礎	節・被害点	点の記載無し		_	₊┌			٦.,		被害	: 4.5	点~	8.5 点	未未	ä					
							_	L			点			(制	限付	き立。	入、	進行し	てV	いれは	避難	É)	
			危険用	医判定		口大		ф -		\ T	—]無	大	被害	: 8.5	点~	(危険	表要	避難	、立	入禁.	止)		
	戸	f見/	記入者の意		緊急度									(定基準		る。)
*	無	被書	8の場合は記	秘無し	拡大の見込	□有		□ <u>;</u>	#		判断不	ज		(備持	f:)

(様式-1)擁壁被害状況調查・危険度判定票

TI GOLDE PREDICTION TO THE	ACT CONTACT TO CONTACT				Beneral to State							
=====================================	-	सह	調査日	诗	年	月	日	時	調査番号	寻		
調	査	票	地震名又	には降雨災害	手名							
她 	4 根 武		者	7 道 府 県	700		市 郡			区町	广村	
被害発生	上场 川			地区	区 団地		1	1目	番		号	
所有者・管:	理者氏名				記入者	皆氏名		TEL	:			
所有者・管	管理者の				居住和	皆への	□済 □	未了		2 5 224	nto Sellyaten - 86	
連絡	先	TEL:			説	明		□居住者	不在	己老人独	居住宅	
写真・図	図より	被	災米	: 況	図>	>		応急措 □被災		☑未了 記録		
1.クラック	2.水平和	多動 3-1.不	「同沈下」	3−2.目地の開	き 4.1	・ ラミ	5-1.傾 名	科 5-2.倒	壊 6.擁壁	の折損	7.崩	壊
\$₹/ ⇒ ∃⊐												
8.張出し床版付納	壁の支柱の損	傷 9.基礎及7	び基礎地盤の	被害 10.排力	水施設の	変状		建物	道路との	位置関係	系(基礎点	į)
※簡易記録	をする場合	合は、被災	状況図は行	が は ない ない ない は いっぱい はいまいままままままままままままままままままままままままままままままままま	とができ	きる 。		_ 影響範囲外	・(B) 影響範 / 1.7H	西囲 (A)	影響範囲外	· (B)
ただし、調							と害が無いこ	とが確認で	きる全景写	真を撮	影する。	

解説

被災状況図は、写真・図より、傾斜に○をつけます。 影響範囲は、のり面の上部に建物があるのでAとなります。



解説 雑壁タイプは, 写真・図コンと 重力トすが10cm変位 しています。

擁壁の基礎的条件		₫コンクリート	交換陰	□L(逆T)型 □もたれ式	重力式		□増積み擁壁		增積部分[擁壁部分[]
(型)	嫲	<u> </u>	才的框里	□その他					全擁壁高	m 増設高	m
世	擁壁の種類			□場所打ち	□プレキャスト				上部[]
磁機	0	□練石積擦	族居垒	□間地石	□コンクリートブロック		□二段擁壁		下部[]
的	種	山那州口村貝扮	ETE	□その他]			上部高	m;下部高	m
条	翔			□玉石積	□くずれ石積		□張出し床版付擁	壁	□その他	. ,	_]
件		□空石積擦	壁	□間地石			擁壁の設置条件		□切土・⅓	盚土境 □軟弱地盤上 □化	□不明
				□その他]	擁壁の勾配		J.	度 又は (1 :)
						□影響	季範囲に建物または道	路がある	□影響範囲	に建物または道路がない(B)	
			乾燥				0			0	
	1	湧水	湿潤				0.4			0.2	
++-			にじみ	出し、流出			0.8	写真	よりし	0.4	基礎点計
基			水抜孔	有、天端排水溝	有、表面水の浸透阻止		0			0	1+2+3
礎	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表面	水が浸透しやすい		0.4			0.2	
TALE			水抜孔	無、あっても数	・寸法が不適当		0.8			0.4	1.0
点			H≦1m	1						0	1.0
7,,,			1m <f< td=""><td>I≦3m</td><td></td><td>より</td><td>0.2</td><td></td><td></td><td>0.1</td><td></td></f<>	I≦3m		より	0.2			0.1	
	3	高さ	3m <f< td=""><td>I≦4m</td><td></td><td>I</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td>0.2</td><td></td></f<>	I≦4m		I	0.4			0.2	
			4m <e< td=""><td>I≦5m</td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td>. 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10</td><td>0.3</td><td></td></e<>	I≦5m			0.6		. 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10	0.3	
			5m <f< td=""><td>I</td><td></td><td>01 120 W-2555 STOROSTOR 10000</td><td>0.8</td><td></td><td> Hess an T-972 (977) 100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (10</td><td>0.4</td><td></td></f<>	I		01 120 W-2555 STOROSTOR 10000	0.8		Hess an T-972 (977) 100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (10	0.4	

解説

基礎点は写真・図より、湧水は無いので0点、水抜孔は無いので0.8点、 擁壁の高さは1.6mなので0.2点であり、合計1.0点となります。

区	程度			,	小					ı	þ					7	大		
区分	項目 擁頸種類	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積
	1 クラック	1	2	3	4	5		25	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	25	3.5	4	6	6	3.5	4	45	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変状	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
形形	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
能	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		\bigcirc	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
اع	6 擁護の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
態と変状	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
	8 張り出し床板付練壁の支柱の損傷					7				$ \longrightarrow $		9						10	
点	9 基礎及び基礎地盤の被害 10 排水施設の変状				3			1			5						7		
	11 擁壁背面の水道管等破裂				0					-	<u> </u>						1		
	項目/程度				小			Т			中			Т		-	大		
	1 クラック幅	2 mm	満のか		あるが、	機能上	の支援	2mm	~20 mi		1			20.00	DEL				
	2 2 2 2 2 4 m				診り場合						場合2m	m~5π	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	- 古	-	N/	L	11	
	2 水平移動				かある						第間変			弹	•	図	4	ソ	
	(伸縮目地前後のずれ)													_					
変状	3 不同沈下・目地の開き	5 mm	杉満の	地上	「のずオ	以は	地の開	5 mm	~50 m	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	旧地の	上下の	ずれ又	50 m	以上の	目地の	上下の	ずれ又は	却地
	(目地上下・左右の開き)	きが	ある。					は目	地の開	きがあ	る。				きがあ	り、澗	広 転倒	のおそ	か有
の程								<u> </u>						る。					
度	4 ハラミ				》中拔	代積石	bĭ 1 ~ 2				ノクラック	無し		1000,000,000		テンション		有り	
	「テンションクラック・ずれ・中抜け		落ちる		n est	7NT 6	->>			のおそ			(> b		-	のおそれ		ا خدماهاها	
大	5 傾斜・倒壊	322 SA 320			けし垂直 端50 m						対し頭: 天端:			探覧		・倒壊し	(20)	機能と	大つく
中		ित्रजन	ETTOPHI	ロ・人	AUD OO IIIII	Minh	404	斜	对对那当些	Phon	· /\\		LVJU	1.0	80%				
•	6 擁壁の折損	クラック	かを境に	わずか	に角度	をなし	ている。		クを境	に明ら	かに角	事をな	してお	一見	して大	であると	上判るな	0, (1	ンクリー
小	(横・ななめひびわれから起きるもの。は				場合クラ								十が見			拾クラッ			
の tmr	らんでいるが抽線的でなく、クラックを境		前傾して								雑選の場					mmでも			
概要	に鈍角に折れている)							に前	方に傾	斜して	<i>い</i> る。)			_	いる。)				
要説	7 崩壊				ってい	る。		_			ってい					している	d 15		
崩	8 張り出し床板付擁達の支柱の損傷	支柱	こひび	バ入って	いる。					ツートが	はがれ	て鉄筋	が見え	支柱	の剪糖	破壞。			
	o Alester - Otherta J 60 - L Joh	Liter	# 3. x t =		2. 3 201		-	てい	る。										
	9 基礎及び基礎地盤の被害				ックが生			1	Las > La	diko bi			1.20	1.14	71 07-15	th n	hLII 2 %Jo	20 LIL	1.1881.1
	10 排水施設の変状				欠損が				川ス州 がある		ラック又	よ日地	からの		われて	まり、砂	対切せ	り、排	小线距
	11 擁轄市の水道管等破裂				ている		No.	(55/1	מימינו	0				11-1	MUCI	(°0°			
	11 操空月间2万0直目5700及	100.300	基礎			変状点	i				44	st 生化	度の点	洲上在	北谷田	即定人	ā.		
		lr			' r		Γ					N. (44)				MEM			
	被害の判定値		1.0		+	7.0		無	被害	: () 点	(防災	上問題	題無し	-)				
		L			_		_	11	独宝	: 1 ~	~4.5 g	与未清	5(当百	面は防	災上	問題無	無し)		
	※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し			_			_		No.								101111111111111111111111111111111111111		
	WINDLESS OF THE			=	8	.0	ير	i P	攸吉		点~8								
				L	0	•0	, ·	"		(制)	限付き	立入	、進行	行して	いれ	ば避難	維)		
	危険度判定	_	- F	(中	□小		無	一 大	被害	: 8.5	点~(危険、	要避	難、	立入	촍止)			
	所見記入者の意見 緊急度	-		_	中		小			-		-	在·交通				ける。)
	※無被害の場合は記載無し 拡大の見込み				無		判断不	πſ			備			TO O MI	21102	171-6	7 0/0)
	The state of the s					-	. +711	-			1414	•							

解説

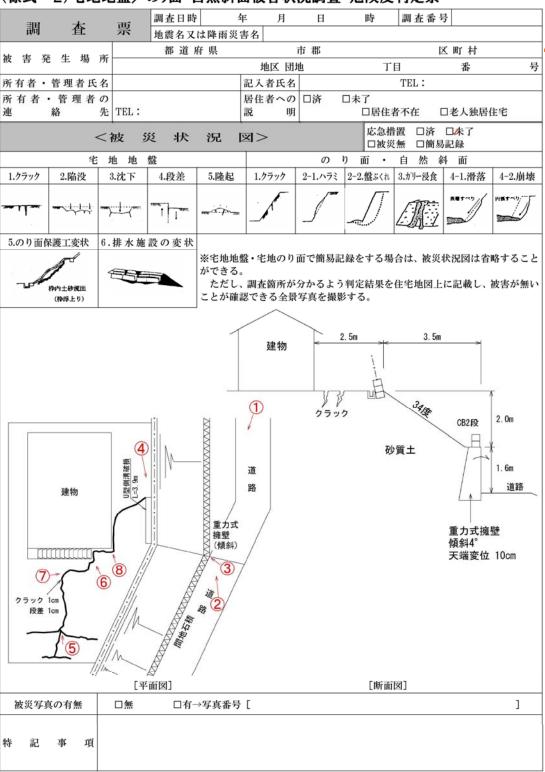
変状点は写真・図より, 天端**10**cmの傾斜なので**7**点となります。

したがって,基礎点 が1.0点,変状点が 7.0点となるため,合 計8.0点の中被害とな ります。

判定は中ですが,宅 地地盤にクラックが あるので緊急度は大 ,拡大の見込み有と なります。

例題-17-2

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票



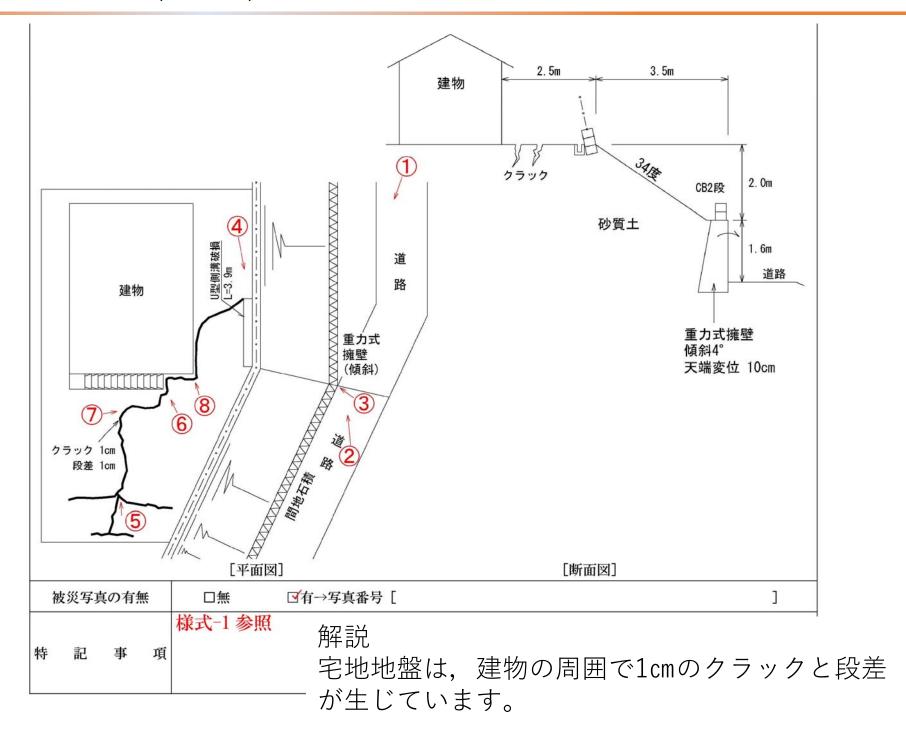
解説 次に、宅地地盤で も判定してみまし ょう。

例題-17-2

	のり面・自然斜面の基礎的条件													
地	ht.	岩	□軟岩 □	硬岩 □不明	オー	・バーハング		有						
H.	int.	土 砂	□砂質土□礫	質土□粘性土□不明	排力	水施設	□無 □有(のり肩、小段排水)							
の	り面高		最大高	m(平均高 m)	の	り面保護工	□無 □植生土 □構造物							
(被	合のり面は	擁壁高含)	(うち擁壁高	m)		達配置	□のり面の上部 □のり面の中部							
の	り面勾配			度	1716.2	E HC III.	□のり面の下部 □全面							
の	り長さ			m	家人	屋の有無	上部 □有 □無 : 下部 □有 □:							
				変 状 形 態	٤ ٤	と配点表								
変形状態のチェック(複数可)				小			中		大					
宅	宅 1 クラック(幅)			3 cm未満	1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5				
地	2 陥	没(深さ)		20 cm未満	2	2 20~50 cm未満 4			50 cm以上	6				
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満	2	10~25 cm 未	< 満	4	25 cm以上	7				
盤	4 段	差(段差量)		20 cm未満	3	20~50 cm 未	- 満	5	50 cm以上	8				
mit	5 隆	起(隆起量)		20 cm 未満	7	20~50 cm 未	ミ満	8	50 cm以上	9				
	6 湧	水、噴砂		□無 □有→+1点(上の点	数に1点加	える)							
	変形状!	態のチェッ	ック(複数可)	小			中		大					
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm 未 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3				
	2 ハラ	・ミ(隆起量	t)	10 cm未満	3	10~30 cm未	- 満	4	30 cm以上	5				
	3 ガリー浸食			クラックなどが誘 因となって耐滴に よる浸食階。 じめた段階。	6	のり面の表土が雨 裂に陥っていると被 変が広がるおそれ のあるもの。		7	洞穴状やが進速状に が基の悪いです を変してする である である である である である である である である である であ	8				
の り	4 滑落	・崩壊		部分的な表層すべ り、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表でような拡大る中の関連の関連の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の	なられた たか置そ する、又は の、又は	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9				
面 · 自然	(植生工は除く)			例えば、のりない。 は、で、マースのでは、 の、マースのでは、 で、マースので、 で、マー、マー、マー、マー、マー、マー、マー、マー、マー、マー、マー、マー、マー、	7	例えば、の 別分的なリラック の りつり の り り り り り り り り り り り り り り り り	。又はコ ト吹付工 ク部分で	8	例えば、のり枠の浮 上りは、変。又付エの クリー金網が露出し、 ラス全網が露出し、 コンクも 面にれる。	9				
斜面	6 排水	(施設の変	状	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、 天端背面、舗装面に クラックが見られ る。	3	左に加え、	又は目地	5	排水溝が破断沈下 するなど、排水機能 が失われている。	7				
	7 のり	面内の水道	1管等の破裂	破裂して水が流出し	ている	5.				8				
	8 湧水	、落石・	転石	□無 □有→+1点(」	との点	数に1点加;	える)							
		易合は基礎・行	値を加えた点数 被害点の記載無し		点	☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7点(制限付き立入。進行していれば避								
		危険度料	1定	口大 口中 口小	□無	•			要避難、立入禁止)	(100 (100)				
	所見(記7	【者の意見】	緊 急 度	口大 口中 口	小	(人命	財産・支	通の	3点を判断基準とする	i.)				
		合は記載無し	拡大の見込	口有 口無 口判断不可 (備考:)										

⊒πŧ			नार	調査日時		年	月	日		時	調査番	号		
調	調査		票	地震名又	は降雨災	害名						'		
址 	生相	⇒^		都 道	府 県			市 郡				区町	「 村	
被害発	生場	所				地区	団地			丁目		番	号	
所有者・	管理者氏	名				記入	.者氏名				TEL:			
所有者•							者への	口済	口未了					
連	絡 ————	先	TEL:			説	明			□居住	者不在	□老人?	独居住宅 ————————————————————————————————————	
写真・図	図より	く初	皮 災	後 状	況	図	>			応急措 □被災		☑未了易記録		
	宅	垻	也 地	盤	のり面					面 · 自 然 斜 面				
1.クラック	2.陥没	3	.沈下	4.段差	5.隆起	1.	クラック	2-1.ハラ	ミ 2-2.盤	怪ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊	
~ 11~		~~~ <u>}</u>	1		To the state of th					\int		表層すべり	円数すべり	
5.のり面保	5.のり面保護工変状 6.排水施設の変状													
	中内土砂流出 (枠浮上り)	5			ことがて	きる、調	。 査箇所カ	が分かる。	よう判定	它結果	を住宅地		は省略する	

解説 被災状況図は、写真・図より、クラック、段差に〇をつけます。



	のり面・自然斜面の基礎的条件													
掛桶	<u>岩</u> 土 砂		□軟岩	□ 6	更岩	☑不明		オー	バーハング	☑無 [□有			
100公			□砂質土□礫質土□粘性土□不明				排刀	k施設	□無 □有(のり肩、小段排水)					
のり面高			最大高 3.6 m(平均高 3.6 m)			のり)面保護工	□無 ☑植生土 □構造物						
(複合のり面は擁壁高含)			(うち擁壁高 1.6 m)				技能 局	- 擁壁配置		□のり面の上部 □のり面の中部				
のり面勾配				34 度				19年生	2000	☑のり面の下部 □全面				
のり長さ			3.5	3.5 m 家屋			屋の有無	上部 ☑有 □無 : 下部 □有 ☑無						
図より						変状形態と配点表								
	変形状態のチェック(複数			Į)	小				中			大		
宅	1 クラ	ラック(幅)			3 cm =	未満		1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面	5	
地	2 陥	殳(深さ)			20 cm	未満		2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6	
地	3 沙下(沙下畳)			10 cm未満			2	10~25 cm未満		4	25 cm以上	7		
盤	4 段差	É(段差量)	量)			20 cm未満		3	3 20~50 cm未満		5	50 cm以上	8	
11112	5 隆起	記(隆起量)			20 cm	未満		7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9	
6 湧水、噴砂				☑無 □有→+1点(上の点数に1点加え					3)					

解説

変状点は写真・図より、クラックが複数あり3点、段差が1cmなので3点となります。

	変形状態のチェッ	ク(複数可)	小		中		大				
	1 クラック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3			
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5			
	3 ガリー浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8			
の り	4 滑落・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えぐり取られたようと な状態。放置すると 拡大するおそれのり の 中部までの崩壊。	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9				
面・自	5 のり面保護工の (植生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥りではコンクリーにテンションクリーにテンションが見られるが ずかけてが見られるが で付工のででは認め られない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。 マはコンクリートで露出し、コンクリート酸出し、コンクリート酸け面にも破損が見受けられる。	9			
然斜面	6 排水施設の変制	,	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7			
	7 のり面内の水道管	等等の破裂	破裂して水が流出している。								
	8 湧水、落石・軌	5石	☑無 □有→+1 点(上の点数に 1 点加える)								
	被害の判決 ※基礎点に変状点の最大値 ※無被害の場合は基礎・複	直を加えた点数	☆被害程度の点数と危険度判定☆ 点 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3点(当面は防災上問題無し)								
	危険度半	川定	□大 □中 ☑小 □無 中被害: 4 ~ 7点(制限付き立入。進行していれば過大被害: 8 ~10点(危険、要避難、立入禁止)								
	所見記入者の意見	緊 急 度	口大 ば中 ロル	3点を判断基準とする。)						
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	☑有 □無 □	判断不	不可 (備考:)			